

障害福祉に関する アンケート調査報告書

令和2年3月

入間市

目 次

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査対象者	3
3 調査方法	3
4 調査期間	3
5 回収結果	3
6 報告書の利用にあたって	3

第 2 章 調査結果

1 障害者本人や家族について	7
2 障害の状況について	12
3 住まいや暮らしについて	19
4 日中活動や就労について	22
5 障害のあるお子さんについて	30
6 相談相手などについて	38
7 権利擁護について	45
8 災害時の避難等について	75
9 障害福祉サービス等の利用について	78
10 市の施策について	102
11 自由回答	104

◆資料 調査票

第 1 章

調査の概要

1 調査の目的

入間市が令和3年度を初年度とする「第6期入間市障害者福祉プラン」を策定するに当たり、市内在住の障害のある方の福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握することを目的としました。

2 調査対象者

- ・入間市に在住の身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者
1,500人

3 調査方法

- ・実施方法：郵送配付－郵送回収

4 調査期間

- ・令和2年1月6日～1月31日

5 回収結果

	対象者数	回収数	有効回答率
回収結果	1,500人	737票	49.1%

6 報告書の利用にあたって

- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- 表・グラフ中、整数は回答者数（単位：人）を、小数第1位までの数値は百分率（単位：%）を、それぞれ表しています。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数（n）として、小数第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えます。

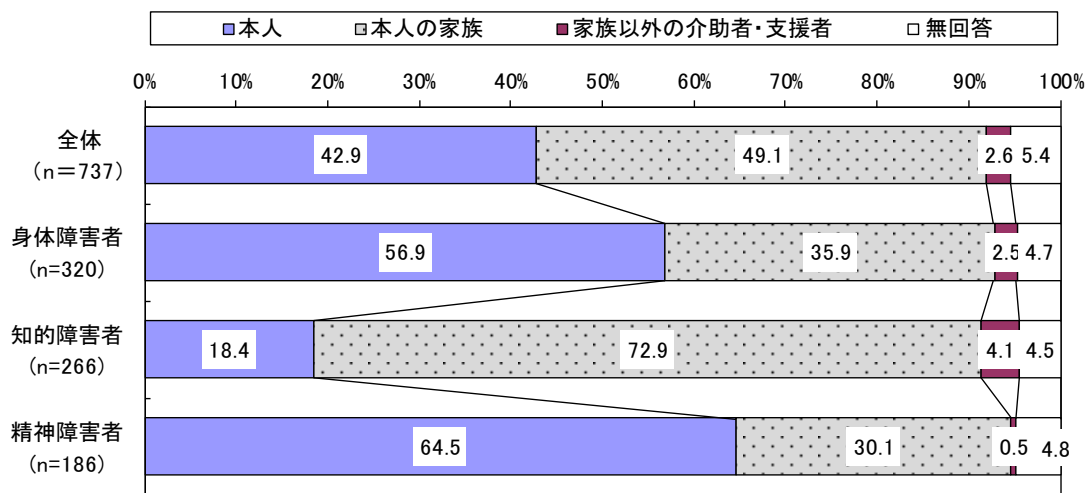
第 2 章

調査結果

1 回答者本人や家族について

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

- 全体では「本人（この調査票が郵送された宛名の方）」が42.9%、「本人の家族」が49.1%、「家族以外の介助者・支援者」が2.6%となっています。
- 障害種別に見ると、身体障害者と精神障害者で「本人」がそれぞれ56.9%、64.5%と6割前後で高くなっています。一方、知的障害者では「本人の家族」が72.9%と7割を超えて最も高くなっています。

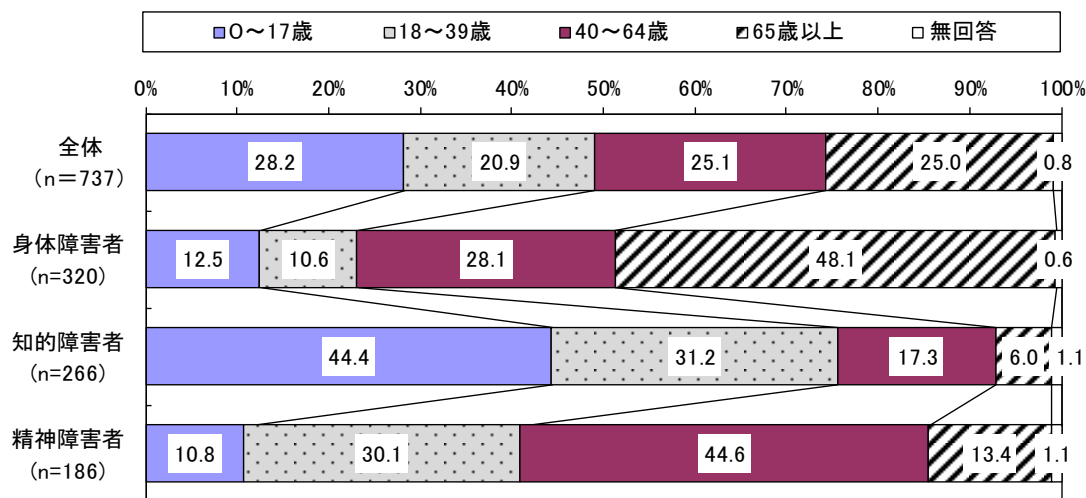


問2 あなたの年齢、性別をお答えください。

①年齢

○全体では「0～17歳」が28.2%、「18～39歳」が20.9%、「40～64歳」が25.1%、「65歳以上」25.0%と、いずれの年代も2割台となっています。

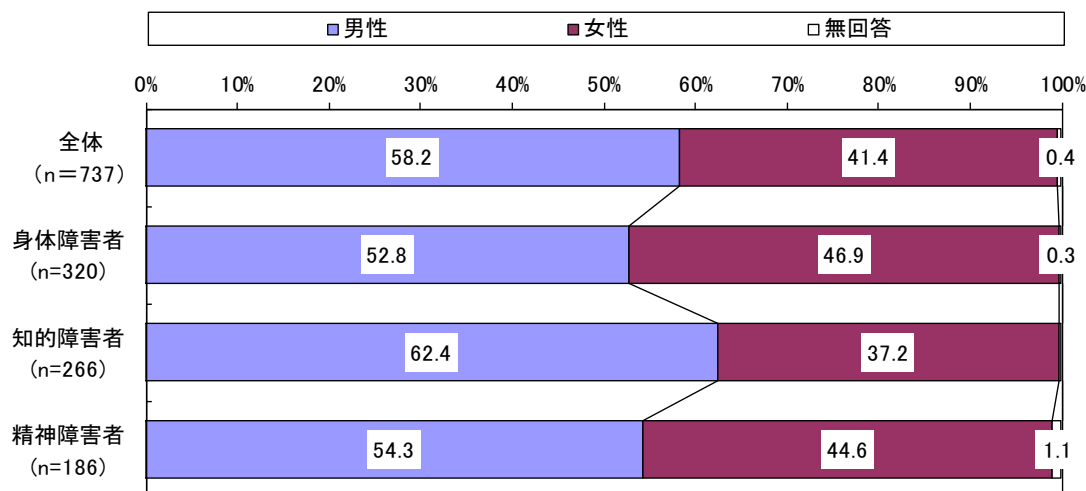
○障害種別に見ると、身体障害者では「65歳以上」が48.1%と5割近くで最も高くなっています。知的障害者では「0～17歳」が44.4%と4割を超えて最も高く、次いで「18～39歳」が31.2%3割を超えて続いています。精神障害者では「40～64歳」が44.6%と半数を占め最も高く、次いで「18～39歳」が30.1%と3割で続いています。



②性別

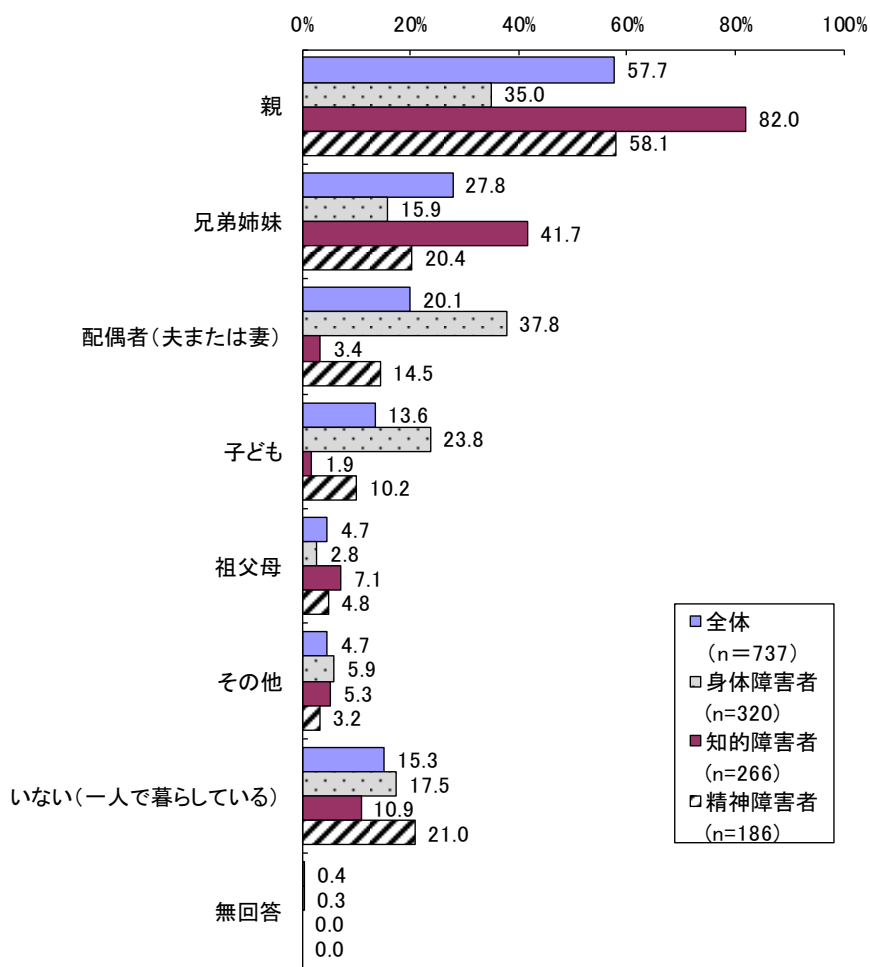
○全体では「男性」が58.2%、「女性」が41.4%となっており、「男性」が「女性」を16.8ポイント上回っています。

○障害種別に見ると、いずれの障害でも「男性」が「女性」を上回っていますが、特に知的障害者では男性が62.4%と6割を超えています。



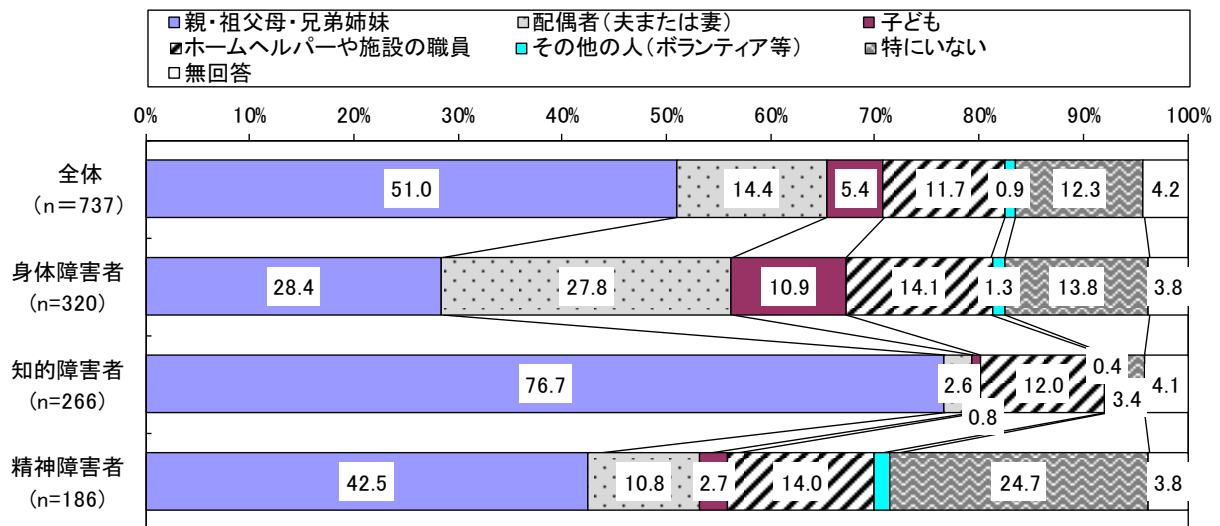
問3 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

- 全体では、「親」が 57.7%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」が 27.8%、「配偶者（夫または妻）」が 20.1%、「いない（一人で暮らしている）」が 15.3%、「子ども」が 13.6%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「配偶者（夫または妻）」が 37.8%、「子ども」が 23.8%と他の障害に比べ突出して高くなっています。知的障害者と精神障害者では、「親」がそれぞれ 82.0%、58.1%と高くなっています。また、知的障害者では「兄弟姉妹」が 41.7%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



問4 あなたを主に介助してくれる方はどなたですか。（〇は1つ）

- 全体では「親・祖父母・兄弟姉妹」が51.0%と5割を超えて最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が14.4%、「特にない」が12.3%、「ホームヘルパーや施設の職員」が11.7%と1割を超えて続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「親・祖父母・兄弟姉妹」が28.4%、「配偶者（夫または妻）」が27.8%と高くなっています。また、「子ども」が10.9%と他の障害に比べ突出して高くなっています。知的障害者では「親・祖父母・兄弟姉妹」が76.7%と7割半ばを超えて突出して高くなっています。精神障害者では「親・祖父母・兄弟姉妹」が42.5%と4割を超えて最も高くなっていますが、「特にない」は24.7%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



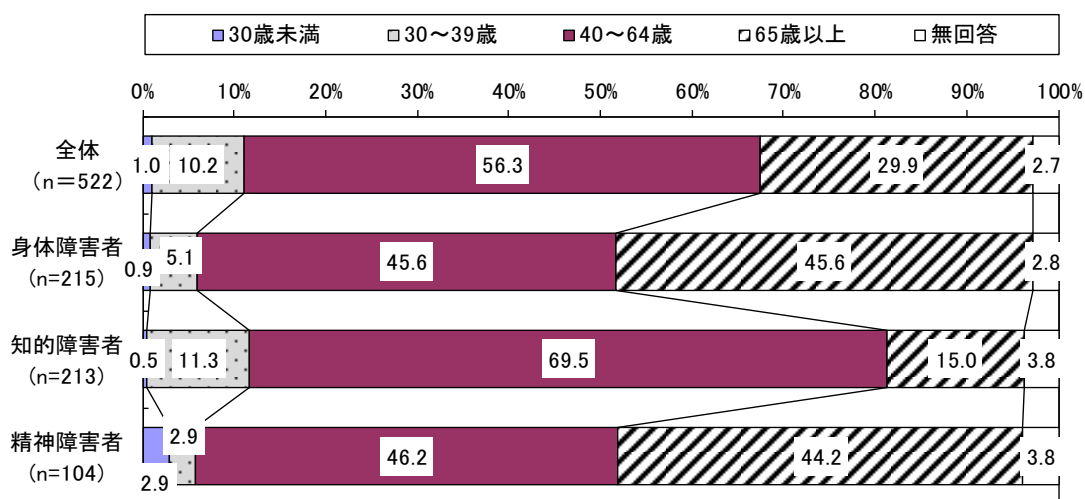
問4で「親・祖父母・兄弟姉妹」「配偶者（夫または妻）」「子ども」と回答された方におきぎします。

問5 あなたの介助を主に行っている家族の方の年齢、性別をお答えください。

①年齢

○全体では「40～64歳」が56.3%と5割を超えて最も高く、次いで「65歳以上」が29.9%と3割を占めており、介助者の86.2%が40歳以上となっています。

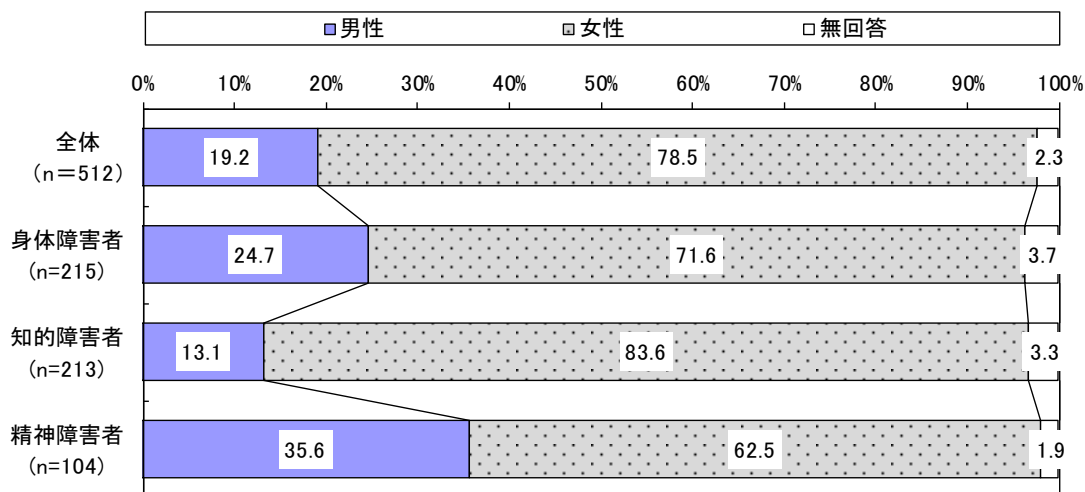
○障害種別に見ると、身体障害者では「40～64歳」と「65歳以上」がともに45.6%、精神障害者では「40～64歳」が46.2%、「65歳以上」が44.2%と、40歳以上で9割を超えています。知的障害者では「40～64歳」が69.5%と7割を占めて最も高くなっています。



②性別

○全体では「女性」が78.5%と8割近くを占めており、「女性」が「男性」の19.2%を59.3ポイント大きく上回っています。

○障害種別に見ると、いずれの障害でも「女性」が「男性」を大きく上回っており、特に知的障害者では「女性」が83.6%と8割を超えて、他の障害に比べ突出して高くなっています。

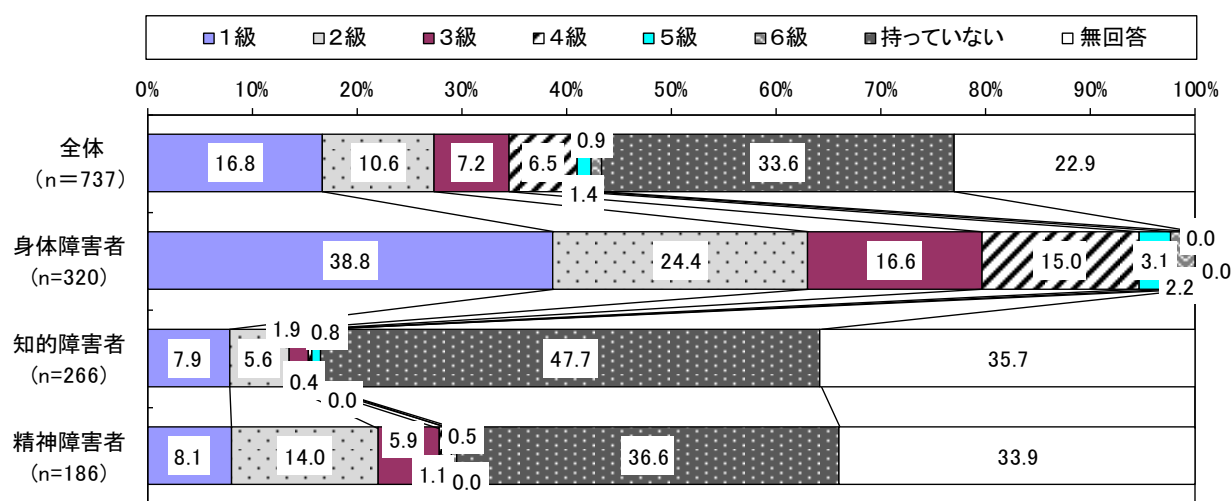


2 障害の状況について

問6 あなたの身体障害者手帳の等級をお答えください。(○は1つ)

○身体障害者では「1級」が38.8%と4割近くで最も高く、次いで「2級」が24.4%、「3級」が16.6%、「4級」が15.0%の順に高くなっています。

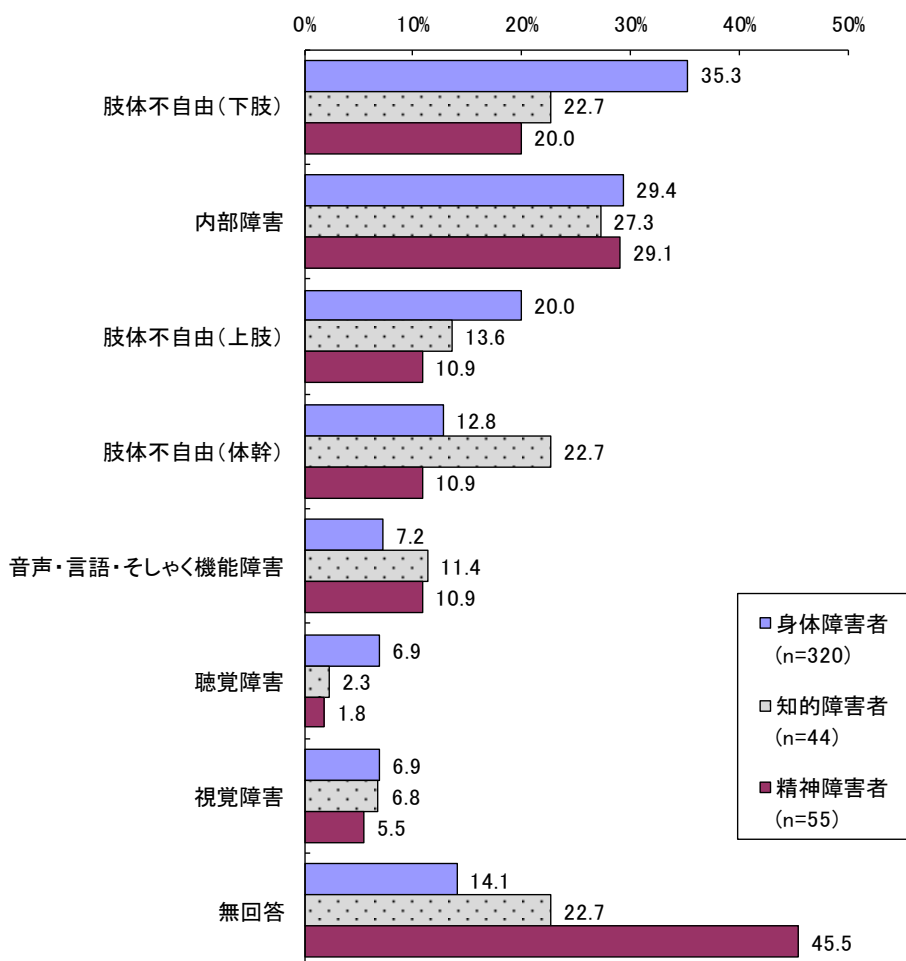
○知的障害者と精神障害者では、「1級」が8%前後でほぼ同じ割合となっています。精神障害者では、「2級」が14.0%と高くなっています。



問7 身体障害者手帳をお持ちの場合、障害の種類をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

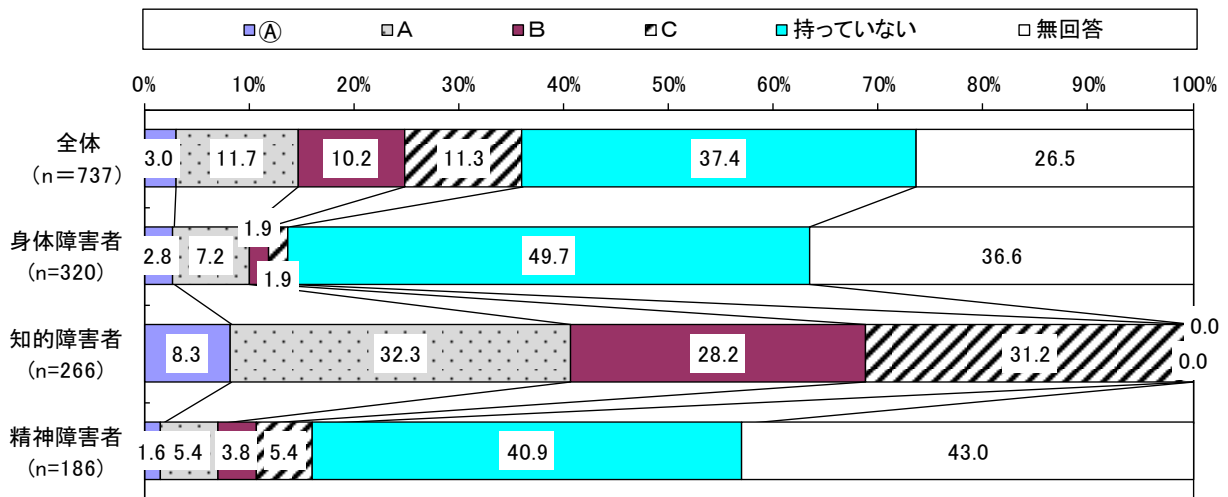
○身体障害者手帳をお持ちの方では、「肢体不自由（下肢）」が35.3%と最も高く、次いで「内部障害」が29.4%、「肢体不自由（上肢）」が20.0%、「肢体不自由（体幹）」が12.8%と続いています。

○障害種別に見ると、身体障害者では「肢体不自由（上肢）」と「肢体不自由（下肢）」が他の障害に比べ突出して高くなっています。知的障害者では「肢体不自由（体幹）」がそれぞれ22.7%と2割を超えて他の障害に比べ突出して高くなっています。



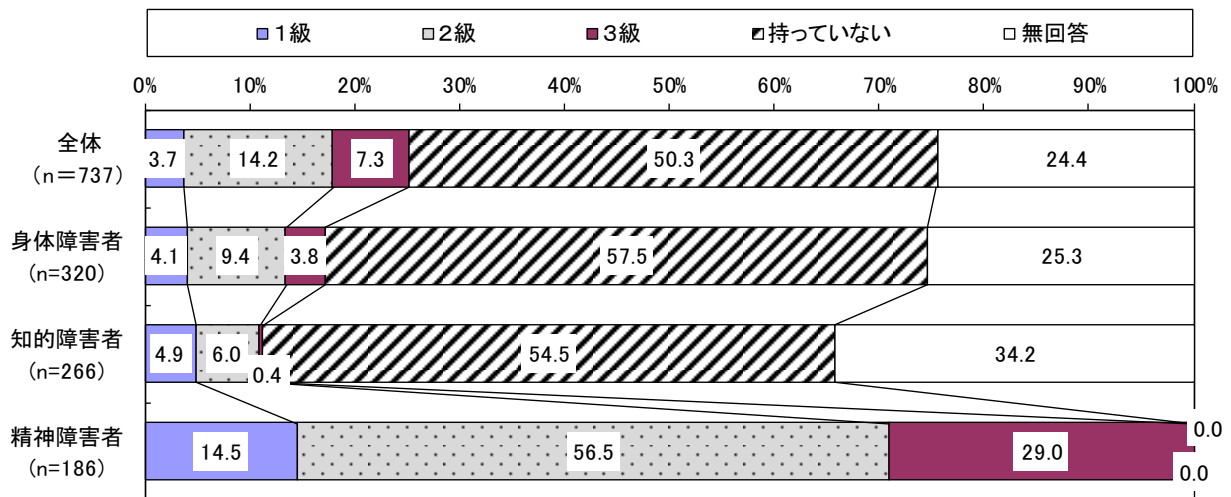
問8 あなたの療育手帳の等級をお答えください。(〇は1つ)

- 知的障害者では「A」が32.3%、と「C」が31.2%、「B」が28.2%とそれぞれ3割前後と高くなっています。「A」は8.3%となっています。
- 身体障害者と精神障害者では、「持っていない」が4割を超えて最も高くなっています。また身体障害者では「A」が7.2%、精神障害者では「A」と「C」がともに5.4%と高くなっています。



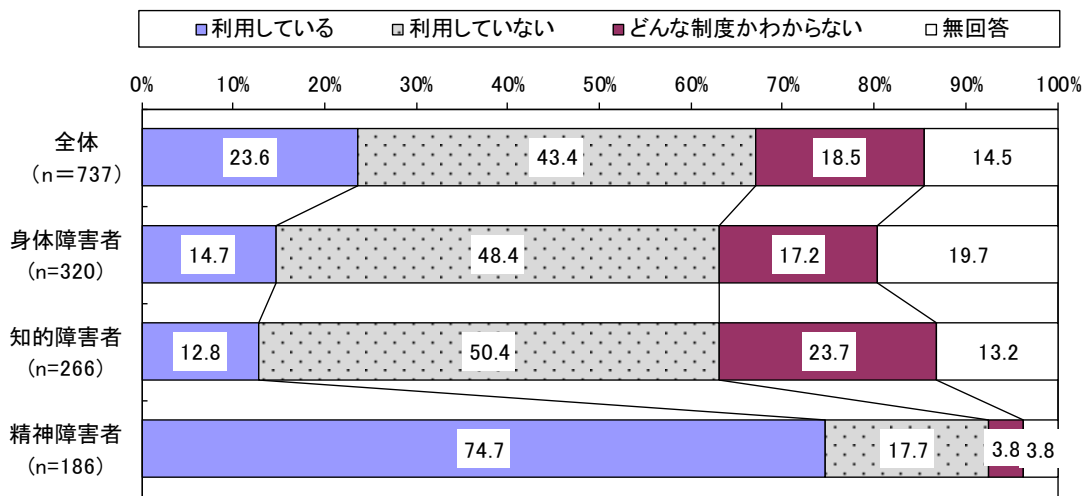
問9 あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級をお答えください。(○は1つ)

- 精神障害者では「2級」が56.5%と5割半ばを超えて最も高く、次いで「3級」が29.0%、「1級」が14.5%と続いています。
- 身体障害者と知的障害者では、「持っていない」が全体の5割を超えて最も高く、所持している精神障害者保健福祉手帳では、「2級」が身体障害者で9.4%、知的障害者で6.0%と最も高くなっています。



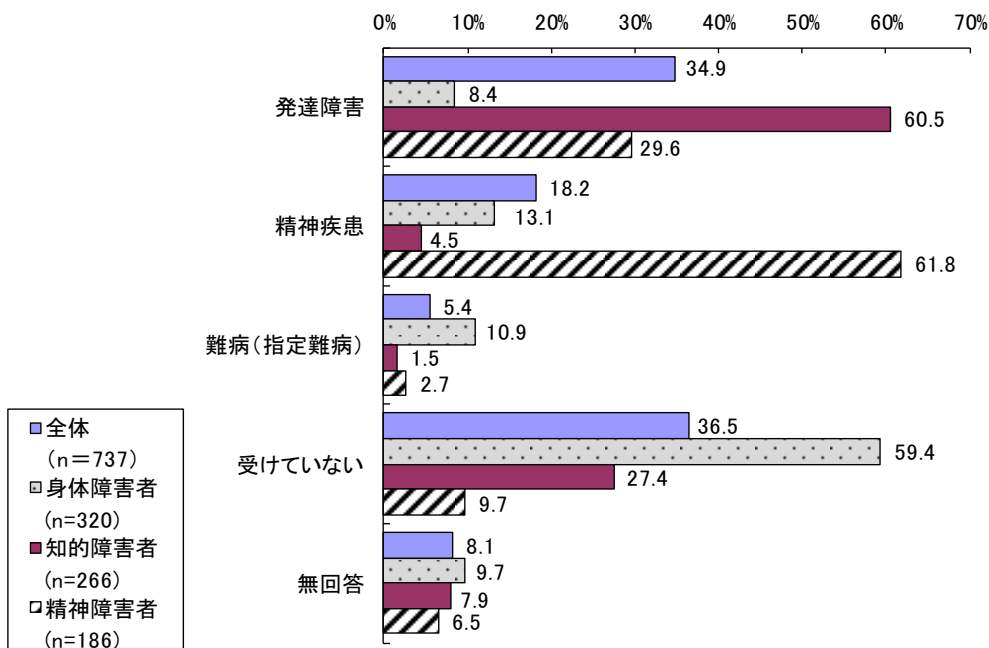
問 10 あなたは「自立支援医療制度（精神通院）」を利用していますか。（○は1つ）

- 全体では「利用している」が23.6%、「利用していない」が43.4%、「どんな制度かわからない」が18.5%となっています。
- 障害種別に見ると、「利用している」が身体障害者で14.7%、知的障害者でそれぞれ12.8%とそれぞれ1割を超えています。精神障害者では「利用している」が74.7%と7割半ばを占めて最も高く、次いで「利用していない」が17.7%、「どんな制度かわからない」が3.8%と続いています。



問 11 あなたは、次のような認定や診断を受けていますか。または、受けたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

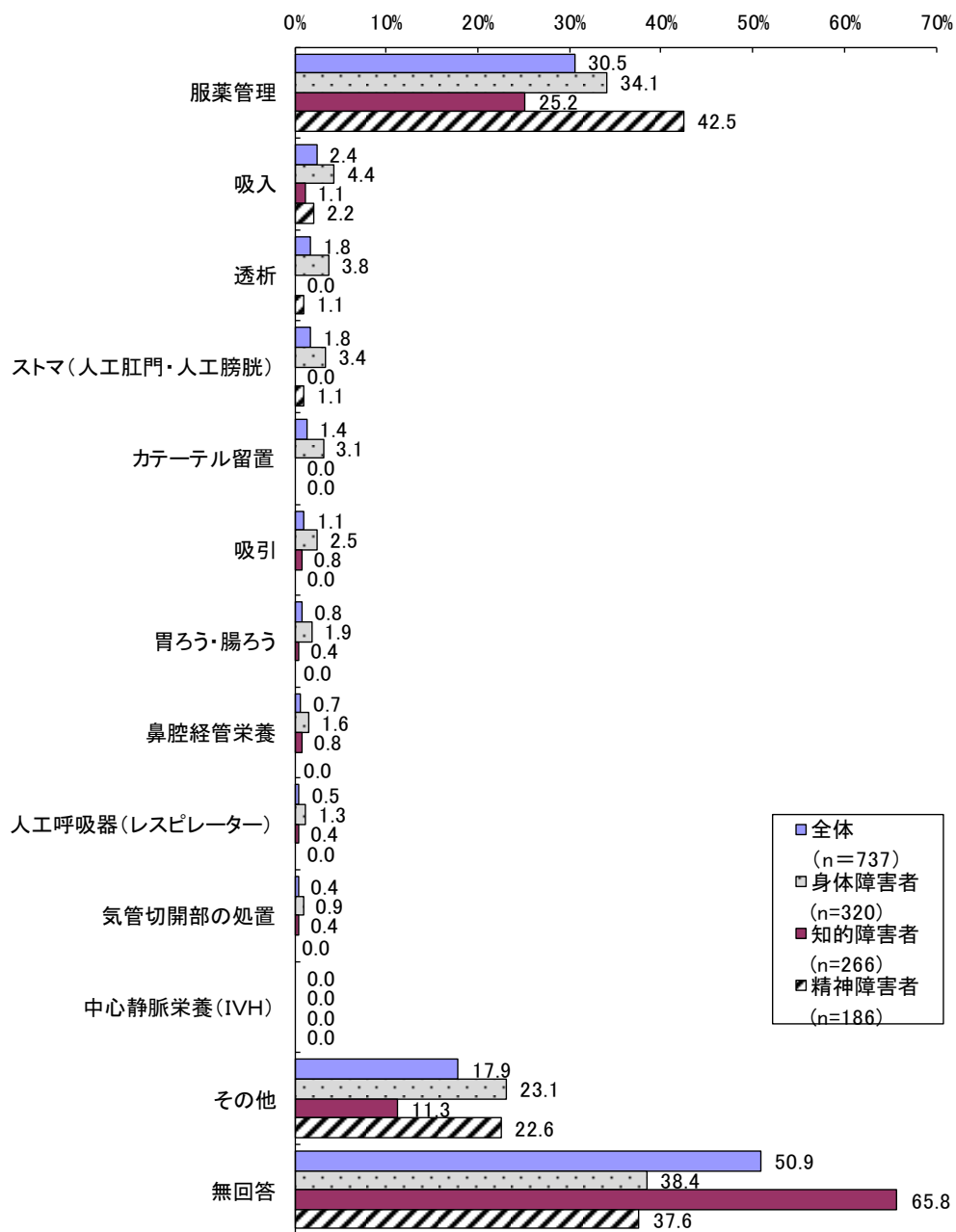
- 全体では、「受けていない」が 36.5%と最も高く、次いで「発達障害」が 34.9%、「精神疾患」が 18.2%、「難病（指定難病）」が 5.4%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「受けていない」が 59.4%、知的障害者では「発達障害」が 60.5%、精神障害者では「精神疾患」が 61.8%と、それぞれ 6 割前後で突出して高くなっています。



問 12 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

○全体では、「無回答」を除くと「服薬管理」が30.5%と最も高くなっています。

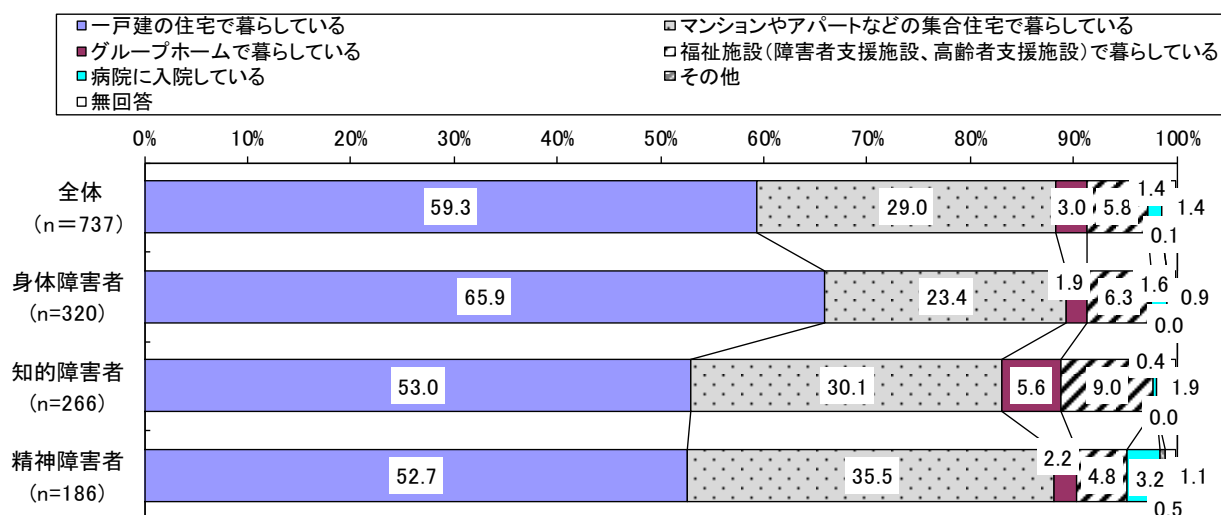
○障害種別に見ると、いずれの障害でも「服薬管理」が高くなっており、身体障害者で34.1%、知的障害者で25.2%、精神障害者で42.5%と高くなっています。また、いずれの医療ケアも、身体障害者は他の障害に比べやや高い傾向にあります。



3 住まいや暮らしについて

問 13 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つ)

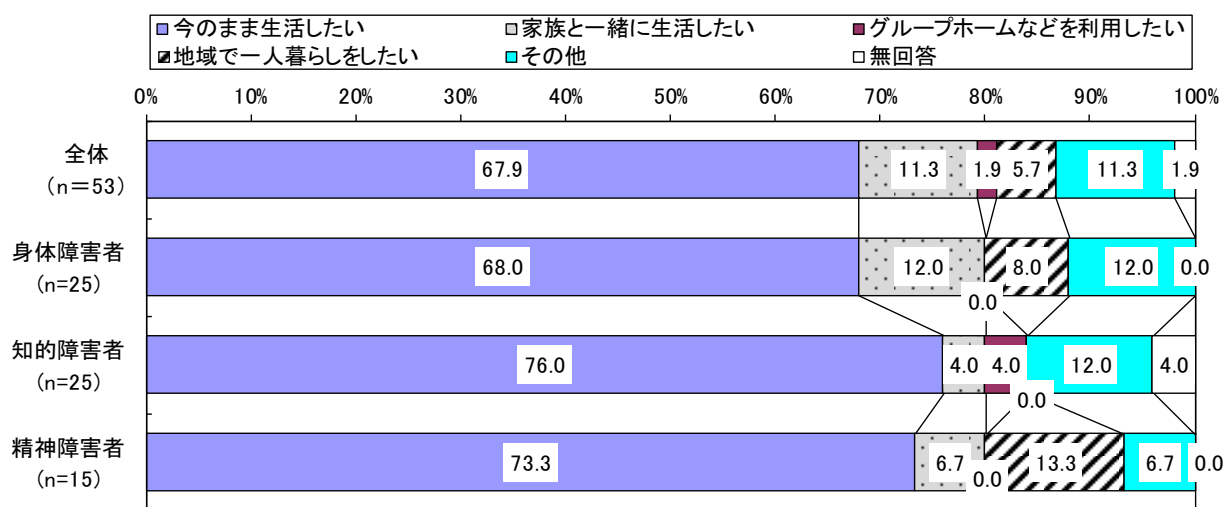
- 全体では「一戸建の住宅で暮らしている」が59.3%と6割近くを占めて最も高く、次いで「マンションやアパートなどの集合住宅で暮らしている」が29.0%と続いています。
- 障害種別に見ると、いずれの障害でも「一戸建の住宅で暮らしている」が最も高く、特に身体障害者では65.9%と6割半ばを超えています。知的障害者では「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」が9.0%と、他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では「病院に入院している」が3.2%と、他の障害に比べ高くなっています。



問 13 で「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」または「病院に入院している」と回答された方におききます。

問 14 あなたは将来、施設や病院を退所・退院して、地域で生活したいと思いませんか。（〇は1つ）

- 全体では「今のまま生活したい」が 67.9%（53 人中 36 人）と 6 割半ばを超えて最も高く、「家族と一緒に生活したい」が 11.3%（53 人中 6 人）、「地域で一人暮らしをしたい」が 5.7%（53 人中 3 人）、「グループホームなどを利用したい」が 1.9%（53 人中 1 人）となっています。
- 障害種別に見ると、いずれの障害でも「今のまま生活したい」が 7 割前後で最も高くなっています。

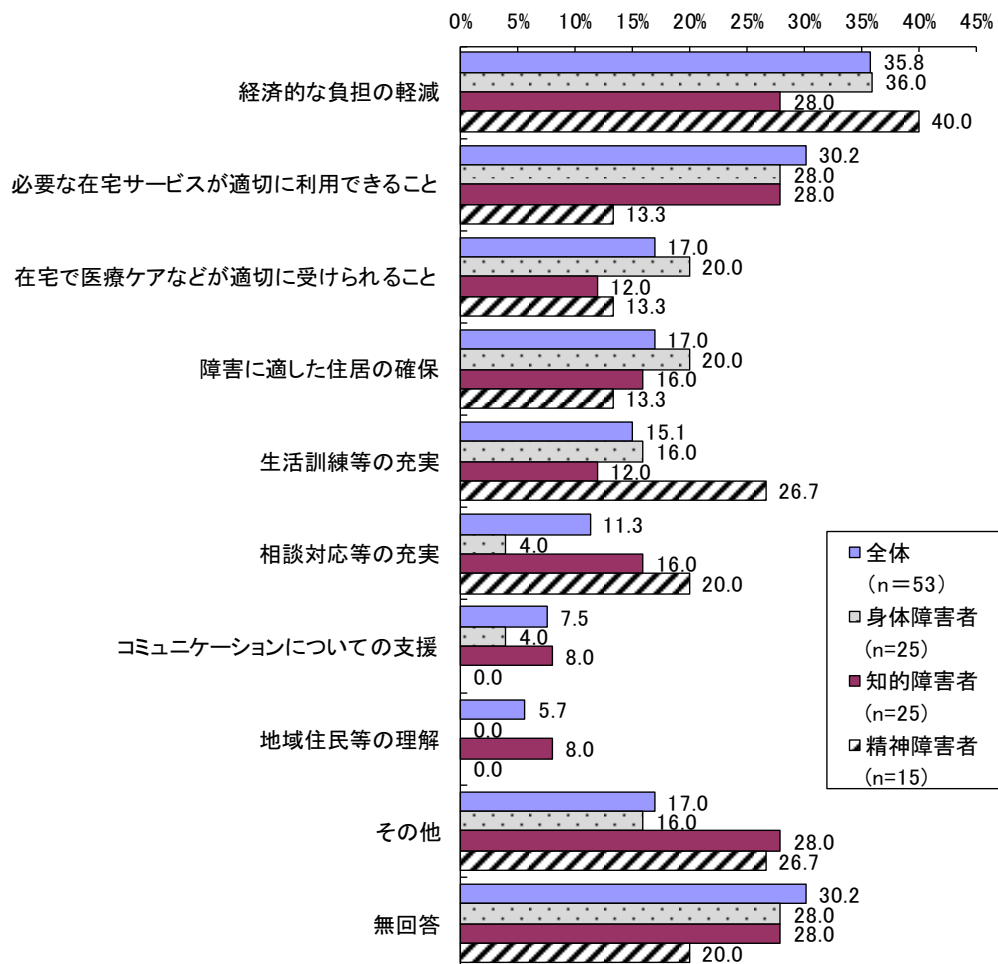


問13で「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」または「病院に入院している」と回答された方におきまします。

問15 施設や病院を退所・退院して、地域で生活するためには、特にどのような支援があればよいと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

○全体では、「無回答」を除くと「経済的な負担の軽減」が35.8%（53人中19人）、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が30.2%（53人中16人）と3割を超えて高く、「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」と「障害に適した住居の確保」がともに17.0%（53人中9人）と続いています。

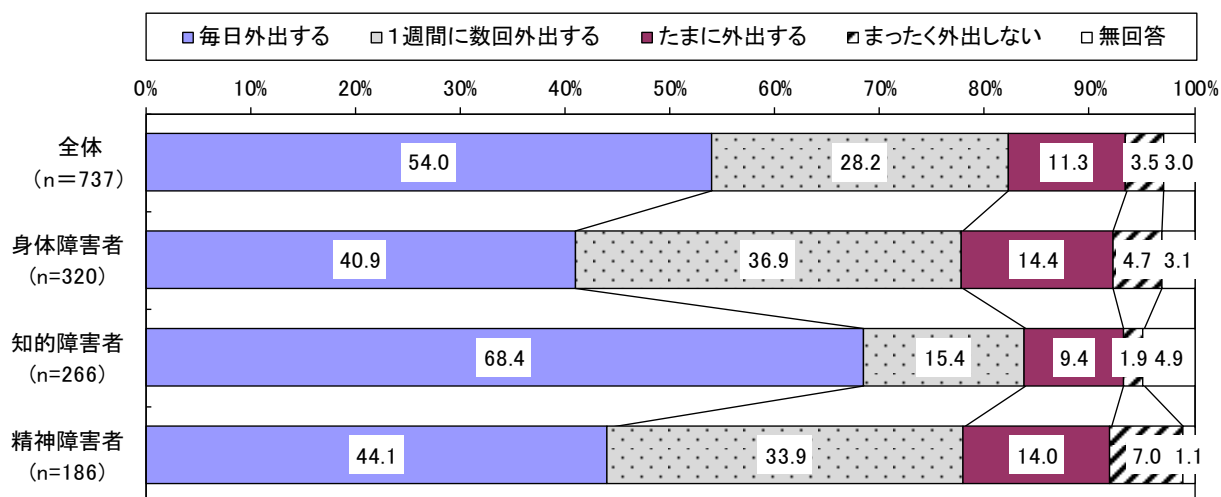
○障害種別に見ると、身体障害者では「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」と「障害に適した住居の確保」が、知的障害者では「コミュニケーションについての支援」と「地域住民等の理解」が、精神障害者では「経済的な負担の軽減」「生活訓練等の充実」「相談対応等の充実」がそれぞれ他の障害に比べ高くなっています。



4 日中活動や就労について

問 16 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。（〇は1つ）

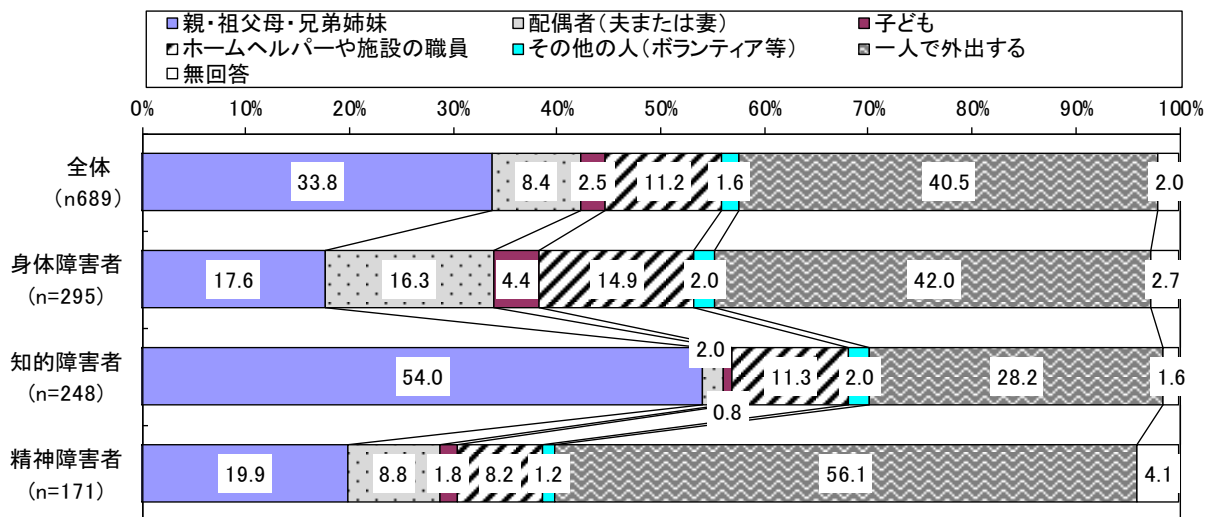
- 全体では「毎日外出する」が54.0%と5割を超えて最も高く、次いで「1週間に数回外出する」が28.2%、「たまに外出する」が11.3%、「まったく外出しない」が3.5%となっており、「毎日外出する」と「1週間に数回外出する」を合わせた『1週間に数回以上外出する』は82.2%と8割を超えています。
- 障害種別に見ると、身体障害者と精神障害者では「毎日外出する」が4割台、「1週間に数回外出する」が3割台、「たまに外出する」が14%台と近い割合になっていますが、精神障害者では「まったく外出しない」が7.0%と他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「毎日外出する」が68.4%と7割近くで最も高くなっています。
- 「まったく外出しない」理由としては「体調が悪いから」「入院中」「車イス常用」「酸素を吸入するため」といった回答になっています。



問16で「毎日外出する」「1週間に数回外出する」「たまに外出する」と回答された方におきまします。

問17 あなたが外出する際の主な同伴者はどなたですか。（〇は1つ）

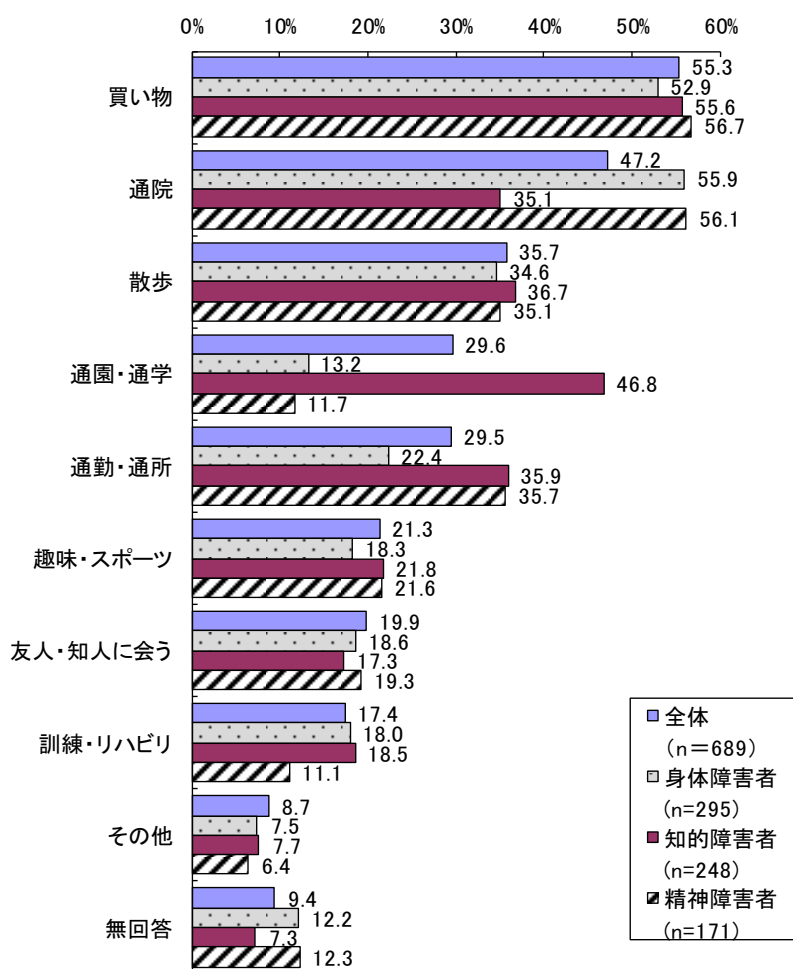
- 全体では「一人で外出する」が40.5%と4割を占めて最も高く、次いで「親・祖父母・兄弟姉妹」が33.8%、「ホームヘルパーや施設の職員」が11.2%、「配偶者（夫または妻）」が8.4%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「一人で外出する」が42.0%と最も高く、次いで「親・祖父母・兄弟姉妹」が17.6%、「配偶者（夫または妻）」が16.3%と続いています。知的障害者では「親・祖父母・兄弟姉妹」が54.0%と5割半ば近くを占め最も高くなっています。精神障害者では「一人で外出する」が56.1%と5割半ばを超えて最も高く、次いで「親・祖父母・兄弟姉妹」が19.9%と2割で続いています。



問16で「毎日外出する」「1週間に数回外出する」「たまに外出する」と回答された方におきまします。

問18 あなたは、どのような目的で外出しますか。（あてはまるものすべてに○）

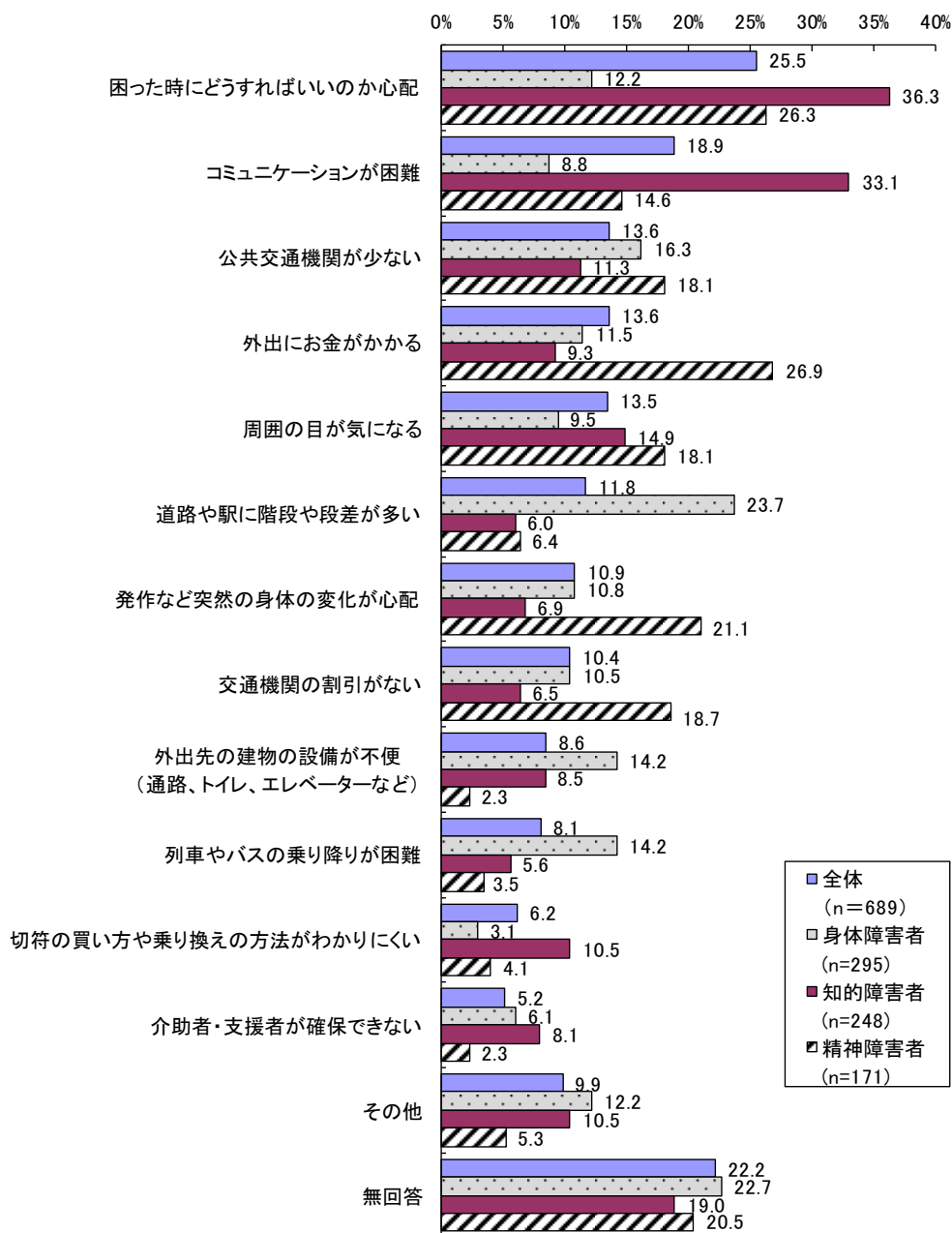
- 全体では、「買い物」が55.3%と5割半ばで最も高く、次いで「通院」が47.2%、「散歩」が35.7%、「通園・通学」が29.6%、「通勤・通所」が29.5%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者と精神障害者では全体と同じく「買い物」「通院」「散歩」が高くなっています。知的障害者では「通院」が他の障害に比べ低くなっていますが、「通園・通学」が46.8%と他の障害に比べ突出して高くなっています。また、「通勤・通所」は身体障害者で他の障害に比べ低くなっています。



問16で「毎日外出する」「1週間に数回外出する」「たまに外出する」と回答された方におきまします。

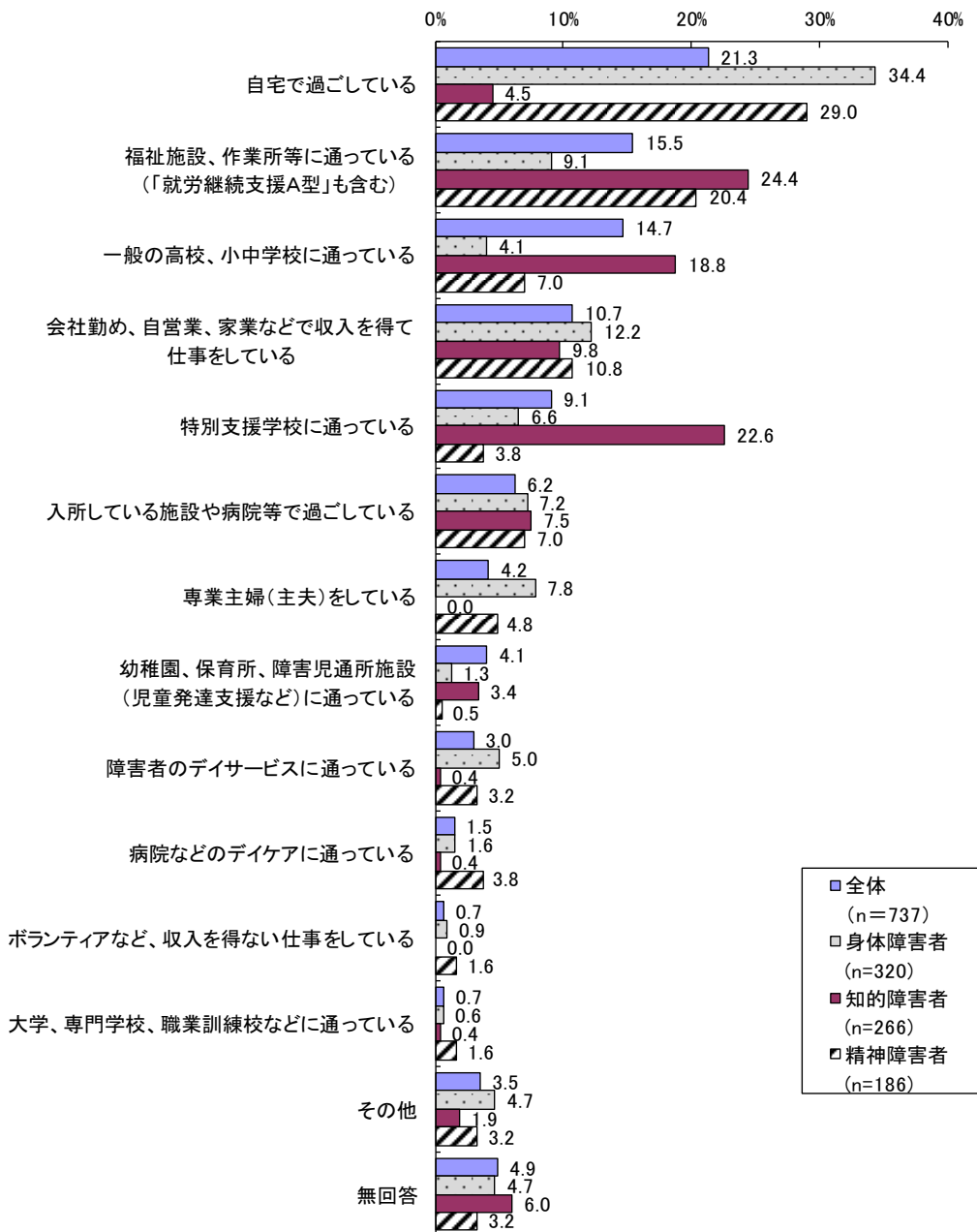
問19 外出する時に特に困ることは何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

- 全体では、「無回答」を除くと、「困った時にどうすればいいのか心配」が25.5%と最も高く、次いで「コミュニケーションが困難」が18.9%、「公共交通機関が少ない」と「外出にお金がかかる」がともに13.6%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「道路や駅に階段や段差が多い」「外出先の建物の設備が不便」「列車やバスの乗り降りが困難」といったバリアフリーや公共交通についての困りごとが他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では、「困った時にどうすればいいのか心配」「コミュニケーションが困難」といった意思疎通の困りごとが他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では、「外出にお金がかかる」「発作など突然の身体の変化が心配」「交通機関の割引がない」といった外出時の不満・不安が高くなっています。



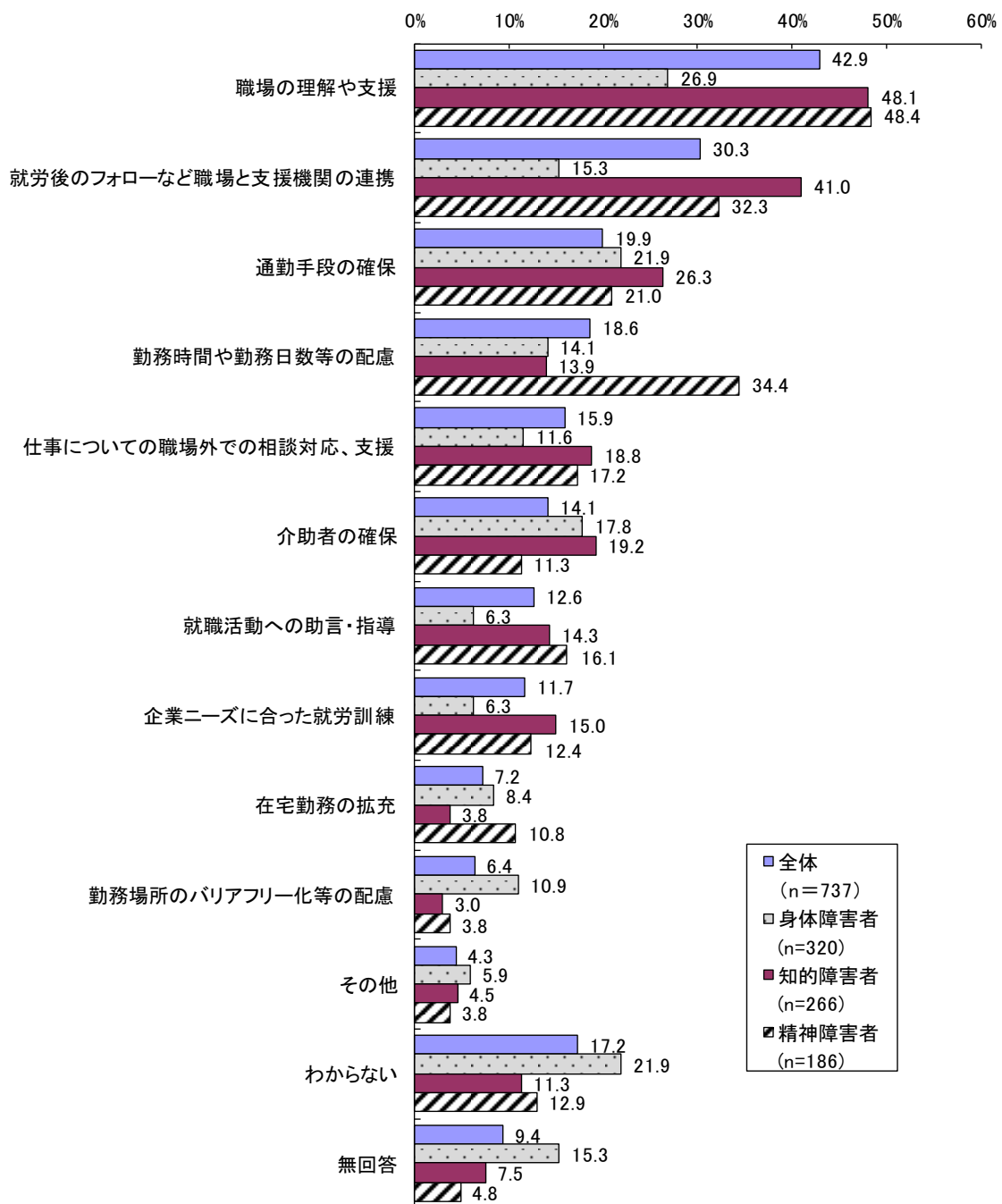
問 20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（〇は1つ）

- 全体では、「自宅で過ごしている」が21.3%と2割を超えて最も高く、次いで「福祉施設、作業所等に通っている（「就労継続支援A型」も含む）」が15.5%、「一般の高校、小中学校に通っている」が14.7%と続いています。
- 障害種別に見ると、「自宅で過ごしている」は身体障害者と精神障害者で最も高く、知的障害者では4.5%と他の障害に比べ突出して低くなっています。「福祉施設、作業所等に通っている（「就労継続支援A型」も含む）」は知的障害者と精神障害者で2割を超えて高く、身体障害者では9.1%と他の障害に比べ低くなっています。知的障害者では、「一般の高校、小中学校に通っている」と「特別支援学校に通っている」が他の障害に比べ突出して高くなっています。



**問 21 あなたは、障害者の就労支援として、特にどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)**

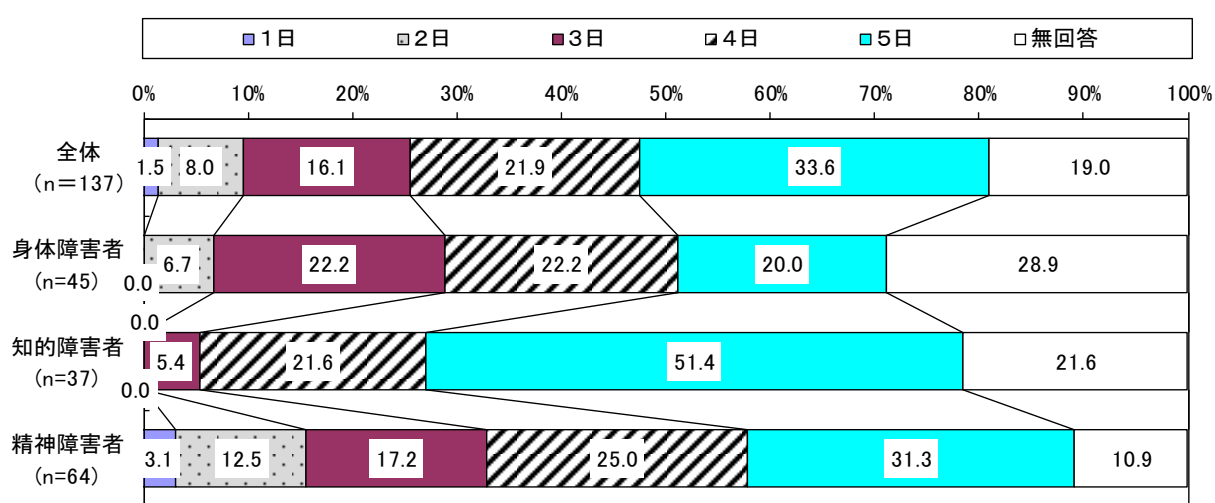
- 全体では、「職場の理解や支援」が42.9%と4割を超えて最も高く、次いで「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」が30.3%、「通勤手段の確保」が19.9%と続いています。
- 障害種別に見ると、いずれの障害でも「職場の理解や支援」が最も高くなっていますが、身体障害者では他の障害に比べ突出して低くなっています。知的障害者では「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」が41.0%と他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「勤務時間や勤務日数等の配慮」が34.4%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



問21で「勤務時間や勤務日数等の配慮」と回答され、現在就労している方やこれから就労を考えている方におきまします

問22 あなたは、就労に当たり一週間に何日の勤務を希望しますか。（○は1つ）

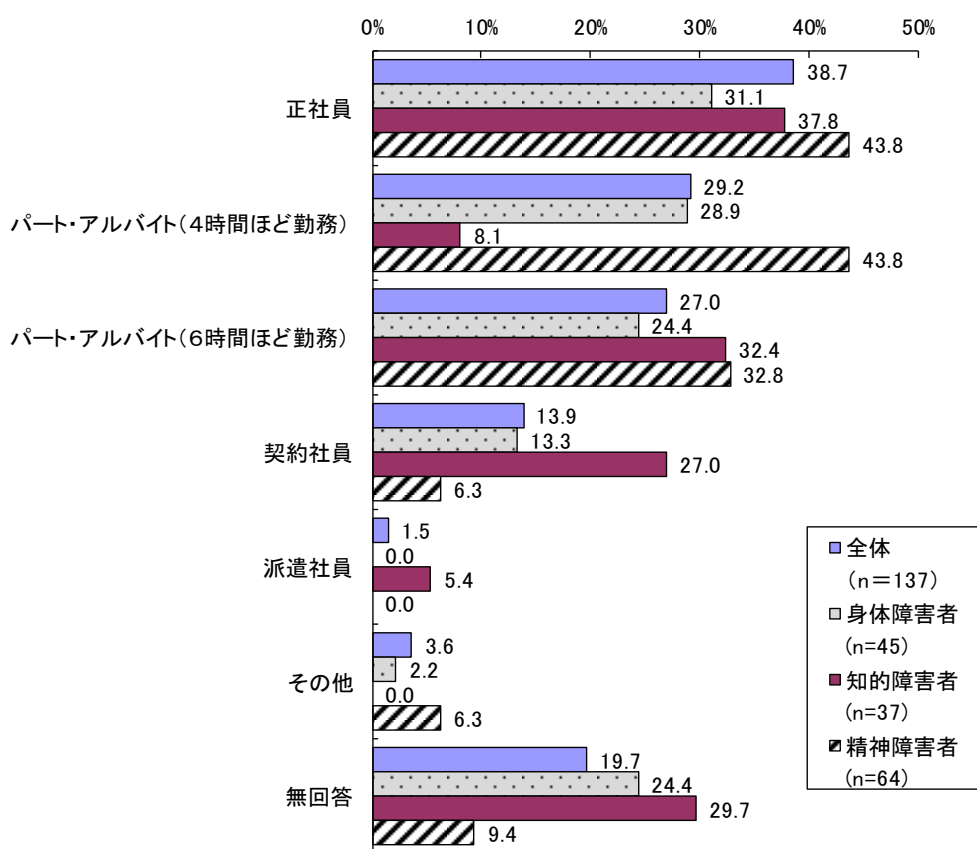
- 全体では「5日」が33.6%と3割を超えて最も高く、次いで「4日」が21.9%、「3日」が16.1%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「3日」「4日」「5日」が約2割とそれぞれ近い割合になっています。知的障害者では「5日」が51.4%と5割を超えて最も高く、「4日」が21.6%と4日以上が7割を超えています。精神障害者では「5日」が31.3%と3割を超えて最も高く、次いで「4日」が25.0%と続いており、4日以上が5割半ばを超えています。



問21で「勤務時間や勤務日数等の配慮」と回答され、現在就労している方やこれから就労を考えている方におききします

問23 あなたが、就労に当たり希望する雇用形態はどれですか。（あてはまるもの3つまでに○）

- 全体では、「無回答」を除くと、「正社員」が38.7%と4割近くで最も高く、次いで「パート・アルバイト（4時間ほど勤務）」が29.2%、「パート・アルバイト（6時間ほど勤務）」が27.0%と続いています。
- 障害種別に見ると、知的障害者では、「契約社員」が27.0%と他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「正社員」と「パート・アルバイト（4時間ほど勤務）」がともに43.8%と4割を超えて、他の障害に比べ高くなっています。



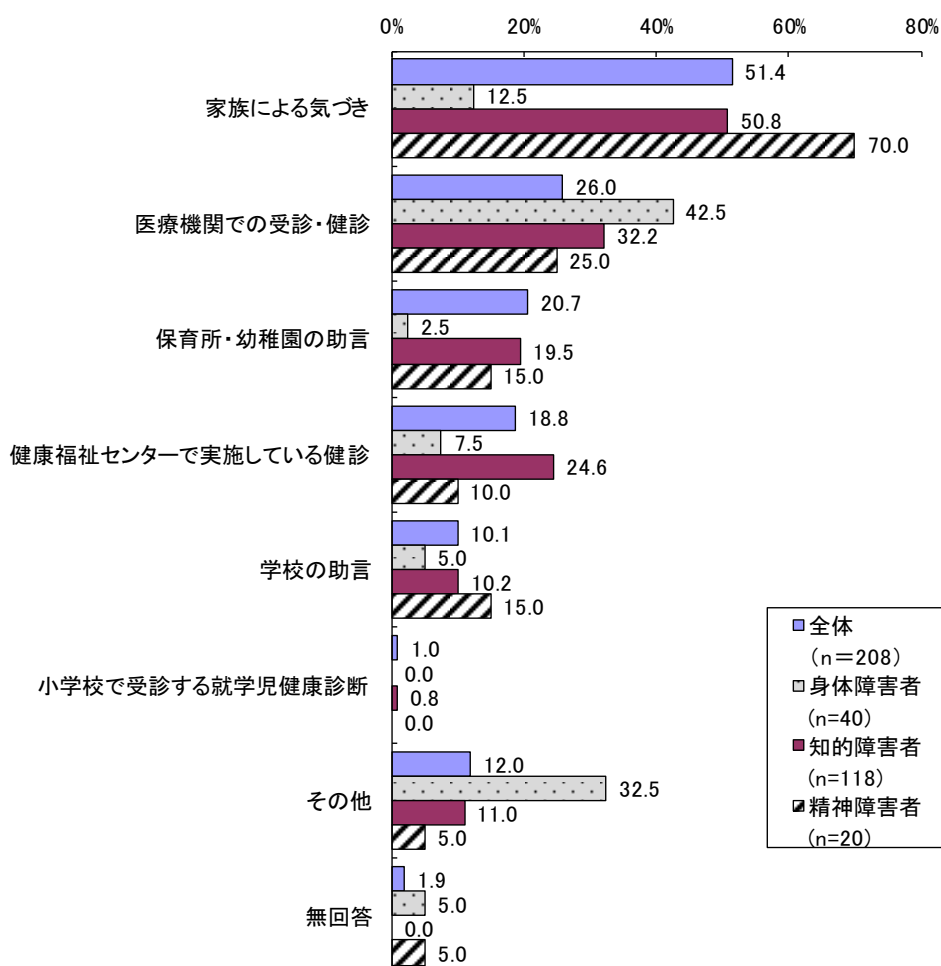
5 障害のあるお子さんについて

問24～26は、障害のある18歳未満のお子さんの保護者の方におききます。

問24 お子さんの障害に気づいたきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

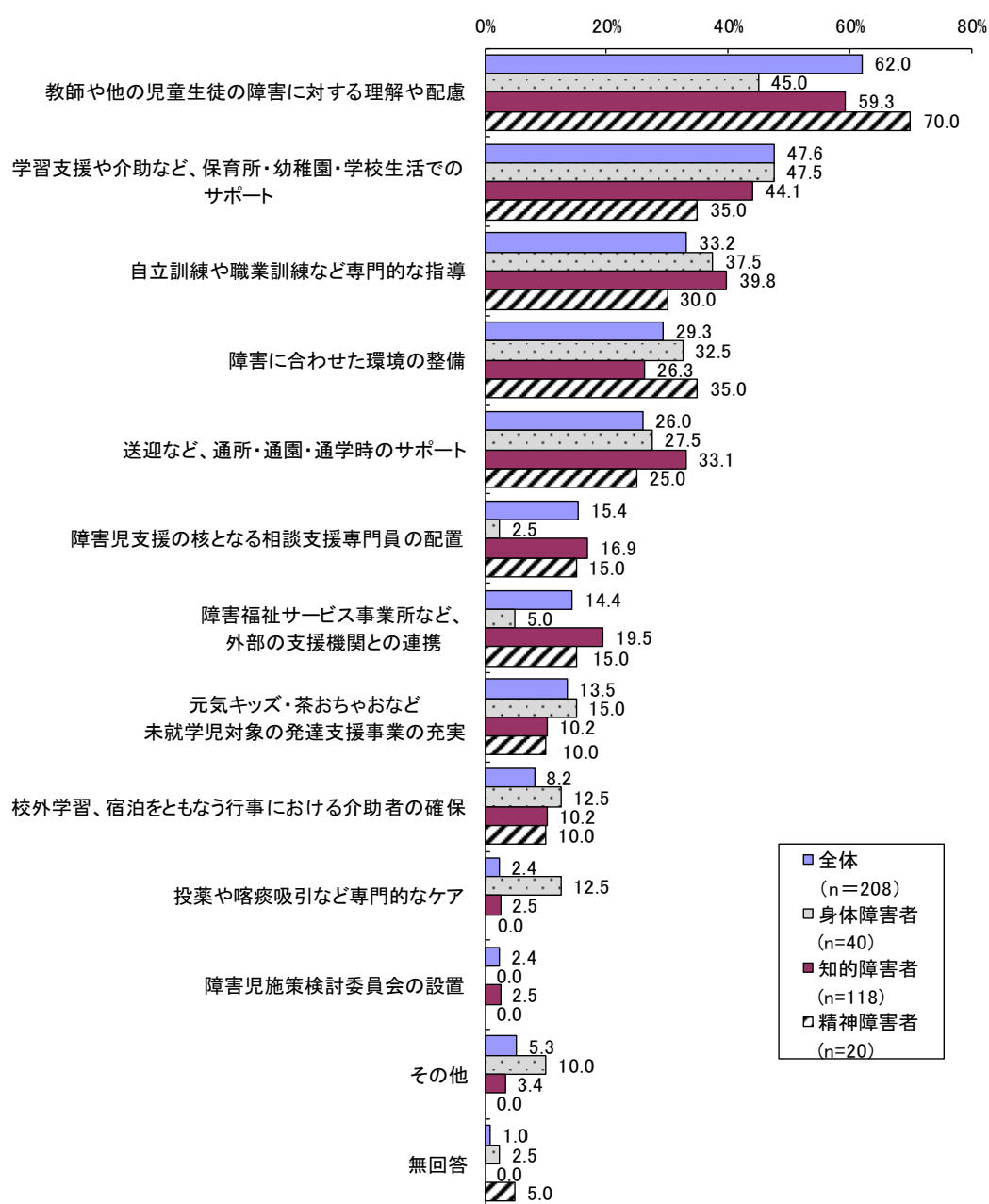
○全体では、「家族による気づき」が51.4%と5割を超えて最も高く、次いで「医療機関での受診・健診」が26.0%、「保育所・幼稚園の助言」が20.7%、「健康福祉センターで実施している健診」が18.8%と続いています。

○障害種別に見ると、「家族による気づき」は知的障害者で50.8%、精神障害者で70.0%と最も高くなっていますが、身体障害者では12.5%と他の障害に比べ突出して低くなっています。身体障害者では「医療機関での受診・健診」が42.5%と他の障害に比べ高くなっています。また、知的障害者では「健康福祉センターで実施している健診」が24.6%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



**問 25 お子さんが保育所、幼稚園、学校に通ううえで、特に求めることは何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)**

- 全体では、「教師や他の児童生徒の障害に対する理解や配慮」が62.0%と6割を超えて最も高く、次いで「学習支援や介助など、保育所・幼稚園・学校生活でのサポート」が47.6%、「自立訓練や職業訓練など専門的な指導」が33.2%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「投薬や喀痰吸引など専門的なケア」が12.5%と他の障害に比べ突出して高くなっています。知的障害者では「自立訓練や職業訓練など専門的な指導」「送迎など、通所・通園・通学時のサポート」「障害福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携」が他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では「教師や他の児童生徒の障害に対する理解や配慮」が70.0%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



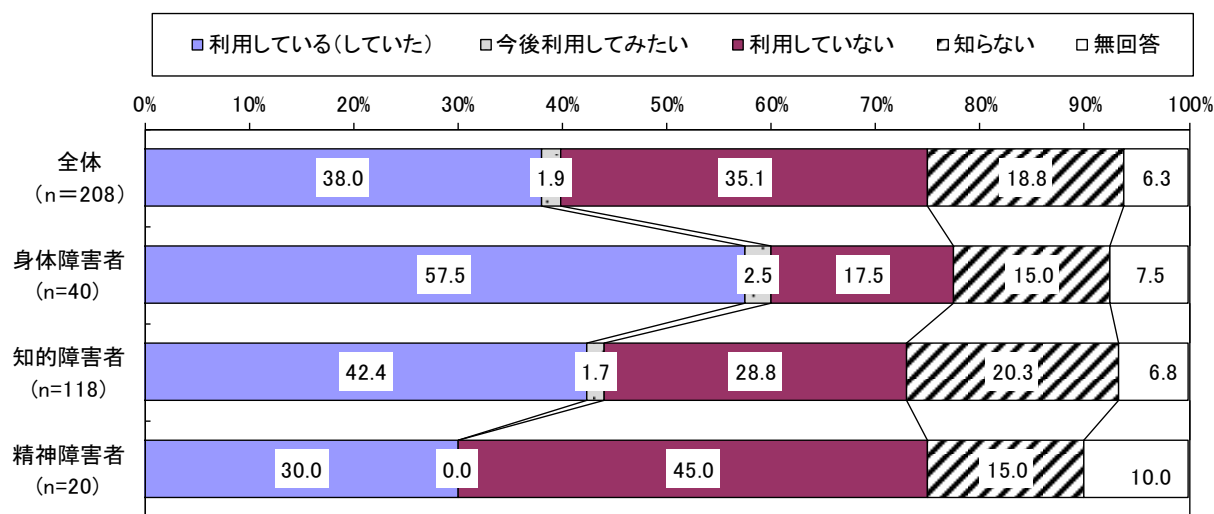
問 26 市が行っている未就学児に対する次の事業について、該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

①健康福祉センター：児童発達支援事業 「元気キッズ」

○全体では「利用している（していた）」が38.0%と4割近くを占めて最も高くなっています。「今後利用してみたい」は1.9%と低く、「利用していない」が35.1%、「知らない」が18.8%となっています。

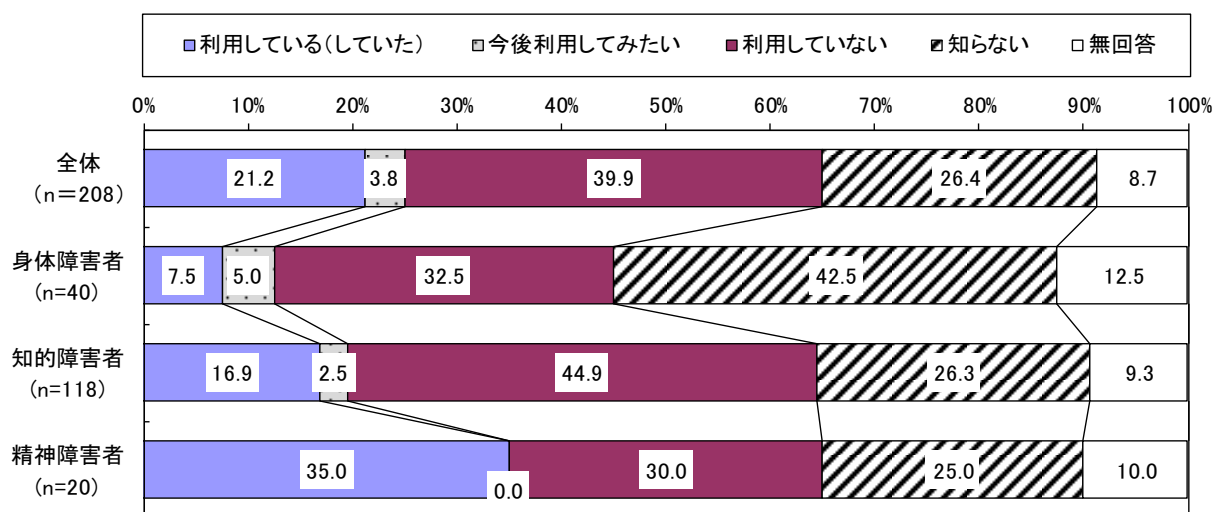
○障害種別に見ると、身体障害者では「利用している（していた）」が57.5%と最も高くなっています。一方、「知らない」は15.0%となっています。知的障害者では「利用している（していた）」が42.4%と4割を超えて最も高くなっています。一方、「利用していない」が28.8%、「知らない」が20.3%と2割台となっています。精神障害者では「利用していない」が45.0%と高く、「利用している（していた）」は30.0%と3割を占めています。一方、「知らない」は15.0%となっています。

○「利用していない」理由としては「満員で入れない」「障がい気が付いたのが、小学校に入ってからだったから」「保護者が働いていたので通うことが難しかったため」「連れていく力(気力)がない」といった回答になっています。



②学校教育課 教育センター：幼児の通級指導教室 「茶おちゃお」

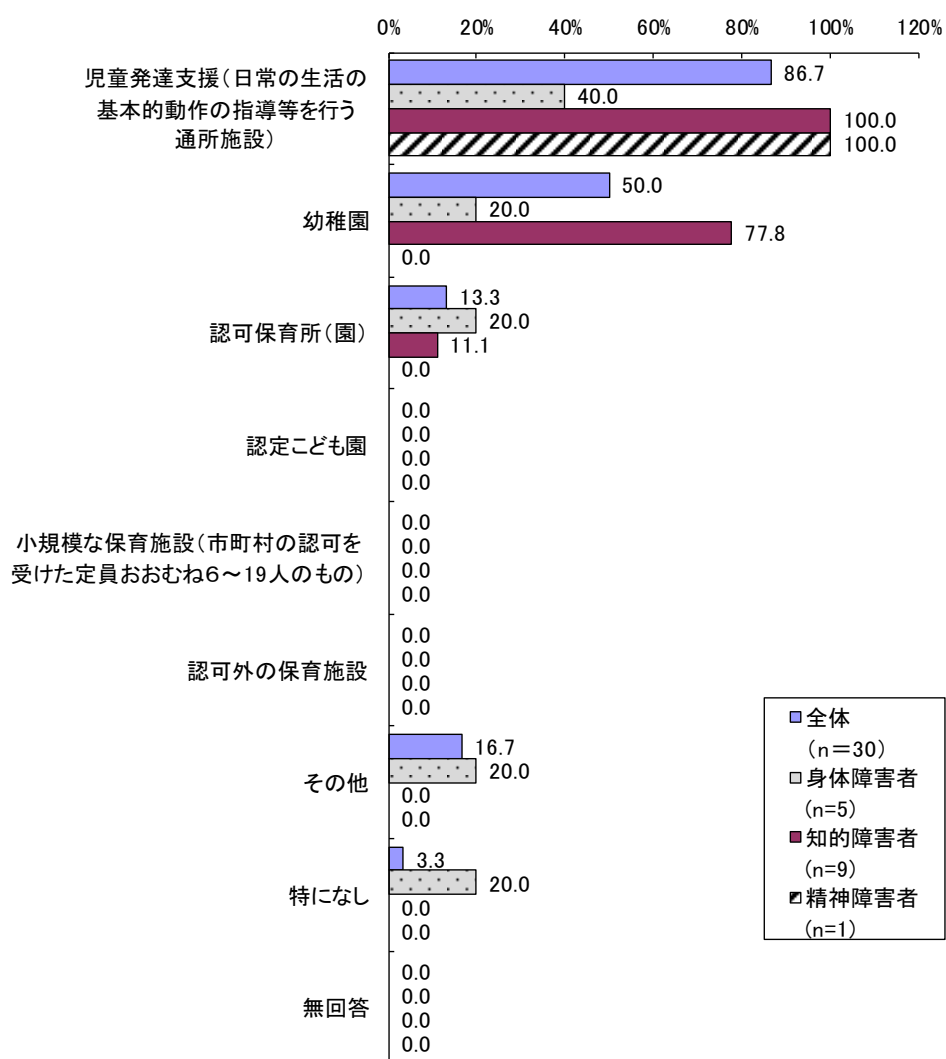
- 全体では「利用している（していた）」が21.2%と2割を超えており、「今後利用してみたい」は3.8%となっています。「利用していない」は39.9%と4割を占め、「知らない」は26.4%となっています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「知らない」が42.5%と4割を超えて他の障害に比べ突出して高くなっています。知的障害者では「利用している（していた）」が16.9%、「今後利用してみたい」は2.5%、「利用していない」が44.9%となっています。精神障害者では「利用している（していた）」が35.0%と他の障害に比べ高くなっています。
- 「利用していない」理由としては「元気キッズに通っていたから」「支援学級に通っていたから」「幼稚園に行っていた」「療育病院にてリハビリ通院」「年齢に達していなかったから」といった回答になっています。



問27~28は、障害のある未就学のお子さんの保護者の方におききます

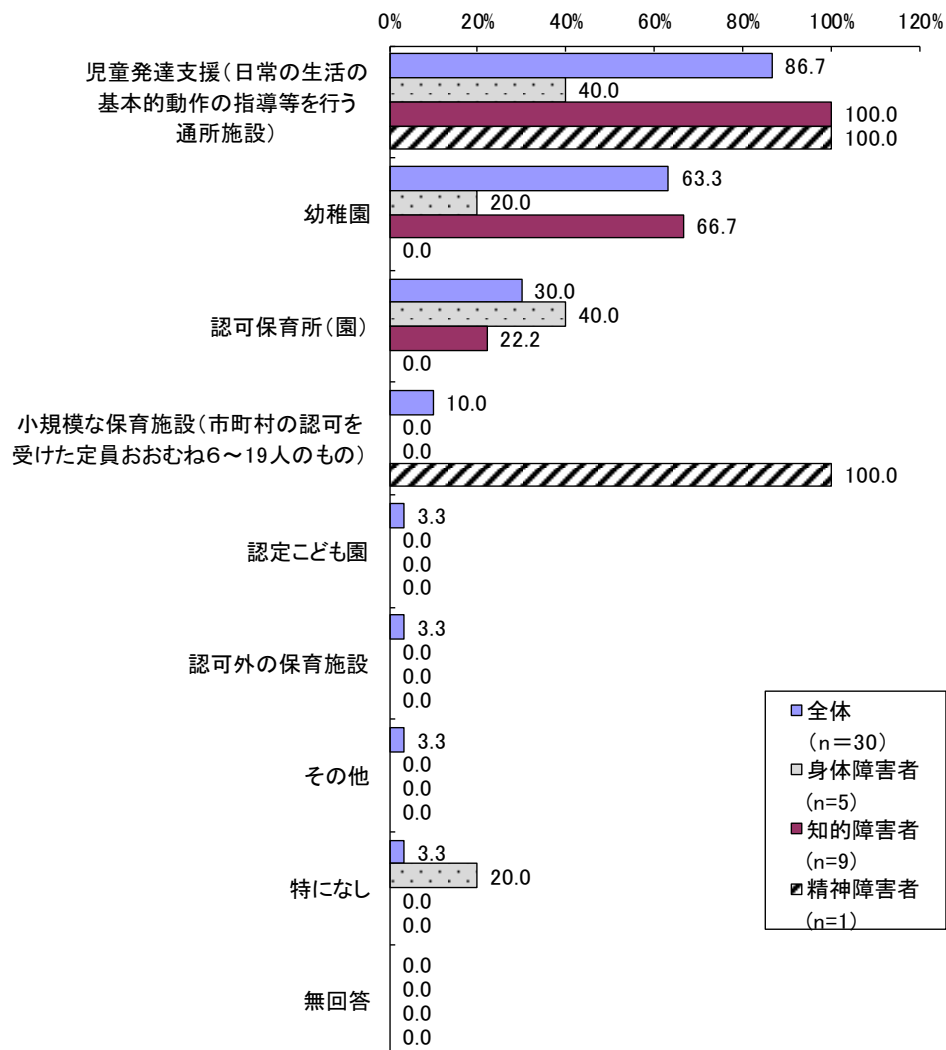
問27 お子さんが現在利用している施設等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 全体では、「児童発達支援（日常の生活の基本的動作の指導等を行う通所施設）」が 86.7%（30人中26人）と8割を超えて最も高く、次いで「幼稚園」が50.0%（30人中15人）、「認可保育所（園）」が13.3%（30人中4人）と続いています。
- 障害種別に見ると、知的障害者では「幼稚園」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。



問 28 現在利用している・利用していないにかかわらず、定期的に平日利用したいと考える施設等をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

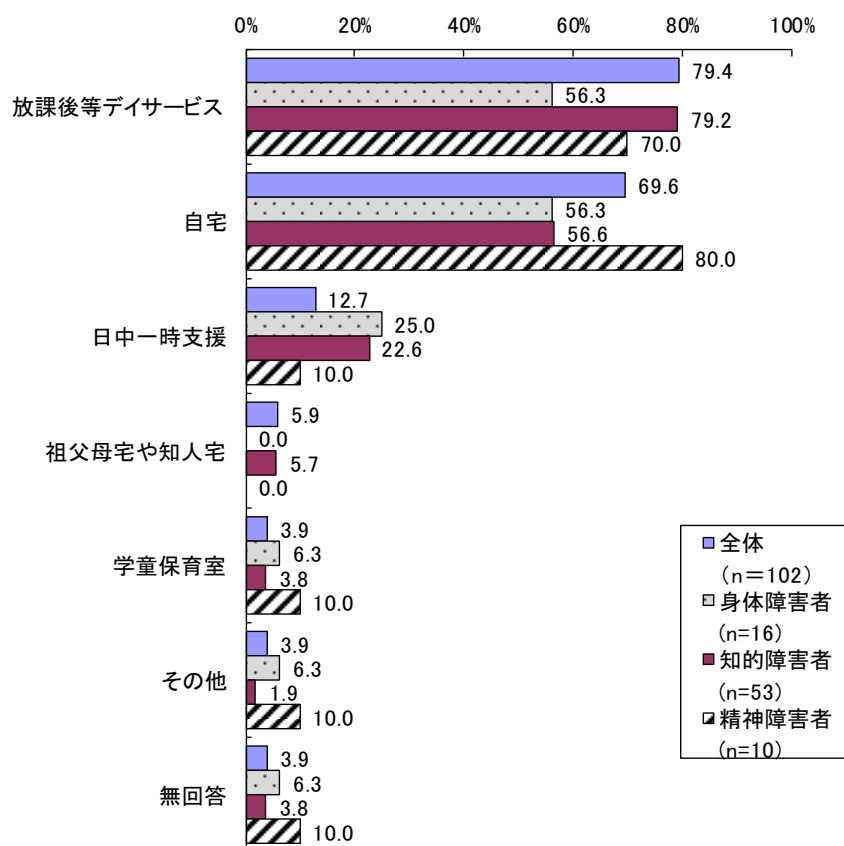
- 全体では、「児童発達支援（日常生活の基本的動作の指導等を行う通所施設）」が 86.7%（30人中 26人）と 8割半ばを超えて最も高く、次いで「幼稚園」が 63.3%（30人中 19人）、「認可保育所（園）」が 30.0%（30人中 9人）と続いています。
- 障害種別に見ると、知的障害者では「幼稚園」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。



問29~30は、障害のある小学生のお子さんの保護者の方におききます

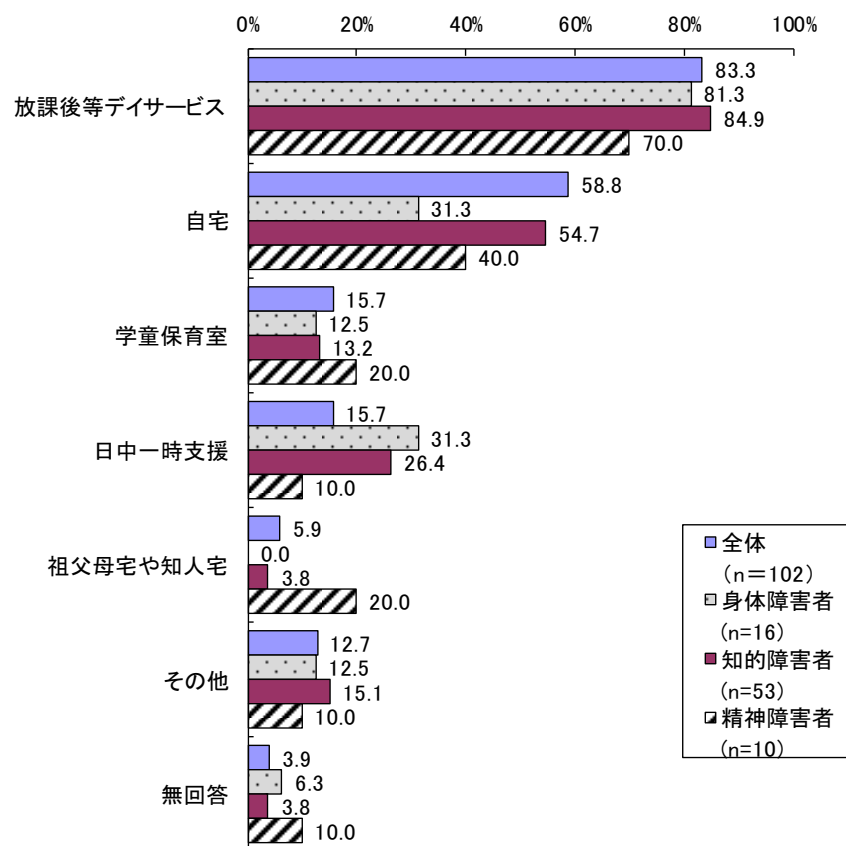
問29 お子さんは、放課後どのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 全体では、「放課後等デイサービス」が79.4%と約8割、「自宅」が69.6%と7割で突出して高くなっています。
- 障害種別に見ると、知的障害者では「放課後等デイサービス」が79.2%（53人中42人）と他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では「自宅」が80.0%（10人中8人）と他の障害に比べ突出して高くなっています。



問 30 お子さんには、放課後どのような場所で過ごさせたいですか。（あてはまるものすべてに○）

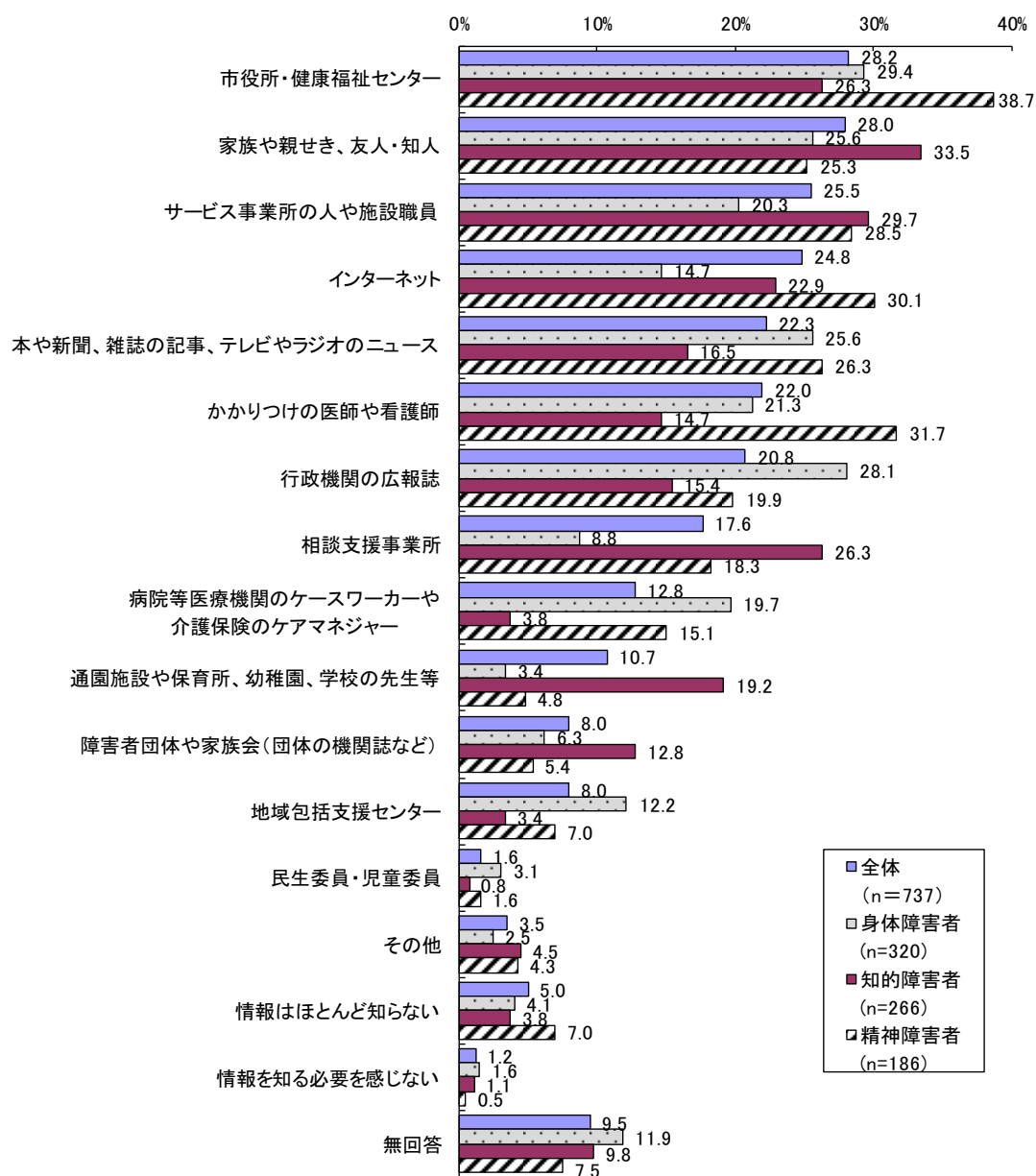
- 全体では、「放課後等デイサービス」が 83.3%と 8割を超えて最も高く、次いで「自宅」が 58.8%、「学童保育室」と「日中一時支援」がともに 15.7%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「日中一時支援」が 31.3%（16人中5人）と他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「自宅」が 54.7%（53人中29人）と他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では「祖父母宅や知人宅」が 20.0%（10人中2人）と他の障害に比べ突出して高くなっています。



6 相談相手などについて

問 31 あなたは、障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

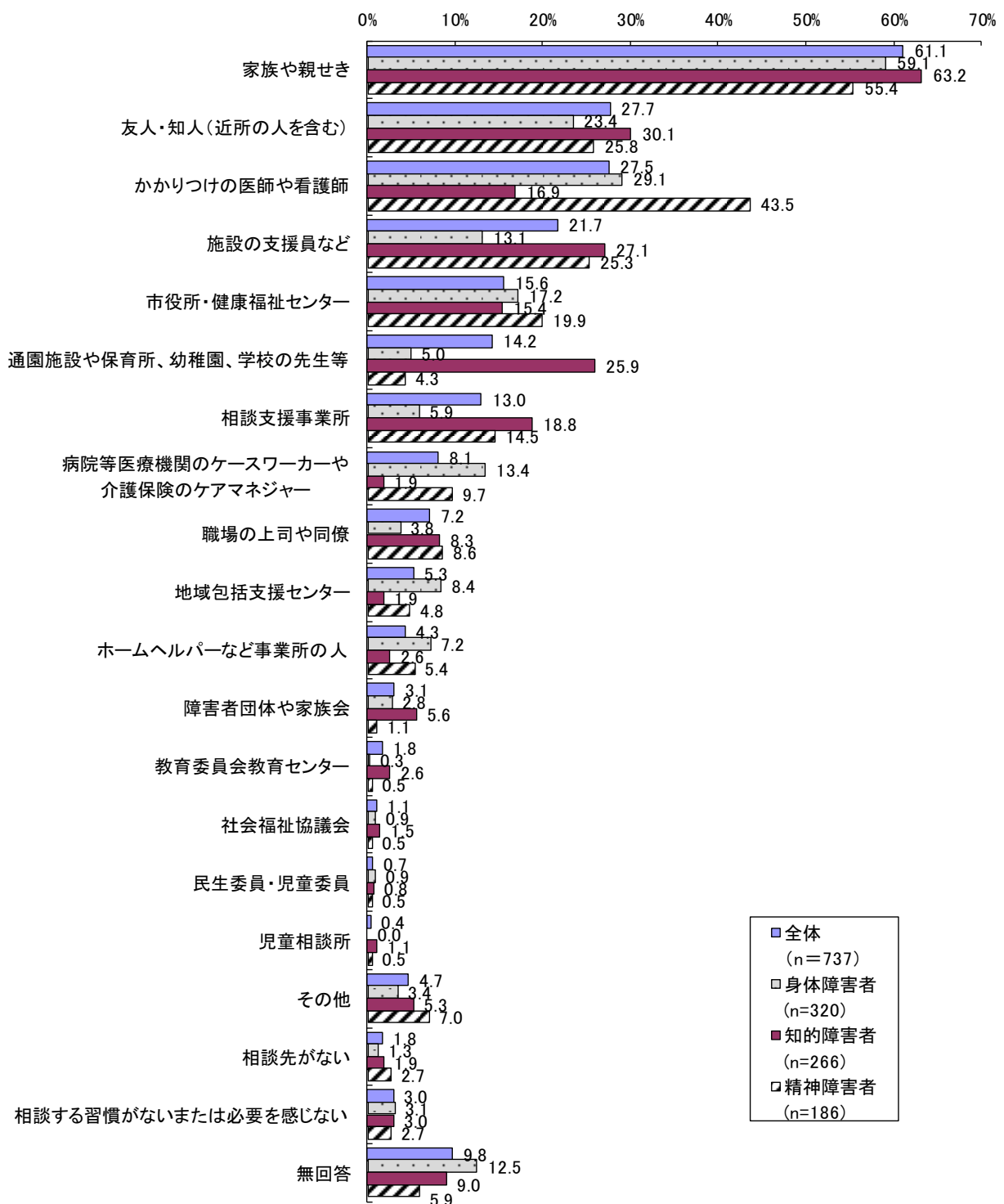
- 全体では、「市役所・健康福祉センター」が 28.2%、「家族や親せき、友人・知人」が 28.0%と 3 割近くで高く、次いで「サービス事業所の人や施設職員」が 25.5%、「インターネット」が 24.8%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「病院等医療機関のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー」や「行政機関の広報誌」が他の障害と比べ高くなっています。知的障害者では「家族や親せき、友人・知人」「相談支援事業所」「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生等」「障害者団体や家族会（団体の機関誌など）」が他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「市役所・健康福祉センター」「インターネット」「かかりつけの医師や看護師」が他の障害に比べ突出して高くなっています。



問 32 あなたは、普段、悩みごとや困りごとをどなたに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

○全体では、「家族や親せき」が61.1%と6割を超えて突出して高く、次いで「友人・知人（近所の人を含む）」が27.7%、「かかりつけの医師や看護師」が27.5%と続いています。

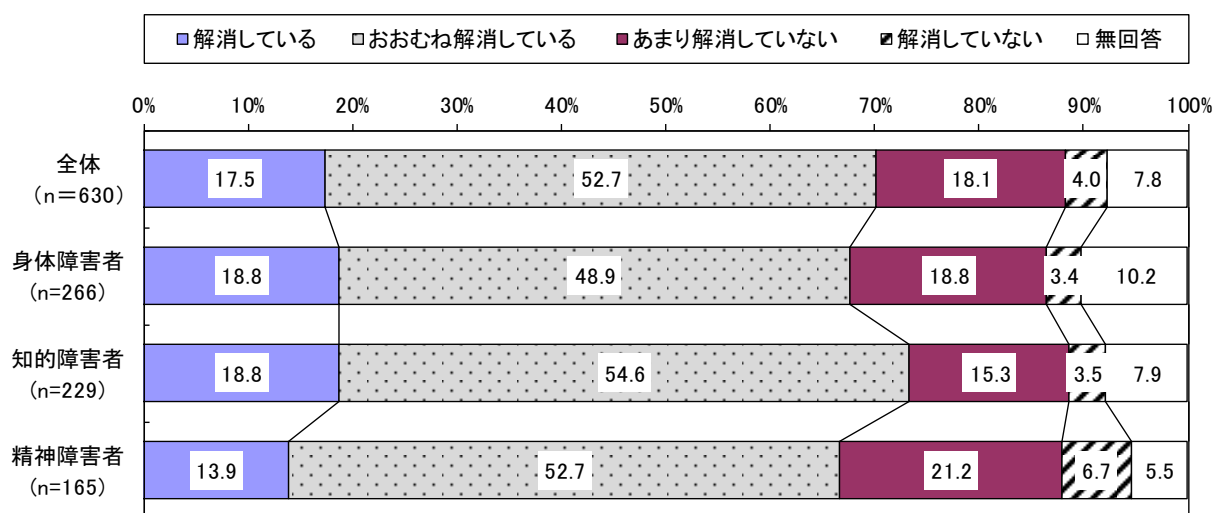
○障害種別に見ると、身体障害者では「病院等医療機関のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー」が他の障害に比べやや高くなっています。知的障害者では「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生等」が25.9%と他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「かかりつけの医師や看護師」が43.5%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



問26で「相談先がない」または「相談する習慣がないまたは必要を感じない」以外を回答された方におききます。

問33 問32で回答した相談先で、悩みや不安は解消していますか。(〇は1つ)

- 全体では「解消している」が17.5%、「おおむね解消している」が52.7%となっており、二つを合わせた『解消している』は70.2%と7割を占めています。一方、「あまり解消していない」が18.1%、「解消していない」が4.0%となっており、二つを合わせた『解消していない』は22.1%となっています。
- 障害種別に見ると、悩みや不安が『解消していない』は、身体障害者では22.2%、知的障害者では18.8%、精神障害者では27.9%となっています。



問33で「あまり解消していない」または「解消していない」と回答された方におきぎします。

問34 その理由を自由にご記入ください。

○相談先で悩みや不安が解消していない理由は以下の通りになります。

【解消していない理由】

- ・週1回程度の弁護士が相談相手にすべき、ケースワーカー、ケアマネージャーに情報漏洩が散見される（身体）
- ・人材不足を理由にされてしまう（身体）
- ・前向きな相談は得られないため（身体）
- ・十分な介護が出来ていない（身体）
- ・問題点が違うから（身体）
- ・役所に相談に行っても机上主義で現場を知らなさすぎる（身体）
- ・思うように事が進まない、ショートステイ等空きがない、生きたいところに行けない、妥協することが多い（身体）
- ・他人に相談しても親身になって相談相手になってくれない。困りごとを自由に聞いてくれるところや、人がいたら、明るい社会になっていくと思います。苦しいまた恥ずかしい事を他人に明かす勇氣は難しいと思う（このアンケートのような方法は参考になると思う。）（身体）
- ・自分自身の心の不安、心配性。まだまだありのままの自分をすーと受け入れることができないのか。（身体）
- ・相談しても真実を言ってくれない。（身体）
- ・身体の問題なのではない。（身体）
- ・病気や障害はなった本人にしかわからない（身体）
- ・相談事項にかかる各機関間の連絡が悪く、たらい回しにされて結局問題の解決に繋がらなかった（身体）
- ・相談者があまり詳しい情報を持たないので（身体）
- ・本人しかわからない苦しみなので中々他人に相談しても解決することが出来ない（身体）
- ・必要（身体）
- ・自分が年をとった時介護する主人も年をとり老老介護となる、だからといって子どもや孫に迷惑はかけられない。この先どうすればいいのか不安はあります。（身体）
- ・耳が聞こえない、声が出せない、コミュニケーションは手話になるため身内や先生以外に中々伝えられない（身体）
- ・まわり及び医師に専門の知識がない（身体）
- ・そんなに簡単に結論が出る事情じゃないから（身体）
- ・病院との意思疎通がうまくいっていない。痛みの中日々生活しているため本人の気持ちが辛いときも多い（身体）

- ・老人ホームを探したいが、どのように探したらいいのかわからない（身体）
- ・日常生活の中での悩み等は解消できますが、将来的に受け入れ施設がない等の問題は解消されず近隣市の施設を利用する以外方法はないため（身体）
- ・困った時はまず子供に相談します。（身体）
- ・障害に見合った選択肢がない（身体）
- ・視覚障害の福祉サービスにおいて、全ての部分で他の障がいサービスに比べ軽薄であり不満を感じている。（身体）
- ・解消されるのとされないの中間（身体）
- ・知的障害は完治する病気ではないでの根本的な解決には至らないため（身体・知的）
- ・一般企業に入れない（身体・知的）
- ・相談しても子どもの状態がすぐにも変わることなく、他の者が代わりにやってもらえることもなく何も変わらない（身体・知的）
- ・自治体の支援が薄いから（身体・知的）
- ・必要な情報をどこで聞くか相談するか、全てバラバラな感じ。たとえば放課後デイが入間市内にできるなら知らせて欲しい。色々新しい情報を知らせるシステム欲しいですね。（介護で疲れていて日々追われているので）（身体・知的）
- ・相談させて頂いて気持ちは楽になります。だが根本的な解決は難しいです。（身体・知的）
- ・障がい者にならないとすべての事を理解できないと思う（身体・精神）
- ・病気の状態が悪いので仕方がない（身体・精神）
- ・治療法が確立していない病のため（身体・精神）
- ・まだ就労できていない（身体・精神）
- ・親身になって教えてくれる（身体・精神）
- ・あまり深く相談できない（知的）
- ・話すことでスッキリすることもあるが、人に話したところで根本的には解消されない。同じような状況の人と話す機会もない。日中は結局一人で全部をこなすので悩みは解消されない。（知的）
- ・次から次へと課題が出てくるから（知的）
- ・相談しても実行できない（知的）
- ・成年後見人をどうしたらいいのか、身内では後見人になっていただきたい人の年齢が若いので相談出来ないので決めかねています（知的）
- ・3か所の職員がいるので安心です。（知的）
- ・話すのが苦手（知的）
- ・関本先生が煽ってきたり、生徒と真剣に向きあっていない。関本先生のせいで不登校になったのに関本先生が「あいつはズル休みをしている」などを他の教員や生徒に言いふらされ嫌がらせをされている（知的）
- ・解決方法が分からないため。（知的）

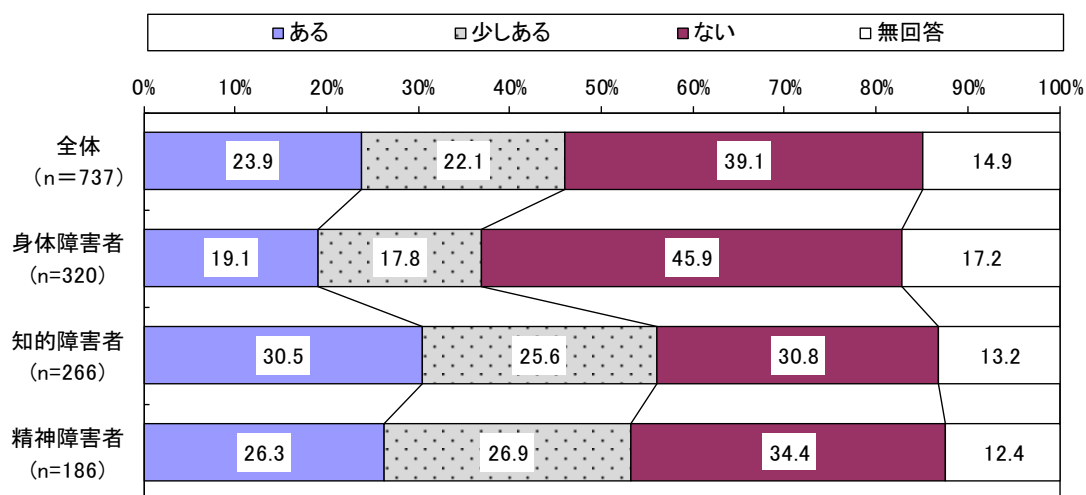
- ・相談支援事業所が半年ごとにモニタリングが決まっているにもかかわらずほとんどせずに放置。預け先を相談しても対処しなかった。受給者証の更新の際に書類を作成するだけで後々は相談するすきもなかった。（知的）
- ・ここ2～3年はストレスがたまると自宅で暴れることがあります。自ら発信する力がないので、相談ということが出来ません。出来るだけ親が感じて対応していますが、親への暴力もあり限界です。（知的）
- ・相談する機会がない（知的）
- ・中学校から高校になるにあたり子どものリズムが崩れそうで不安、放課後の預け先や色々と変化があるので（知的）
- ・普通学級に行ったので卒業してケアする人がいないので……（知的）
- ・相談できる所が少ない。自分の障害にあった所が無い。（知的）
- ・悩みや不安を話すだけで具体的な解決にならないので。それで障害が治るわけではないし、将来的な不安はなくなる。（知的）
- ・相談したいときにどこに相談していいかわからない。ソーシャルワーカーのような人がいたらいいのと思う。思い切って相談してもたらい回しにされたり、理解がないと感ずることが多かった。入間市の支援教育は本当に送れていると思う。相談しに行っても解決することがほとんどなく、傷つくことの方が多かった。（知的）
- ・現在両親共にもいない。祖父母暮らしでいつ亡くなってしまっ、一人になるのかビクビクしている毎日。1人暮らしまた結婚する時、障がい者としてお金の収入減が限られてしまう。また一般の人より少なく、仕事もダブルワーク等したくても、なかなかできる事ではない。そして将来の事どうなってしまうのか考えてしまう。（知的・精神）
- ・相談するのが苦手で迷惑をかけたんじゃないかと考えてしまい自分でため込んで結果また悩む（知的・精神）
- ・施設の要件など知る事（知的・精神）
- ・話をしただけで何の解決にもならない、一時的には気持ちは楽になる（精神）
- ・相談をしても自分の中で答えがでない（精神）
- ・聞いてもらうだけでいいと思っているから本当に辛いことは暴言や暴力を受けている母親にしかわからないと思うから（精神）
- ・お医者さんは忙しくて話が長く出来ない（精神）
- ・相談自体はいいが質の高い、もう少し配慮も必要（精神）
- ・空き巣や泥棒に入られて困っているが、対策法を聞いても答えが返ってこない、よって被害に苦しんでいる（精神）
- ・周りは親身になって話を聞いてくれるが、発作は突然おこるので、慣れたところに行く以外の外出が不安。（精神）
- ・就労支援「りぼん」に加入しているが、面談のспанが空きすぎている。またかかりつけ医のアセスメントで30分程度と少ないので、話したりないことが多い。（精神）

- ・学習障害に対して対処する場所がない（精神）
- ・相談して解消できるような精神疾患であれば精神科に通う必要がない。※問が何問もあるが、確信を突く問がなさすぎる。作成した方の程度の悪さが露呈。（精神）
- ・通っている作業者があまりにもブラックで解決できる状態でない。ぜひ調査して下さい。（精神）
- ・あまり積極的に相談できていないので、これから言わなければ話が出来ない。作業所に通っているのですが、職員の方からは積極的に聞いてこない。（精神）
- ・アドバイス等をいただいても本人やる気がないので（精神）
- ・話を聞いてはもらえるが他に相談できる先など教えてもらったことがない（精神）
- ・具合が悪いので話す気力と正しい判断力を失っている。一番頼りになる人とさえ会話できない現状である（精神）
- ・数年でグループホームを退所してからの行先がどうしたらいいのか グループホームの費用を貯金から支払っているのだから残がなくなる。生活保護を受けたい（精神）
- ・相談への回答は得られてもプラスの情報提供がされないのだから判断の選択肢の提供が得られない（不明）
- ・就学相談で教育委員会の先生方と現場の小学校の先生の現状の差が激しく希望が通じるように思えない（不明）
- ・簡単には解決が出来ないことだから（不明）
- ・生活保護のためなし（不明）
- ・どこに相談すればいいか、わからないままになっている。情報が入ってこない。自分が探さなければいけないことが多い。病院の受信先等も自分で探さなければいけなかった。何科に受診するのか困った。（不明）
- ・私の伝え方がわるいからです。（不明）
- ・育児に正解がないから（不明）
- ・理解してくれるほど深く関わられる人がいない。教育センター、学校は全く理解、知識に乏しい。特性で困っているのに医療の目線は捨てろと言われた。全く聞いてあきれ。学校、教育センターへの期待はゼロ。（不明）
- ・特に指摘しなくても焦らずマイペースでやっている（不明）
- ・先の不安が中々ぬぐえない（不明）
- ・明確な答えがある悩みではないので中々解消に繋がらない（不明）
- ・障害児を抱えている親は一生不安は解消されないと思う（不明）
- ・本人のコミュニケーション能力が低い為、困ったことを相談する事自体があまりない為。（不明）

7 権利擁護について

問 35 あなたは、障害があることで差別される(された)ことや嫌な思いをする(した)ことがありますか。(○は1つ)

- 全体では「ある」が23.9%、「少しある」が22.1%となっており、合わせると46.0%となっています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「ある」が19.1%、「少しある」が17.8%で、合わせて36.9%と3割半ばを超えています。知的障害者では「ある」が30.5%、「少しある」が25.6%で、合わせて56.1%と5割半ばを超えています。精神障害者では「ある」が26.3%、「少しある」が26.9%で、合わせて53.2%と5割を超えています。

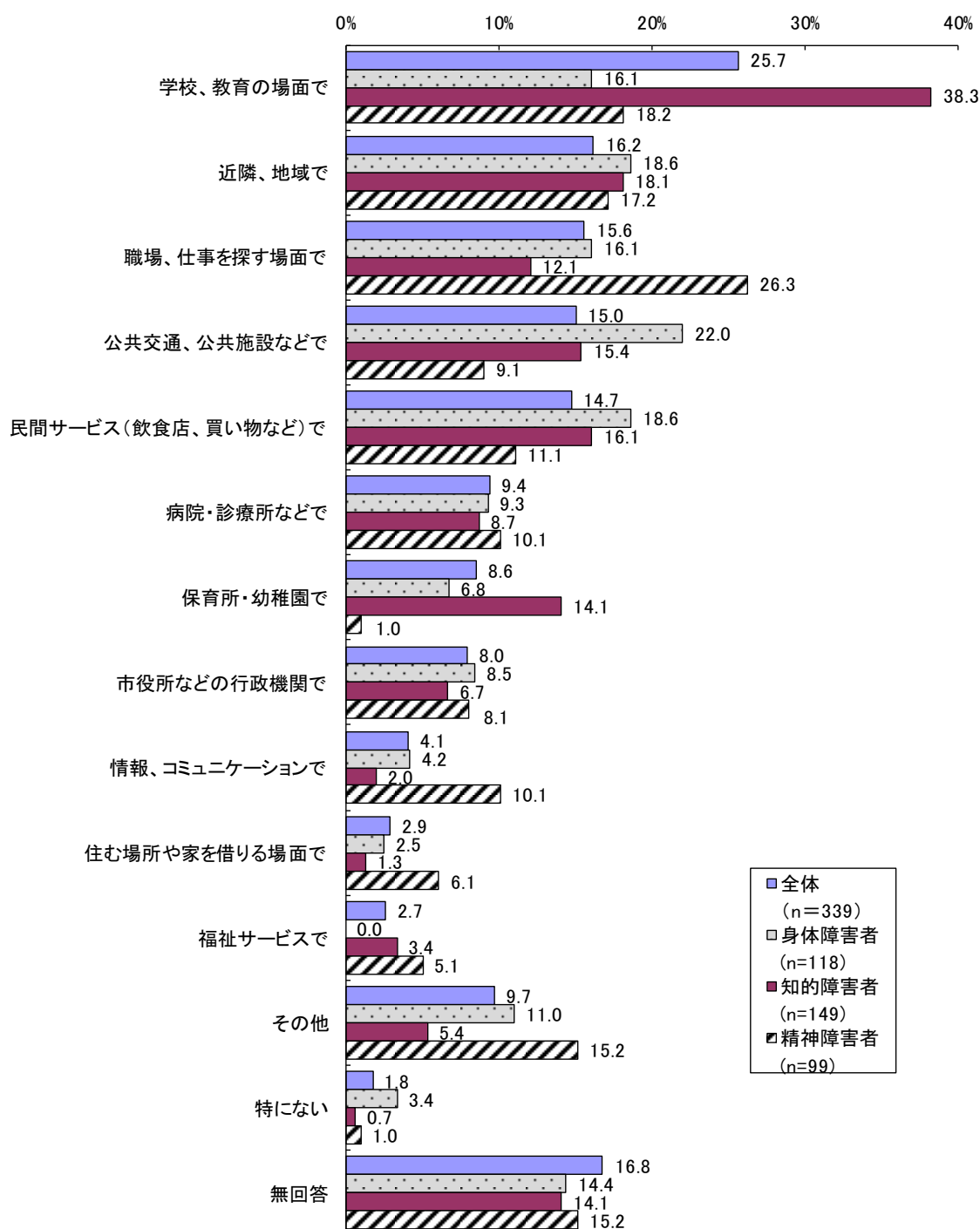


問35で「ある」または「少しある」と回答された方におきまします。

問36 どのような場所・場面で差別されたり嫌な思いをしましたか。（3つまで回答）

○全体では、「学校、教育の場面で」が25.7%と2割半ばを超えて最も高く、次いで「近隣、地域で」が16.2%、「職場、仕事を探す場面で」が15.6%、「公共交通、公共施設などで」が15.0%と続いています。

○障害種別に見ると、身体障害者では「公共交通、公共施設などで」「民間サービス（飲食店、買い物など）で」が他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「学校、教育の場面で」が38.3%、「保育所・幼稚園で」が14.1%と他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「職場、仕事を探す場面で」が26.3%、「情報、コミュニケーションで」が10.1%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



○差別されたり嫌な思いをした具体的な内容は以下の通りになります。

◆ 1. 市役所などの行政機関で

- ・歩行の問題で保育園等の入園は不可と言われ相談しても親身になってもらえなかった（身体・知的）
- ・体で意思表示が出来ても、言葉の障害や筆記不能で形として表せない場合に代理人が代行しても受け入れられなかった（知的）
- ・市役所の窓口で〇〇さんと呼ばれたのではいと答えたら、普通に聞こえてるって言われた（身体）
- ・こっちは知らないことが沢山あるのにちゃんと教えてくれない（身体・知的）
- ・郵便物の封筒に大きく障害福祉課と書いてあるのは辛い（精神）
- ・本当に苦しい時、保育所に子どもを預けることが出来なかった。簡単な仕事もわざわざ始めた。それなのに自営だと申請し働いていない親の子どもが次々に保育所に入っていたこと。訴えたがスルーされた。（身体・知的）
- ・1年生になる際、学童保育で「待機」とされ、その理由を聞くため市役所に電話したところ、「通級へ通う子なんでしょう」と言われた。（不明）
- ・手続きの際たらい回しにされた（精神）
- ・書類などを待っている間騒いでしまい周囲の方から嫌な顔をされた（知的）
- ・病気になった事で働けなくなり生活保護の申請に行ったが相手にされなかったためこのような病気になる税金を使うことになってしまいました（身体）
- ・3歳児検診で普通にできることが当たり前で人と違うとおかしい、出来ないことがあるなんてみたいにされた。（知的）
- ・役所職員に困った時見て見ぬ振りをされた。（知的）
- ・りぼん内実習生で担当にあうために（知的・精神）
- ・支援区分を申請する電話で、ショートステイ等を決めてから申請するよう言われた（ショートの時には区分を持っている必要があるのではないのでしょうか？）（知的）
- ・たらい回しにされ理解がない。こちらから聞かないと、サービスの事を教えてくれない。どこに相談していいかわからない。（知的）
- ・点数は最高点に近く、入所上は優先だったにもかかわらず、保育所の決定において、地域の保育所は障がい児が多く、全体でバランスが悪いので、通勤に支障のあるエリアの、障がい児が少ない保育所に決定したと説明を受けた。その後希望する保育所には事前に了解していただいていたこともあり、決定が変更できたが、決定通知も3月末と皆より1か月近く遅れた。また初めに決定と面接を受けた所長には合理的配慮をしない、障がい児にできないことをやらせろという親がいて困ると、心無い事を言われた。その子の成長に寄り添っていない所長にも驚き、失望した。結果的にその施設に通うことにならずにすんで、心より良かったと思った。（身体）
- ・ボランティアで必要な腕時計を購入するのに、手続きが大変で自費で購入した。（身体）
- ・つきまとわれている感じを覚えているのに信用してくれない（精神）
- ・あまり親身になって話を聞いてくれない（身体）
- ・加配のため保育園に入れなかったり学童に入れなかった（不明）

- ・入社してすぐの人を担当にされると知識がなく頼りないので困ります。きちんと研修するなり見習い期間を長くしてほしい。私たちはサポートされる側だと思っているので本当に困ります。教育センターは何をやる場所なのか、よくわからない。意味が無い。結果を聞くために教育センターに行かなければならないのは本当にやめてほしい。車がない人はわざわざ電車で行かなければならないし、仕事のある人は休暇をとることになります。（身体）
- ・知的障害はわかりにくい。グレーゾーンの対応を考えて欲しい。特に軽度の場合は受けられるサービスがないのが残念。（知的）

◆ 2. 公共交通、公共施設などで

- ・衝動で施設内を走ったりすることがあり視線が嫌だった（精神）
- ・やまゆり、自分は歌が上手いがへたくそと言われたことがある、障害者だとわかって詐欺をされた。タバコくさいと言われた。（精神）
- ・しんちゃんだと言われたことがある（精神）
- ・電車でじろじろ見られる、しつけが出来ていないと小学校低学年の頃に普通に話していた位のことで注意される（知的）
- ・作業日誌を取られた（知的）
- ・じろじろ見られる（身体）
- ・突然兄弟けんかをしはじめて走り回る子どもたちに冷たい視線を浴びた（精神）
- ・車イスに乗っていた時に嫌な顔をされた（身体）
- ・行動が遅い（身体）
- ・公共的な場で一人ごとのように声で何かをしゃべっているのを顔を見られたりさけられるようなことがあった（知的）
- ・スポーツが好きだが仲間に入れてくれない（身体）
- ・ヘルプマークを付けていても席を譲ってもらえない（身体）
- ・車イスを押していてじろじろ見られる、振り返って戻ってきて見たりする人もいる。不快な思いをしています。（身体）
- ・少し大きな声を出してしまった時の冷たい視線（知的）
- ・電車内で騒いでしまい乗客が離れていった、舌打ちを毎回される（知的）
- ・やはり冷たい目で見られたり近づいたら逃げたりされること（知的）
- ・なるべく隅に行くと言われる（知的）
- ・電車を待っている時に子どもが電車が来たのが嬉しくて声を発したら中年男性が嫌な顔をして立ち上がり違うところへ移動した（知的）
- ・出入り禁止（知的）
- ・じろじろ視線を感じることもある（知的）
- ・駅で少し騒いでしまって避けるように移動された（身体・知的）
- ・声を出してしまい冷たい目で見られた。レストランで少し騒いでしまい、たまたまなくなって食事中でも退席した。（知的）
- ・障害者割引を利用時（身体）
- ・バスの乗降（身体）
- ・ホームでの移動が出来なくはないが、遠回りになるので時間がかかり疲れる（身体）

- ・見えないので歩行中人との接触が多くなる。(身体)
- ・あなたは軽度の方で割引は適用外です。また電車の利用も良く使うのに長距離しか使えない(JRだと100km超える)＝活用性がない！(知的・精神)
- ・電車内で奇声をあげてしまい、冷ややかな目でみられた。(知的)
- ・児童館でかんしゃくを起こしている時に他の親からうるさいと言われた(不明)
- ・待つことが出来ないので大声を出して暴れ出すため差別とかでなく困る(知的)
- ・通院途中でのてんかん発作(精神)
- ・狭山市南入曽の老人福祉センター不老荘は、夏に気温が40度近くあった昼間、バスを待つ間玄関の中においていか訪ねたら、外で待つようにと女性職員に断られた。邪魔にならないようにします、とお願いしたし、施設には人もほとんどいなかった。障害のある老人と3歳の子どもを連れて心底泣きたくなった。バスが来るまで外にいました。その方に理由を聞きたいです。(身体・精神)
- ・公園で遊んでいる時他の親が離れなさいと言う(知的)
- ・見た目はわからないので人の流れに合わせる(身体)
- ・同じ職場の人に嫌なことを言われた(知的)
- ・バスでスロープを出して乗っても場所をとるので利用客から邪魔と言われた(身体・精神)
- ・電車で大きな声を出した時白い目で見られる(身体・知的)
- ・交通機関の乗車拒否(身体・精神)
- ・人混みが多いところで障がい者手帳を出すと恥ずかしい(知的)
- ・電車の中でにらまれることが多い(身体・知的)
- ・バスを降りるとき手帳を見せたら嫌な顔をされた(知的・精神)
- ・乗り物で席をゆずってもらえない事がある(身体)
- ・バス運転手の対応が悪かった(身体)
- ・いやな目でみられる(知的)
- ・手帳を見せた時、バスの運転士から差別的な言葉をかけられた。(精神)
- ・あからさまに変な目で注視される。(身体)
- ・人や物への強いこだわりをたまに見せるが、健常児に顔は見えるので、親をじろじろ見てきたり、育て方に問題があるのではないかとされているような気になる。(不明)
- ・子供支援センター(茶々)→多動ではありましたが、常に動く子供に対し厳しい目視を感じた。(あおぞら)→先生が手洗いを手伝っていただきましたが、身体の姿勢を力強く正して、親でもないのに強制的な印象を受け、あまりよく思えませんでした。(不明)
- ・バスで手帳を見せると面倒くさそうにする(身体・知的)
- ・路線バスに乗車する時に手帳割引を見せる準備をしていたら他の乗客にあの人障害者だと言われた(精神)
- ・バス利用で手帳の中を見せる行為(他の方がいる中、個人情報のをぞかれる)。手帳でバスは半額になるのに、適応しませんと言われ、バス会社に問い合わせたら使えた。(知的・精神)
- ・電車の中で視線を感じたり、コソコソ言われる。(知的・精神)
- ・騒いでしまい注意しても聞かずに嫌な顔をされる(知的)
- ・手帳を見せたところ嫌な顔をされて面倒くさがられて舌打ちされた(身体)
- ・女性専用車両で(身体)

- ・周りの乗客には笑顔で対応してくれたのに手帳を見せたら面倒くさそうに対応された（知的・精神）
- ・車イスを利用していた時、バスの乗車拒否された（バス停スルー）（知的）
- ・疲れやすいので優先席が空いていたから座ったら、他の乗客に「あなたはまだそこに座る人じゃないでしょ」と言われた。2度あった。（精神）

◆ 3. 職場、仕事を探す場面で

- ・障がい者であるというだけで面接をしてもらうことす出来ませんでした（身体）
- ・精神障害者である事の差別（身体・精神）
- ・障がい者は障がい者同士、障がい者たちの場所でという意向があるみたい。なかなか一緒にいけない。（精神）
- ・障害者なんだから意見を求めたらだめじゃないかと言われた（精神）
- ・思い出したくない（知的）
- ・仕事が上手に出来ず辛い対応を受けた（知的）
- ・職場で薬を服用していることが偏見に思われる（身体・精神）
- ・差別用語を使われる（身体・精神）
- ・自分だけ嫌な顔をされたり友だちに仲間はずれにされたり態度を変えられたりしたことがあります（身体・知的・精神）
- ・書店で女性の方が働いていると断られた。ハローワークを受けて面接をしたら髪がちょっと長い、力仕事で無理、と言われた（精神）
- ・仕事の面接で病気を話したら失礼な発言をされた（精神）
- ・人前で話すのが嫌（知的）
- ・自分の病をかくして仕事の面接をして働かなくてはならない時体調を崩して休みがちになりやめるとき病だったことを告げた時の反応（精神）
- ・昼食後の薬を飲んでいたらそれを見たアルバイトの女性から嫌がられて以降無視された（精神）
- ・電話で面接の連絡をすると、職業案内所の用紙に記載したのとは違う掃除の仕事にすり替えられました（精神）
- ・職場で他の方と態度を変えられる（精神）
- ・適応障害（精神）
- ・職場で話しかけると避けたり他の人と違う扱いを受けた（精神）
- ・車イスなので、身体障害は受けられないと言われた（身体・知的）
- ・何にも言っていないのに、相手が先に足とイスが出てきた。（知的）
- ・昔、ハローワークに障がい者担当がおらず、門前払いだった。（精神）
- ・健常者よりもお仕事の幅が狭い。（身体）
- ・求人が少ない。募集がかかっている会社は通常同じ様なところで本当に“採用”しようとしていると感じられない。（知的・精神）
- ・3Kの仕事しかないのに真実を言ってくれない。（身体）
- ・障害に理解のある上司からの変更や慣れた作業からの変更（精神）
- ・「障害者がどんな風に働いているか教えてあげます。皆で飲み会しよう。従業員1名〇〇病。なんでも聞いちゃって下さい」と社長が宣伝をした。講演内容が何度もネットにアップされあ。申

し入れても止めてもらえなかった。(知的・精神)

- ・精神科への通院歴があるだけでほとんどの一般企業は就職出来ません(精神)
- ・就職先が非常に少ない(身体)
- ・仕事を退職させられた(身体・精神)
- ・体が動かないことを理由にパワハラを受けた(身体)
- ・大きな声が出やすいので昼食は皆と別室でとっているとのこと(知的)
- ・残業が多くてきつい(知的)
- ・ほぼ採用が決まり話が進んだが、障害児手帳を所持していることを伝えたところで話が打ち切られた(精神)
- ・障がい者が働けるような職場が極めて少ない(身体)
- ・やりたいと思った仕事ができない(知的)
- ・専任になれなかった(身体)
- ・一般の社会と待遇が違った(精神)
- ・聞こえない理由でできる仕事の範囲が狭い。見下される。軽蔑される。(身体)
- ・転職エージェントから「発達障害者に求人は提案できない」と言われた。(精神)
- ・ハローワーク 障害者担当でも質問時に嫌な顔をする。(知的)
- ・私に対する配慮をしてくださいとの内容に、周りが反発(身体)
- ・コミュニケーションに関しての「あなたは外人？」と言われた。(知的)
- ・仕事を探すのが大変(身体・精神)
- ・パンチしたと言われてしまいました(知的)
- ・以前の職場で聞こえないために誤解や未伝達が多く改善してもらえなかった(身体)
- ・職場で人間関係で悩み引きこもりになってしまい働かなくなった(身体・精神)
- ・コミュニケーションがとれないので柔らかく断られる(知的)
- ・通院のため時間調整の理解がない(身体)
- ・職場の面接(身体)
- ・求人内容ですでに、「精神障害者はお断り」と書かれている所がある。(精神)
- ・賃金が非常に低い(身体)
- ・面接など見学回り(知的・精神)
- ・引きこもってしまったので、自動車教習所に行かなくなり免許が取れなくなった(身体・精神)
- ・支援級で教師とコミュニケーションがとれない(身体・知的)

◆ 4. 学校、教育の場面で

- ・登校拒否ではなかなか学校へ行かない時やっと学校へ行ったら視察があるので帰っていいと言われた(知的)
- ・友人とのコミュニケーションが中々うまくいかない(知的)
- ・周りから浮いていて陰口を言われた、いじめにあった(身体・精神)
- ・自分でも病気がわからなかったがその発言や行動に周りから白い目で見られた(精神)
- ・皆と同じことができないため(知的・精神)
- ・小学校の時にいじめられた(知的)
- ・からかわれたりした(知的)

- ・小中学校の頃は一部の同級生から差別されていじわるされた（身体）
- ・身体障害者と言われていじめにあった（身体・精神）
- ・一部の先生に困り感や不安が強いことが上手く伝わらず甘えと言われたしまった（不明）
- ・特別学級の担任が子どもの障害にあった対応が出来ておらず威圧的に感じる時が多々ある（知的・精神）
- ・下校中、親が付きそう理由を友だちから何も出来ない、わからない、話せないからでしょと決めつけられたこと（知的）
- ・教師にもう少し頑張らないとだめだぞと声をかけられる（精神）
- ・周囲の子どもたちから差別的な言葉、仲間はずれを受けたと報告してきた（精神）
- ・支援級だからたまに、馬鹿だと言われる（知的）
- ・同期から馬鹿にされたりいじられたり、仲間に入れてもらえなかったりした（知的）
- ・お友達に「(障) 害児」とバカにされた（精神）
- ・普通級にいるが、「他の生徒もいるので、彼一人だけに時間を割くことは難しい」わかりますが、帰宅時などだけで良いので、忘れ物がないか、とか見てもらう事は難しいのか？と思った。または心配してくれるとかの対応をしてくれないのか？学校にコーディネーターがいるようだが、関りが全くない。こちらからは中々言い出しにくい。（不明）
- ・同じ通学班の女子から「ペースについてこれないなら別の班に行ってほしい」と言われ、親子通学にした。（知的）
- ・通学途中で物を取られたり、嫌がらせを受けた。（知的）
- ・子供同士のいやがらせ（身体・知的・精神）
- ・学校の廊下で車椅子の通り道を空けてくれない。（廊下で騒いでいて）教室の出入り口をふさぐ。（身体）
- ・私本人が受けたわけではありませんが、弟が小学生だった当時、障害を持った私をバカにする物言いをした事で弟が傷つき、間接的な差別はされました（知的）
- ・障がい特性をわかってもらえず、努力が足りないのではないかと言われた。（精神）
- ・不特定多数のお子さんからのいじめ 補助教諭からの強要（知的）
- ・学生の時悪口を言われた（身体・精神）
- ・支援員の方が、もっと障害がある方の学校へ移動するため支援員外されてしまった。（身体・知的）
- ・友達に悪口を言われた。（知的）
- ・無視される、暴力を振るわれる、テストの結果をみんなの前で言われる、先生に暮らすで「1人だけ宿題を出していない人がいる」と言われる（知的・精神）
- ・勉強が苦手で知恵遅れと言われた（知的）
- ・野球で負けたら金持ってこいと言われた、中学の時（知的）
- ・支援級は馬鹿なやつが行くんだと、おまえ変だから支援へ行けば等、お友達に言われてすごく悲しかった（不明）
- ・部活や行事など自由に選べない（知的）
- ・ばかと同級生から言われる、通学時に通せんぼをされた（知的）
- ・我が子は公立中学校の支援学級です。普通級の生徒に見るからにあさひ、と馬鹿にされ親である私もお迎えの時に聞いてしまいました。（知的）

- ・いじめ（知的・精神）
- ・小学4年生の時の担任から、あなたの話は信用出来ない、話を聞いてもらえず不登校になりそうだった（不明）
- ・特別学級に入った（知的）
- ・自分が進学出来なかったのは努力をしていないからだ、そしてそれが出来ないのは自分が駄目人間だからだと言われたことがある（精神）
- ・小学校の時にいじめ（知的）
- ・クラスメイトの子に親があの子は発達障害児だから仲良くするなど家で言われていじめになった。発達障害児だから特別なのか。（精神）
- ・障害者という目でしか見られない（知的）
- ・以前担任の先生の勉強不足で対応の配慮が不足している（知的）
- ・見た目はわからないので理解されにくい（不明）
- ・仲間外れにされる（不明）
- ・小学生の時言いつけられないことをいいことに同級生から毎日暴力を山のように受けていた（知的）
- ・仲間はずれにされる（不明）
- ・学校でクラスメイトからの言葉でいくつか嫌な思いをしている（身体）
- ・先生が教室内で差別する（知的）
- ・それまで友人だと思っていた人に私とすると変に見られるから友だちやめてくれと言われた（知的）
- ・支援級に行ってた時（不明）
- ・特別支援級の理解がないので本人の居場所がないように感じます。（知的）
- ・友だちやクラスメイトからの暴言・無視（知的）
- ・支援クラスに在籍していて、普通クラスの交流の時に特定の生徒にいじめられる。2名（知的）
- ・学校でのいじめはありました。（身体・精神）
- ・中学生の頃、はっきりしゃべれないので嫌なことをされた事がある。（精神）
- ・下着を下げられた。肉体的ないじめ。（知的）
- ・市内の小学校に支援席で行った時、教員にみんなの前で言われたくないことを言われた「この子はしゃべれるか」子供の前で、毎年（3回）通っていたのに、ひどい、悲しくなりました。（身体・知的）
- ・現在支援学級に在籍。支援学級の存在自体が学校の中であいまいな立場にあり、肩身の狭い感じがあると思います。（知的）
- ・支援級でなく通常級にいたので、周りに合わせるように指導され、合理的配慮が感じられない。（不明）
- ・馬鹿にされた（知的）
- ・なぜそういう見た目なのか聞かれる（身体）
- ・変だと言われる（不明）
- ・学校の先生にも勉強不足さを感じる（知的）
- ・仲間はずれにされた（知的）

- ・ WISC-IV 知能検査で 104 あるのに、知的障害者の支援学校に入れと言われた（精神）
- ・ 相手がにらんできて、陰でバカにしていってきた。大昔仕事帰り、すれ違いで声を「山田花子」と。（知的）
- ・ 仲間はずれにされた。（身体）
- ・ 補装具を作っても、他の子の足が大事だからはいてこないで、と言われた。（身体・知的）
- ・ 同級生から無視されたり差別的な言動（精神）
- ・ 高校時代のてんかん発作（精神）
- ・ 中学校の教師に相談したところ、はっきり言って将来ああいう子は普通に働けない、それでも普通級に入れたいのは親の見栄ですよ？と言われて傷つきました（知的）
- ・ 書くのが大変、直すのが大変だとわかってもらえずちゃんとやらせて下さいといつも言われる。忘れものをして皆の前に出されて、学校に行きたくないと泣く（不明）
- ・ 学校の廊下で女子に足を出されて転んだ（知的）
- ・ 話し合いの席で心ない紹介のしかたをされた（精神）
- ・ 友達に理解してもらえなかった（身体）
- ・ いやな目でみられる（知的）
- ・ 学校全体が特別支援への理解がない。知らない。特別支援学級の先生が毎年変わり、理解のない先生や問題のある先生が回されて来ている事があった。介助員の申請をしても受け入れてもらえない。女子児童に対しても男性の先生が担任し、身の回りのことを支援していた。（知的）
- ・ 小学入学前説明会の時、しゃべれない子は普通の学校は無理なのではないかと言われた。当時の支援学級の先生。（知的）
- ・ 就学相談にて知的・情緒に全く問題ないが、身体の障がいで支援学校の判定。通常級で全く問題ないが前例ないとの説明で、教育を平等に受ける機会を奪う判定。障害者権利条約に違反する。また国のガイドライン（教育、施設整備とも）にも反している。受け入れにはハードを整えればよいだけ。対応も考え方も差別思想残っていると感じる。（身体）
- ・ 同級生から無視されたり。下級生から「バカ」と言われた。（知的）
- ・ 友達から差別的な事を言われた。（知的）
- ・ 病気の治療後、高次脳障害、ロービジョン、聴覚過敏があるが理解されない（精神）
- ・ 小学校の時は勉強が追い付かないことを先生からかなり指摘されました。中学・高校は「うつ病」じゃないとか、おかしいとか言われました。大人になり知的障害、発達障害がある事がわかりました。小学校の時に発達障害があるかもしれないと指摘されればもっと早くに気づくことが出来たし、対処の仕様があったと思います。（知的・精神）
- ・ 同級生に馬鹿とか勉強ができない事で見下されることは小さい頃からありました（知的）
- ・ 教室で男子にからかわれた（知的）
- ・ 小学校の特学でノートで先生と連絡をしていたが、卒業間近の頃にインクの不備を修正すると、ノートの提出を言われ、返却されたノートにはトラブルのあった時の、先生のコメント部分がホワイトで消されていた。（知的）

◆ 5. 保育所・幼稚園で

- ・ 入園をしぶられる、子どもは悪く無いのに二畳の狭い場所に入れられた（知的）
- ・ 変だと言われる（不明）

- ・保育所の卒園式で他の園児と一緒に行動させてもらえなかった（身体・知的）
- ・大きな声で泣いただけで馬鹿にされた（不明）
- ・当人がコミュニケーション力に欠ける事で、同じクラスの子達から無視されたり、仲間に入れてもらえず、淋しそうな様子だった。（不明）
- ・保育所・幼稚園の受け入れ先がないこと。障がい児を受け入れている園に希望者が殺到しており、順番待ちになっている。受け入れている園にしわ寄せがきている。（不明）
- ・同じ幼稚園に通うお母さんが上手に話せない頃にわざと挨拶を子どもにしてきた。（不明）
- ・特別な対応をする様子もなかった。お遊戯会の参加を断られた。練習に参加出来ないからという理由で。（知的）
- ・幼稚園を選んでいるとき週3日ならと言われた（知的）
- ・友だちに「どうせ出来ないでしょ」と言われていた。（知的）
- ・はじめは受け入れを承諾していたのに、通所できる年齢になったらいろいろな理由（通所前に遊びに来ていないとか、介助者がいないなど）で、2年間（年少、年中）断られた。兄弟も主人も利用していた保育所なのに。（知的）
- ・保育所に入所できなかったことです。人数的には余裕があったのですが、加配を配置してもらえなかったため、今後の改善を願います。（身体・知的）
- ・なんとなく見下されているのが伝わる（知的）
- ・他の保護者の心ない言葉（知的）
- ・幼少の頃普通の幼稚園に入りたかったが、入園することは出来なかった。（身体）
- ・お客様の扱いだった（知的）
- ・保育所、幼稚園は障害があると入れてもらえなかった（身体・知的）
- ・保育士が理解が無く厳しく叱られたり放任されていた（知的）
- ・3才児クラスに入れてもらえなかった（0才の弟だけあずかってもらった）（身体・知的）
- ・行事などの参加は規制されていました（知的）
- ・幼稚園、園長に言葉できついことを言われた（知的）
- ・幼稚園の時、担任に療育に通うか迷っているの意見をお聞かせしてもらおうとしたら、私たちが答える内容ではないので、と話すすら聞いてもらえなかった。小児科を受診したら、発育が遅すぎるからしつけをしっかりした方がいい、と言われた。小児科なのに発達障がいの可能性等を教えることがなかった。（知的）
- ・壁を背にイスに座らされて両サイド前に机で囲われて動けないように日中された。他の親が見て先生に問うと、あの子は大変だから、子ども達に聞くと先生に相手にすると言われていた。（精神）
- ・先生方に走れないと思われて運動会で走るコースがなかった。親がスタート地点に連れていったら来たのと言われて走る場所がなかった（知的）
- ・幼稚園探しの相談の時（見学訪問の時、園長先生）あきらかに病気だと言われ、幼稚園のパンフレットではなく、療育病院のコピーを渡され帰ることに（終始、発達障害の子に多いんだと言われ、何を聞きに行ったんだかわからない、涙の一日でした。）（不明）
- ・なぜそういう見た目なのか聞かれる（身体）
- ・入所、入園拒否（知的）

- ・家族に対して傷つくようなことを言う。私立の幼稚園で介助員の申請をしても考えてももらえない。療育手帳のコピーを提出するように言われたが、説明がなかった。（知的）

◆6. 病院・診療所などで

- ・病院で落ち着かない様子を見た知らない人にうるさいと怒鳴られた（知的）
- ・予約制でない場合待合所で長時間待つことになるが、じっとしてられないし声を出してしまい他の方はもちろん、病院側にも嫌な顔をされて悲しい思いをしている（知的）
- ・入院中にある患者さんからどんな病気なの？としつこく聞かれた。（精神）
- ・障がい者の駐車場に停車した時、本当に障がい者なのか？と言われた。（精神）
- ・診察をまっているあいだ、じっとしてられないので、他の人にいやな顔をされる。他の部屋でまつことができればありがたい。（知的）
- ・通院先で他のかんじゃに笑われる。いやでした。（不明）
- ・名前を呼ばれても分からない（身体）
- ・リクライニングの車イスで病院に来なくていいから電話で問い合わせでいいと門前払いされた（身体・精神）
- ・車イスでの移動の時座っている人にじろじろ見られた（身体）
- ・診察に素直に応じないとすぐにうちでは診れないと言われた。（知的）
- ・パニックになり騒いで退走した時向けられた視線（精神）
- ・数年前歯医者を受付で他に患者が数人待っているのに医療補助のカードを出すとどこが悪いのか聞かれて嫌な思いをした（身体）
- ・自分だけ嫌な顔をされたり友だちに仲間はずれにされたり態度を変えられたりしたことがあります（身体・知的・精神）
- ・具合が悪くて小児科へ行った時医者から馬鹿にされた（知的）
- ・大きな声で泣いただけで馬鹿にされた（不明）
- ・丁寧に母親と共に前の主治医に質問したときいきなり怒り出した先生がいました（精神）
- ・うるさいと怒鳴られる（知的）
- ・頭痛がひどく狭山市の遠藤脳外科にいったところ、心療内科に通っていると知ると、差別的な言葉を連発し診察を拒否された。（精神）
- ・見えないことでの意思疎通ができない。病院で会計など機械相手だと見えないことでわかりにくい。（身体）
- ・講演会で写真を使われた（知的・精神）
- ・待つことが出来ないので大声を出して暴れ出すため差別とかでなく困る（知的）
- ・並んでいると後ろから歩きが遅いと言われる（身体）
- ・駐車場など障害者用に置きにくい（身体）
- ・中三で小児科、小さい子に馬鹿にされる（身体・知的）
- ・発達障害がある事を診察前に伝えているのにイライラして強い口調・態度 その子に合わせて診察をしてくれない。（知的）
- ・発達障害を理解していない耳鼻科の先生に「なんでできないの？」と舌うちされた（障害を伝えていたのに）（知的）
- ・病院で盲導犬を拒否され、協会に連絡し話し合い、最後の方に診察、裏口からの出入りとされた。

(身体)

- ・待ち時間が長く落ち着かない様子の娘にイライラ迷惑顔をされた (知的)
- ・静かに待ってられなくて困った (不明)
- ・騒いでいると他のお母さんにこっちへ来なさいと危害を与えられている (知的)
- ・メディア等で知り興味本位で近づかれて嫌な思いをすると攻撃してくる (精神)

◆7. 民間サービス (飲食店、買い物など) で

- ・じろじろ見られた (知的)
- ・スーパーの駐車場、歩ける人がなぜ障害者スペースに車を止めているのか忠告を受ける (身体)
- ・明らかに嫌な顔をされる、迷惑そうな顔をされる (不明)
- ・混雑時の車イスが迷惑のような顔をされる、車イス用のトイレがない (身体)
- ・ストマーを見られたくない (温泉等) (身体)
- ・飲食店で行列していて、そこに並んで長時間並んだ時に、大声でもういやだとぐずり始め、手をたたき、ちょっと目立った行動をしてしまった時、すごい目でにらまれたりしました。(知的・精神)
- ・あからさまに会話を避けられる。(精神)
- ・本人はすすみたいが、横に広がって歩いている人たちがどいてくれないのであいているすきまを通るとどなられる。(知的)
- ・以前に比べてオープンになってきているが、まだまだ障害者に対しての理解がない。大きな声、動きに対して笑ったりじっと見たりする。(知的)
- ・本人の常同反復行動を見て、あれ何してるの?と聞かれたり、一人できたのかしら、親はわかっているのかと冷たい言葉を耳にする (知的)
- ・古本屋で手帳を見せたらわざと本を安く買われた (精神)
- ・じっと見られる、嫌な顔をされる (身体)
- ・会計時に他人から遅いと言われたことがある (身体)
- ・チューブや気管カニューレを入れているので、じろじろ見られたり突き飛ばされたりした (身体)
- ・奇声をだしえしまうのでうるさいと言われた。(知的・精神)
- ・切り替えが出来ず説得している時等視線が嫌だった (精神)
- ・会計が遅いためたぶん押された (精神)
- ・飲食店で声を出していると苦情があったと伝えられて店を出た (知的)
- ・声が聞き取りにくいため意志が通じない (身体)
- ・声を出してしまい冷たい目で見られた。レストランで少し騒いでしまい、たまらなくなって食事中でも退席した。(知的)
- ・段差があって入店出来なかったり、障害者用トイレがないところが多い (身体)
- ・スーパーでお寿司のパックを買われた方のカートの中に入っているお寿司のフタを少し触ってしまった時、とても嫌な顔をされて近くを通るたび避けてきた。(知的)
- ・買物カートを背中に押しつけて、どいてと言われる (知的)
- ・自閉症特有の独り言や行動により、常にまわりの視線にさらされている。(知的)
- ・耳がきこえない→老人性耳が遠いとまちがう (身体)
- ・主に子どもから奇異な目で見られる (知的)

- ・車イスでは入れないと断られた（身体・精神）
- ・美容院 予約時とかに差別を受ける。（知的）
- ・段差による入店が無理。店が狭い。（身体）
- ・二度見、三度見される。知らない人に何で病気になったか聞かれた。避けられる。車イスの駐車場にて文句言われた。日々いろいろあります。（身体・知的）
- ・階段を本人に寄り添いながら上っていたところ、「かわいそうね」と年配の方に言われた。何も言わないか、支援をしてくれた方がありがたいです。（身体・知的）
- ・周りを気にせず子どもが騒ぎだした時の冷たい視線（精神）
- ・本屋で本を探している時ほんの1・2分目を離したら、おばさんに息を吹きかけていて、ちょっとこの子普通じゃないんですけど、と大声で数回叫ばれて逃げるようにして家に帰ってきた、去年の8月のことです（知的）
- ・うちの子どもではないが、ファーストフードで声がうるさいと飲食禁止にされた（知的）
- ・治療後の見た目他（身体）
- ・スイミングで小さい子コースにはもう来ないでと上のコースへ行つてと言われ、大きい子コースにはレベルが合わなく他のお母さん方からクレームが出るから来ないでくれ、下のコースへ行つてと言われ、たらいまわしでどちらも入れてくれなかった（身体・知的）
- ・食事の際体の悪い部分を指で指された（身体）
- ・レンタルビデオ店での会員契約の拒否（精神）
- ・駐車場など障害者用に置きにくい（身体）
- ・幼稚なもの、不思議な顔をされたりじろじろ見られたりする（身体・知的）
- ・飲食店、コンビニ等で店員からの盲導犬の拒否が数多くあった。（身体）
- ・飲食店→騒ぐので周りの視線がどうしても集中してしまう。スーパー→お会計の時、バーコード読みとり機で遊んだりイタズラして嫌な顔される。（不明）

◆ 8. 福祉サービスで

- ・相手から強く言われたと感じた（知的）
- ・就労移行支援で過度な叱責、パワハラのようなものを受けた（精神）
- ・障害者支援施設の中で職員さんから、犬の散歩や洗濯物の作業を強要されたり、作業に手間どっていると叱られたりした。（精神）
- ・相談してもそんなこと知らねーよて感じの対応（精神）
- ・障害の重さで、歓迎されなかった。（知的）
- ・作業所の責任者が息子と私に対して暴言をはいた。アポをとる電話の時からいきなり中等部で見学なんて早い、行ったらまだ早いから先に言っておいて、とイヤーマフをしている息子のことを学校卒業までに取らないとどこにも行けないわね、と。最低です。（知的）
- ・施設の職員に横柄な態度をとられたり、ひどい言い方をされたことがある（身体）
- ・放課後デイサービスで契約後にこの曜日は他の子どもとうまくいかないからやめてくださいと2回しか通わないうちに言われた（知的）
- ・障害者支援施設の中でトイレをあけられた。（精神）
- ・本人にとっては「できる」ことでも、一人で全て対応は出来ないのに、「できる」の扱いになることで、支援が届かなくなってしまう事（知的）

- ・ヘルパーにお鍋も洗えないんですか、ちゃんと働いたことあるんですか、などと見下されてののしられた（精神）
- ・就労支援の申し込みに行ったら就職活動していないと言ったら「生活保護うければ」ときびしい顔で返された。なんで怒らせたのかと思う。何度もやり直してうまくいかないで申し込んだのに。人間の支援は受けないと決めた。（知的・精神）
- ・職場実習で2回チャレンジした（知的・精神）

◆9. 住む場所や家を借りる場面で

- ・引っ越しの時アパートが見つからない（精神）
- ・自治体などの社会参加が難しいことへの理解（身体）
- ・差別用語を使われる（身体・精神）
- ・精神の病を持っている人は入居のお断りを言われてしまったこと、なのでアパート探しの際はとても大変でした。（精神）
- ・自分が病気であることを知られなくなかった。（不明）
- ・まずマンションやアパートを借りるにあたり必要な資金が上記の理由で確保できない（精神）
- ・職員が冷たい（精神）
- ・手帳を見せる時の気持ちが、プライドが傷つきそうになった。（知的）
- ・アパートの持ち主から差別を受けた（家族で借りようとした時）（精神）

◆10. 情報、コミュニケーションで

- ・仕事をしていないことも話すと連絡が途絶えたりする（精神）
- ・言いたいことが上手くまとまらず相手に伝わらないことがある（精神）
- ・様々な郵送物の文字がまだ一人では意味がわかりにくい（身体・知的・精神）
- ・「アスペ」「発達」という言葉が気軽な「お前は変なやつだな」「おかしい」という意味で使われていることにとまどいや不安を感じる。（精神）
- ・ハンディキャップがあること自体で差別される。（身体）
- ・聴者は全て話内容を聞き行動したり情報共有がスムーズ。それに対して難聴に対しては必要な項目だけ教えてくれる他は省かれている。省かれている分情報共有ができずいざこざになり誤解される事もあった。（身体）
- ・インターネット、SNSの書き込み（精神）
- ・コミュニケーションがとれない、人として扱われない（身体・知的）

◆11. 近隣、地域で

- ・お友達と一緒に遊んでもらえない（知的）
- ・今までの見え方がかわり話さなくなった（身体）
- ・言葉や態度などで（身体・知的）
- ・精神科に通っているのを色目で見られた（身体・精神）
- ・市役所に言うだけ無駄だと見下された、かわいそうと（身体・精神）
- ・幻聴に動かされてマンションの他人宅の玄関ドアの前にしばらく立っていたら住人間で噂され警戒された（精神）

- ・近所の公園で小学生に身障と言われた（精神）
- ・人から水をかけられた（知的）
- ・横断歩道を車椅子で渡っていても、車が突っ込んでくる。交通マナーのないドライバーが多い。（身体）
- ・視覚障害の為に近隣に迷惑した事、挨拶等（身体）
- ・足が不自由で転んだりしますが、下の階の方から「うるさい」とクレームを受けています。（身体・知的）
- ・仲間はずれ（知的）
- ・自宅マンションの住民から苦情を言われる（知的）
- ・散歩中に変な顔をされた（身体）
- ・術後移動制限があるにもかかわらず外からわかりにくいためきつい作業をしなければならなかった（身体）
- ・団地清掃で自分は出来ると思っていなくてもいいと言われた（身体）
- ・中学校の時下校時に近所の子どもから障害者のくせにと色々嫌なことを言われて、その子どもはそれ以外にも何度も嫌な思いをさせられたことがある（知的）
- ・悪口を言われた（精神）
- ・差別的、面と向かって言われた（身体）
- ・道を歩くとき他人の家をのぞいたとか、見ていた方が本人に注意していただければいいのに関係ない人に言いふらす（知的）
- ・家に帰るのを嫌がる子を強めに引いていたら虐待と勘違いされたか警察に通報された（知的・精神）
- ・言葉聞き取りにくく、「何いってるか分からない」と言い捨てられた（精神）
- ・変な人だと言われたり、見られたりする。（知的）
- ・地域の子ども会などに参加させてもらえなかった（知的）
- ・金返せ、洗濯物を干すなどデモ行進みたいに歩きながら言われる、住みにくい（精神）
- ・明らかに嫌な顔をされる、迷惑そうな顔をされる（不明）
- ・他人から指を指されて馬鹿にされた（知的）
- ・日中家に居ると仕事もしないでと叔母さんたちに陰口をたたかれる（精神）
- ・言語障害があるため頭のおかしい人と勘違いされる（身体）
- ・質問にうまく答えることが出来ず、何だこの子はと言われてしまった（知的）
- ・支援学校のバスをバス停で待つ際、どうしても路駐をせざるをえず、知らない年配の方はおもむろに迷惑そうな顔をしてうちの車を抜いていく（知的）
- ・近所の特定の人から近づかないで、あの子みたになっってはだめよ、と言われて嫌な思いをした（精神）
- ・適応障害（精神）
- ・団地の住民の方々の理解が少ない。特に高齢の方が多いので理解して頂けない。挨拶しても無視される。（知的・精神）
- ・ごく少数ではあるが、小学校に上がってから、保護者の中には発達児に偏見を持たれてることから、距離を取られた。（不明）
- ・一緒に遊んでいる時に、遊具を一人だけかしてもらえなかった。（知的）

- ・「あの人は精神病院に入ってたんだよ。バカなんだよ」と言われた（身体・精神）
- ・保育所で一緒だった子のお母さん方で「あの子は通級に通ってる」と噂になってると他のお母さんから聞いた。（不明）
- ・とくに何をしたわけでもないのに、子供（小学生中・高学年）に嫌な顔で見られたり、聞こえるようにマネされたことが何度もある。（知的）
- ・清掃員さんが常同行動を行う本人がいるため掃除の妨げになると用具を持ち上げかんかん鳴らして排除しようとする（知的）
- ・美容師さんにプライバシーを根掘り葉掘り聞かれた（精神）
- ・毎日の行動をチェックするためか帰宅時間には表に出ている、挨拶はしない。（知的）
- ・境界線を感じる（精神）
- ・他人より白い目で見られる、差別される（知的）
- ・冷めた目で見られた（知的）
- ・聞こえないことを知っている近所の人や周囲に〇〇さんは挨拶をしても無視すると言いつらされた（身体）
- ・差別用語を使われる（身体・精神）
- ・近隣の人たちに冷たい視線や変な目でじろじろ見られるのが怖い（身体・知的・精神）
- ・大きな声で泣いただけで馬鹿にされた（不明）
- ・地域の会合（身体）
- ・関わらないようにと無視してくる人がいる（挨拶くらいはたまにしてくれる）。（精神）
- ・噂が広まってしまうと近隣の人から陰口を言われる（精神）
- ・いやな目でみられる（知的）

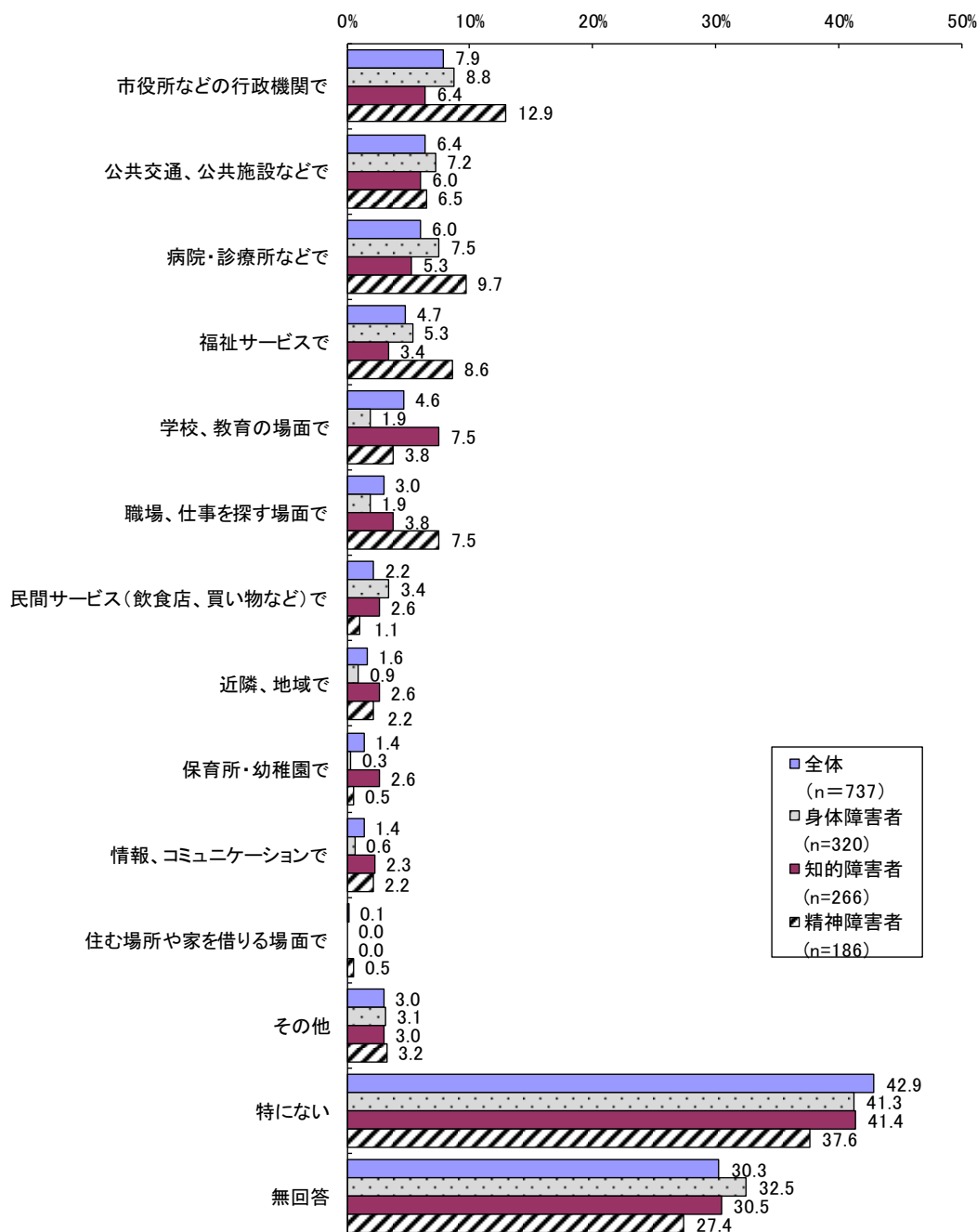
◆12. その他

- ・散歩中に声をかけられて長時間足止めされる、先方は好意的だったが迷惑を感じる。セールスの場合もある。（身体・知的・精神）
- ・あなたは障害持ちだからと怒られる（精神）
- ・やたらに時間をとらせられる。字が見えないのにどうしても書けと言われた（身体）
- ・手帳を見せたら嫌な顔をされた（知的）
- ・タクシー券を使う時に嫌な顔をされたり嫌みを言われる（身体）
- ・どの場所でも必ず差別はあります（身体）
- ・世間体が悪いので来ないでほしいと言われた（精神）
- ・家庭で。夫等に暴言等で差別的な事を言われる。（精神）
- ・職員の不適切な対応で不安定になり、他害行為をしたら、薬を増やすように強要されました。（知的）
- ・自分は何でも確認したい方で店をうろうろしてしまう。（身体・知的・精神）
- ・下校時、同じクラスの子に声をかけたら、バカな子に声をかけられたくない、と言われた事がある。（兄姉弟が目撃している）（不明）
- ・仕事の内容でねたみはある（身体）
- ・関わりが多い分、どうしても配慮が不足している行動や発言をされて、状態が悪くなってしまう事がある。（精神）

- ・就学の時、支援学級の見学に行った時の校長の言動。「全く成長しない子もいる」（←ある児童のことを言いました。何となく分かりました） 人が足りないのもあるだろうが、親が毎日一緒に1日いるなら、来ても良い的な事も。もちろんやめました。（知的）
- ・保育園に行けない最重度の知的障害。児童発達や日中一時だと預かる時間が短く、育児休暇でしたが会社をやめるしか方法がありませんでした。（身体）
- ・病気が理由で出来ないことを病気のせいにはしない等言われたり、逆に病気が理由でないことを病気にせいにされる（精神）
- ・学童を新1年生で使用申し込みをしたが、発達障がい理由に断られてしまい仕事をするのが困難になった（不明）
- ・療育先の臨床心理士からまだ発達障がいの診断が出ていない時にもかかわらず、診断が出ると断言してきたり、不快な言動を受けたりした。（不明）
- ・警察官から高圧的な態度と酷い言葉を言われた（精神）
- ・「まわりに迷惑かけるな」といわれた（身体）
- ・サッカーのプレー中複数のことが出来ずに怒られた（身体・精神）
- ・学童、子どもは何もしてないのに入るのを拒否された（知的）
- ・障がいに理解のない親戚がいる。（精神）
- ・交流クラスで教室に入ろうとしたら通せんぼをされ、それから交流に行けなくなった（学校に相談をして解決済み）（不明）
- ・作業所の職員からいじられていじめ的なこともされた。ぜひ調査を（精神）
- ・「歩けないくせに」など（身体）
- ・以前、支援員に意地悪をされたり暴力を振るわれた。（知的）
- ・結婚について（精神）
- ・過去の知人にきちがいと言われて縁を切られた（精神）
- ・サービス放送が聞こえないためそんな事（身体）
- ・相談に行くたびに具合が悪くなる“命令”をされる（精神）
- ・学童の面接で、〇〇が出来ないをやたらとクローズアップしたり、発達障害と思われる子がとても多いので安全に過ごせない、トイレにこもって遊ぶ子がいる、など、障がいの子を預かりたくない事を隠さない、入るのをあきらめさせるような面接だった。学童での過ごしで本人が一人で出来ないと思われることは1つもなく、加配も不要と説明するが、理解のない職員にはとても嫌な思いをしました。（身体）

問 37 障害者差別解消法施行（平成 28 年 4 月）以降、あなたが、障害のある人への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。（3つまで回答）

- 全体では、42.9%の人が「特にない」と回答しています。それ以外の項目ではすべて1割を切っていますが、その中では「市役所などの行政機関で」が7.9%と最も高く、次いで「公共交通、公共施設などで」が6.4%、「病院・診療所などで」が6.0%と続いています。
- 障害種別に見ると、いずれの障害でも「特にない」が最も高くなっています。知的障害者では「学校、教育の場面で」が他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では「市役所などの行政機関で」「病院・診療所などで」「福祉サービスで」「職場、仕事を探す場面で」が他の障害に比べ高くなっています。



○配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことの具体的な内容は以下の通りになります。

◆ 1. 市役所などの行政機関で

- ・いつも質問などに快く応じてくれる（知的）
- ・親身に相談にのってくれる（精神）
- ・相談しやすい（精神）
- ・細やかなサポートと助言（知的）
- ・対応がとても丁寧で親切だった（精神）
- ・色々相談にのって解決してくれる（知的・精神）
- ・Tロード無料パス、タクシーチケット（身体）
- ・モニタリングを行って生活を見つめること（身体・精神）
- ・説明（身体）
- ・このような支援がありますよと言われた（身体・精神）
- ・丁寧に対応して下さる（知的）
- ・医療費の補助（身体）
- ・お話が上手く伝わったこと（知的）
- ・通所受給証の発給申請の際、市役所職員の方の助言やサポートが的確かつ親切で支援を受けていると感じている（不明）
- ・障害者の立場に立って対応してくれる（身体・知的）
- ・色々な説明をされた（身体）
- ・窓口の対応が早かった（身体）
- ・職員が親身になって下さり手帳の申請、ヘルパーさんの配属が許可されて環境が整って助かっています。（精神）
- ・新しいところへ引っ越して担当さんと話がしやすくなった。前は市役所が嫌いでした。（精神）
- ・話そうとしたことを聞こうと努力して下さる（知的）
- ・医療給付、障害福祉課に連絡、助言をいただいた（身体）
- ・市役所内に事業所があり、相談・手続きがスムーズに行える（精神）
- ・イスや体調など気遣いがいい（知的）
- ・丁寧な対応だった（精神）
- ・障がい支援課の人が丁寧な対応をしてくれる。（精神）
- ・場所が分からなかったので教えてもらった。（不明）
- ・3か所引っ越し転居で各自治体先の対象等級が異なるのが（特に都と県）気になります。（身体）
- ・ツライ事や出生時の事等部署や担当が変わる毎、毎回同じ説明しなくてはならずツラかったが、話したくない旨伝えたらきいてこなくなった。（身体・知的）
- ・通学介助人がなかなか見つけれられない（知的・精神）
- ・書るいなどいりょう券など主な手つづき ありがたいです。（不明）
- ・公的扶助（身体・精神）
- ・わかりやすく丁寧に指示してくれた（身体）

- ・市役所に親切にしてもらっています（身体）
- ・障害者の申請書類の丁寧な説明（精神）
- ・市民課が細かい相談を受けてくれた（精神）
- ・障害者支援車イスを市役所で借りるとき、対応と配慮がよかった（身体）
- ・色々な援助が受けられるようになった（身体）
- ・難聴のため補聴器を作ってもらったこと（身体）
- ・小学校入学前支援級に希望を教育センターさんに相談出来ることが良かったです（不明）
- ・福祉課で手が震えてうまく字が書けなかった時書いてくれた（精神）
- ・市役所の方が和やかに接して下さる（知的）
- ・チラシを見て、精神から知的だと思ったとき（知的・精神）
- ・私は義足ですが市役所の方がよくして下さいました。（身体）
- ・毎日「ていーろーど」を利用して仕事に行っています。とても助かっています。（知的）
- ・いろいろな支援をしていただきありがたく思っております。（放課後デイサービスや補助などです）（身体・知的）
- ・健康福祉センターの保育士さんが定期的に状況確認の連絡をくれて心強く感じる（不明）
- ・分かりやすく説明や、提案をしてくれる。（精神）
- ・自動車燃料費の助成における利便性が反比例している事。地方の方が車が必要なのに、予算がないのか。（身体）
- ・職員さん、ケースワーカーさんが親身になって話を聞いてアドバイスをくれました（知的）

◆ 2. 公共交通、公共施設などで

- ・電車、タクシーの運転手が親切だった（身体）
- ・バスの運賃が半額になった（精神）
- ・バリアフリーが進んでいること（不明）
- ・割引サービスは施設に入って10分であきてしまうのでありがたい（精神）
- ・障害者枠が増えた（精神）
- ・電車を利用した時電車内に放送が流れる、少しはずかしいが良いと思った（身体）
- ・料金割引制度（身体）
- ・手帳において入園料などが割引されることにより外へ出ようという意欲がわいた（知的）
- ・ヘルプマークの告知が窓に貼ってあった、でも実際に対応してくれる方は少ない（身体）
- ・タクシーの割引（身体・精神）
- ・バスが無料、半額（知的）
- ・目が見えず電車のホームから転落するケースについてテレビやネットで拡散してくれて多くの人がそのケースを知って見る事ができたと思う（精神）
- ・人混みがだめなので、並ばなくてもいい配慮をしてくれた（精神）
- ・バスの半額、無料化（精神）
- ・バスの無料サービスを受けられる（身体・精神）
- ・ヘルプマークをつけているので、電車の中で声をかけてくださり席を譲っていただきました（知的）
- ・西武バスや他のバス、コミュニティーバスの半額や特別乗車証などで無料で乗れるのは嬉しいで

す。（知的・精神）

- ・バスで割引が出来る事（知的・精神）
- ・階段安全テープ、手摺り、バリアフリー（身体）
- ・障害者割引が使えること。（身体）
- ・車イス使用者に対する乗降の介助（身体）
- ・以前の住んでいたところでは、市役所へ行く便があったが新設してから行く便がなくなってしまい不便（身体）
- ・ティーロードバスが無料で乗れる（精神）
- ・ヘルプマークのタグがあるおかげでいちいち説明しなくても優先席に座れたことがあった（身体）
- ・タクシー券を利用出来るところです（身体）
- ・市内の循環バスが無料なこと（精神）
- ・公共施設を利用して入場料金が割引になる、公共交通のバス代が割引になる（知的）
- ・様々な割引等が受けられる（知的）
- ・公共施設で障害者割引があるのは本当に助かる、出かけるのとそれだけでなく他の人よりお金がかかるので（知的）
- ・病院へバスで通っているのでバス料金が半額になってよかった（精神）
- ・交通費や入園等の免除や割引がある事（身体）
- ・社内で席をゆずってもらえた（知的）
- ・駅員さんの対応が良い、早い。（身体）
- ・この法律ではないが、これから新しく作る公共施設はバリアフリー必須なので、ありがたい。既存施設の改修も積極的に推進してください。（身体）
- ・バリアフリー化が進んだ（知的）
- ・入間市児童センター 自閉症なのでと話す、多動な我が子を見守り、利用中と帰り際に、困った時はご相談くださいと声をかけていただきました。（不明）
- ・高速道料金の半額割引、駅のバリアフリー（身体）
- ・電車の路線の質問をしたらちゃんと聞いてくれた（知的）
- ・座席を譲ってくれる（身体）
- ・トランスジェンダーで出かけられるところ。特に霞ヶ関で歩けるところ。電車、バスで楽に移動できるところ。（精神）
- ・高速道路料金割引, SAPA 等の障害者用トイレの設置（身体）
- ・障害者手帳により割引があった（精神）
- ・手帳を見せると拝見させていただきます、ありがとうございます、と言われるようになった（精神）
- ・電車、タクシーの乗降で助かっています（身体）
- ・アリットへ行けなくなった。とても悲しい。（身体）
- ・エレベーター等の設置が進んでいると思います。（身体・知的）

◆ 3. 職場、仕事を探す場面で

- ・精神障害者枠での雇用（精神）

- ・働きやすいようトイレ等を改善してくれた（身体）
- ・少ない勤務時間で働けたこと（精神）
- ・障害者の方を雇用する制度が出来て将来もし自分が仕事に就く時ありがたいと思いました（精神）
- ・障害者への職場探しの窓口が少し広がった。しかし、精神障害者などへの対応はまだまだ配慮が欠けていてそれが難しい事でもあることは当事者自身も理解している。しかし希望を持ちたい。（精神）
- ・理解した上で雇ってくれている（一部の人しか知らないけれど）（精神）
- ・何にも言っていないのに、相手が先に足とイスが出てきた。（知的）
- ・職業訓練を受ける申し込みにもハローワークに行ったが、違う障がいの方が対象だと断られた。通っている施設の施設長が交渉してくれて、その後ではハローワークの職員の対応が全く違っていた。（精神）
- ・今の職場では障がい者雇用として働き、理解を得ているため。（精神）
- ・障がい枠での就職 会社とこじれたらジョブコーチが会社の言い分を聞いてくれる。困りごとが起こったらすぐ話ができるくらい人手がある。（知的・精神）
- ・就労への支援をしてもらっている（身体・精神）
- ・皆さんが見守ってくれる、仕事内容を考えてくれる（精神）
- ・タクシー料金の割引（身体）
- ・スムーズに就職できた（身体・知的・精神）
- ・仕事のやり方をわかりやすく教えてくれた。（知的）
- ・やっぱり自分の悩みや自分の話をまじめに真剣に聞いてくれること（身体・知的・精神）
- ・面接してきたけど、不安（知的・精神）
- ・就職を「りぼん」が相談から就労まで全ての面で支援して頂きました。現在も8年目となりますが、私は頑張っています。（知的）
- ・わかばの森幼稚園 交換ノートを作ってくれたり、園長先生は何でも相談に乗って頂いたり、手厚い対応で親思い。子どももちろん。（不明）

◆ 4. 学校、教育の場面で

- ・通級学級の設立（知的）
- ・教師で中には障害者の事を理解しようと努力してくれた（身体・知的）
- ・元から先生が良くてあまり嫌な気分にならなかったことがない。とにかく先生がいい人。（知的）
- ・子どものくせや出来ないことを相談出来る（知的）
- ・学校内で通級指導や特別支援級などで個別対応いただけて心強い。（不明）
- ・支援プランA（3年ごと）B（1年ごと学期ごとに評価見直し）により授業がいろいろと配慮され、学校生活がスムーズに送れている。（知的）
- ・自分に合った学校に行ける（知的・精神）
- ・個人にあった指導をしてきている（不明）
- ・通級教室に通って色々出来ることが増えた（不明）
- ・支援学校で障害のある子への配慮、理解などの指導がされている（知的）
- ・子どもが学校が嫌いにならないよう最大限の配慮をして下さる（知的）
- ・いつもは支援学級ですが週1回の体育、給食は交流学級に行っています。お友達も先生もやさし

く声をかけてくれているみたいです（知的）

- ・特別支援学級の指導（不明）
- ・中学校の先生方、クラス内、学校内でも特に嫌な思いをすることなく通学出来ました（知的）
- ・合理的配慮（不明）
- ・クラスメイトから嫌な思いをされた時、他の友人や先生が相談にのってくれて心強く助けられました（身体）
- ・入学前にちゃんと話を聞いて一人一人にあった対応をしてくれた（知的）
- ・予定の見直しをたてやすいようにプリント等を用意してもらった（不明）
- ・学校内でクールダウンできる場所や、しきりをすることで個のスペースを確保してもらえようになり精神的に楽になった（不明）
- ・通う学校で新たに特別支援クラスを開設して頂けたこと。（知的）
- ・本人に合った環境を提供してくれる（知的）
- ・普通級から支援級に行けた（知的・精神）
- ・支援学級ができ先生方の考え方や見方が変わったと思う（精神）
- ・細やかなアドバイスや気配りを受ける（身体・知的）
- ・学校の先生が娘が卒業するにあたり母子を今後どのように支援していくのか各所の職員を集めて支援会議を開いて下さいました（精神）
- ・抽象的な言葉ではなく具体性を持った言葉で教えてくださる（知的）
- ・学校のスクールバスが近所まで来てくれて病弱児はありがたい（精神）
- ・子ども一人一人にあったフォローや親とのこまめな連絡もしていただけました（知的）
- ・合理的配慮。まだまだ乏しいが最大限の努力を望む。（身体）
- ・特別支援学級の新しい形ができた（身体・知的・精神）
- ・子の現況に合わせていただいた。ただ、人手や見る目が足りなかった。（知的）
- ・本人の障害特性をよく理解してくれて親への配慮、気遣い、励ましをしていただき助かりました（知的）

◆ 5. 保育所・幼稚園で

- ・元気キッズに通所することを案内された（身体・知的）
- ・先生を加配して下さり細かいところまでフォローしていただけました（知的）
- ・加配の先生がついてくれて助かりました（不明）
- ・通園しているめぐみ幼稚園では障害児でも積極的に受け入れてくれた（知的）
- ・合理的配慮（不明）
- ・合理的配慮（知的）
- ・コミュニケーションのトラブルで声かけや言い聞かせをしてもらったり、指示が通りにくかったので、絵カードや個別に声かけをしてもらって助かりました（不明）
- ・子を見る人手を増やしたりしてよく見ていただき、問題行動をうまく抑えてくれた。（知的）
- ・介護者が少し増えた（知的）
- ・特性を理解してくれて、リハビリの様子を見に来ていただいたり運動会や発表会など対応が出来にくい事は多くの配慮をしていただいたことに感謝しています（知的・精神）
- ・子どもの特性を考え他の子どもとの関わり等を助言してくれた幼稚園の先生方にとっても感謝して

います（不明）

- ・他の比べないで出来ることを褒めてくれた（知的）
- ・優しくしてくれた。（知的）

◆6. 病院・診療所などで

- ・近年様々な場面で関係者が親切にしてくれる、この特別扱いは有り難い（身体・知的・精神）
- ・以前一人で通院していた際は帰りのタクシーを呼んでくれたところ（身体）
- ・赤い手帳を出すことがなくなった（身体）
- ・待ち時間を少なく配慮してもらえる（知的）
- ・10年前よりじろじろ見られないようになった（身体）
- ・手帳は切符代わりと言われて救われた（身体・精神）
- ・医療費が無料（知的）
- ・パニック発作が起きた時に松風荘の看護師さんと話して落ち着きます。（身体・精神）
- ・障害サポート手帳のおかげではじめての病院でも嫌な思いをすることがなくなりました（知的）
- ・私自身が利用している病院の医師と看護師、スタッフが素晴らしい（身体）
- ・薬代が安くなった（身体・精神）
- ・医療費の補助（知的）
- ・自分には周りに味方が大勢いると気づかされたこと（精神）
- ・病院にかかった時の支払いの配慮が助かっています（身体・精神）
- ・かかりつけ医の先生と相談している（身体）
- ・医療費の補助（身体）
- ・先生や看護師さんが理解があって親切（知的・精神）
- ・ヘルプマークのポスターが貼ってある場合があり、外見ではわからない障害に対しての理解を感じる事がある。（不明）
- ・生活保護で医療費がかからないのが助かっている（身体・精神）
- ・自立支援で病院の診察代、薬代が安く済む（身体・精神）
- ・叔母の病状状況についての説明（身体）
- ・重度心身障害者医療費受給者証のおかげで、窓口支払いがなくなった所はとても嬉しいです。（知的・精神）
- ・熱の時発作の心配をして裏の方から先に優先してくれる（身体・知的）
- ・服の色などで呼んでくれる（身体）
- ・わかりやすく丁寧に指示してくれた（身体）
- ・一般の駐車場は路線を渡った向こう側にあり危険なので身障者用の屋内の駐車場に置けるので助かった（身体）
- ・待つことが出来ない時早めの診察をしていただき助かりました（知的）
- ・医療費が無料になる（知的）
- ・言語学習である程度良くなった（不明）
- ・お金の面で安くしてくれる、親身になって相談にのってくれる（精神）
- ・優しく親切にして下さる（知的）
- ・やさしく接してもらえた（知的）

- ・防衛医大ストマ外来等での助言（身体）
- ・細かいところまで説明してくれます（精神）
- ・チラシ、パンフレットを見て（知的・精神）

◆7. 民間サービス（飲食店、買い物など）で

- ・テーブルまで運んでくれたり（身体・知的）
- ・スーパーで買い物をして支払いを済ませたあと、買ったものを袋に入れようとしてもたついている時全く面識がない人が声をかけてきて入れたくれた。このケースは何回もあり皆さんの優しさが嬉しかった。（身体）
- ・重い荷物をもってもらった（身体・精神）
- ・スーパーや買い物で通路をが広がっていると思います。車イスでも通りやすくなったところが多い。（身体）
- ・ディズニーランドの障害者優先案内（知的）
- ・映画館の障害者割引のサービスはよく受けており、お金の負担額が下がるのでとても助かっている（知的）
- ・さりげない援助がありがたい。（身体）
- ・どこも車イスの動線が確保されている。またさりげなく見守ってくれてっているとわかるのも嬉しい（身体・知的・精神）
- ・車イスを借り買い物が出来ること（身体）
- ・車イスへの配慮。入店できるように考えてくれる。（身体）
- ・障がい者に対する接し方が良くなった。（知的）
- ・お金の面で半額等割引をしてくれる（精神）

◆8. 福祉サービスで

- ・入浴サービス、移動支援、身体介護（身体）
- ・色々な福祉サービスを利用出来るようになった（身体）
- ・学童のかわりに放課後デイサービスが使えたこと（精神）
- ・放課後デイサービスの方が本当に良く見てくれて助かっています（知的）
- ・手すりを取り付けていただいた（身体）
- ・子どもの発達の遅れで困り果てたが元気キッズに通所したことで親も精神的に助かった（不明）
- ・茶おちゃおに通っていた期間にて先生方の対応や今必要なことを気づけなかった部分を教えていただけた（知的・精神）
- ・B型作業所のスタッフさんがとても優しく親身。（精神）
- ・お金の補助。理由があり中々預け先がありませんでした。でも生活サポートを使って預けられる。補助が無いと利用出来ない。サポート券を増やしてほしい。（身体・知的）
- ・放課後デイサービスでプログラムが多様になったこと、面談が頻繁に行われるようになったこと（知的）
- ・20～30年前に比べると、色々な面で詳しく説明して下さって、明るく対応して下さいます。（知的）
- ・不安定な時期、行動ペースが送れて予定に合わせる事が困難だったが、送迎などよく配慮して

- ・ くださり、訪問相談の対応など支えてくれました（知的）
- ・ タクシー券はありがたいですが、年間の3分の1しか使えません（身体）
- ・ 一部だけど車イスのケア（身体・精神）
- ・ 何事もよく話を聞いてくれることです（身体・精神）
- ・ 楽しい（不明）
- ・ 相談しやすい（精神）
- ・ 障害者の立場に立って対応してくれる（身体・知的）
- ・ 優先される（知的）
- ・ 在宅介護サービス（精神）
- ・ 放課後デイを利用でき、療育に携わって頂ける（日中一時支援）（不明）
- ・ タクシー券、バス割引（身体）
- ・ 放課後デイサービスが満員で入れない（知的・精神）
- ・ （知的・精神）
- ・ 相談をできるようになった（身体・精神）
- ・ いろいろな話をしてもいやな顔せずきいてくれる。（不明）
- ・ 公的扶助（身体・精神）
- ・ 障害者の行事の開催が多くなった（精神）
- ・ 映画など1000円で見れたり遊園地が半額になる（精神）
- ・ 介護保険で居宅介護支援サービスがありがたいと思っています（身体）
- ・ 本人に合ったカリキュラムを作ってくれる（知的）
- ・ 絵カードを利用してコミュニケーションがとれる（知的・精神）
- ・ 放課後デイサービスなどの充実（身体・知的）
- ・ ヘルパーさんを利用しているので日常生活において助かっている（身体・精神）
- ・ 福祉サービスを受けるにあたり負担上限額が設けられているのは経済的に非常に助けられている（不明）
- ・ 色々なサービスのあり方（身体）
- ・ 放課後等デイサービスが増えたように感じます（知的）
- ・ 住宅入浴で助かっています（身体）
- ・ 生活（不明）

◆9. 住む場所や家を借りる場面で

回答無し

◆10. 情報、コミュニケーションで

- ・ やさしく一緒に帰ろうと話しかけてくれたり声をかけてくれたこと（身体・知的・精神）
- ・ NHKなどで障害→個性という啓蒙番組がととも増えている。（知的）
- ・ 元気キッズでママ友ができて障害を持つ同士相談できて精神面で助かっています（身体）
- ・ 障害の特性を学校や会社全体に知らせて、皆で理解していく（知的）
- ・ 発達のことが広まるにつれ、障がい、特性のグラデーションの幅が広まったと感じる。「頭がおかしい」「正常」と、極端な2極化が減った。（精神）

- ・漢字にルビがあり、説明が読み取れるようになりました（知的）
- ・パラリンピックに向けて障がい者に対して前向きにとらえられるようになった。（知的）

◆11. 近隣、地域で

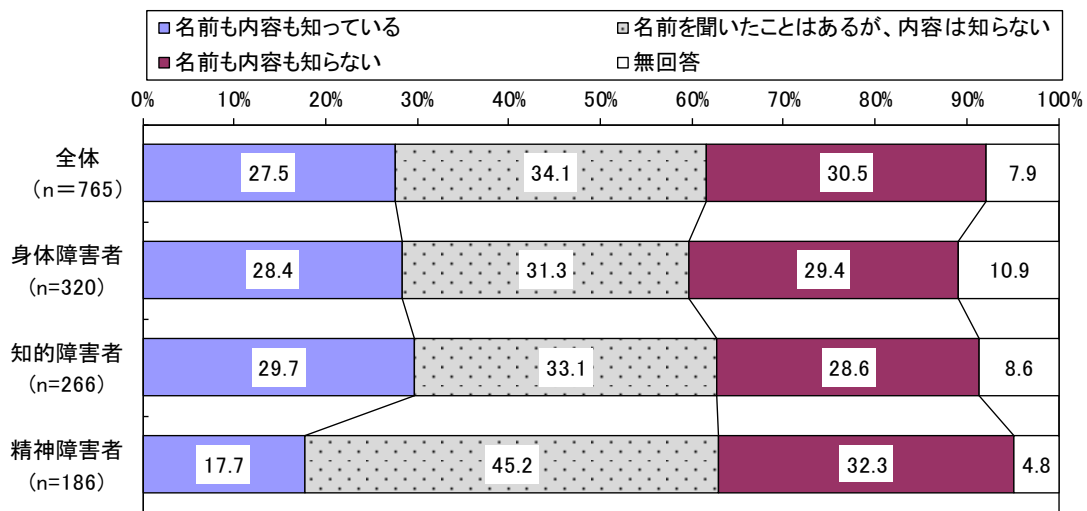
- ・育てにくさを察し、優しくしてくれた。配慮してくれた。（知的）
- ・隣のおじさんと親しくなったこと、よく話してくれる。（身体・知的・精神）
- ・買い物でよく立ち寄りのお店、本人のこだわりを理解してくれて会計がスムーズに出来るようサポートして下さります（知的）
- ・子ども会などで病気について理解してくれる（精神）
- ・理解してくれる方々があります（身体・精神）
- ・本人が生活する地域での理解や協力は本当にありがたく思っています。（知的）
- ・特に学校関係の保護者の方や地域の方からも嫌な思いをしたことはありません（知的）
- ・理解者が増加した（知的）
- ・理解されない中でも団地に民生委員の方がいるので、だいぶ助けていただいた。（知的・精神）
- ・理解してくれている人は気遣ってくれる（子供の通っている学校も含めて）（精神）
- ・スーパー等の買い物の時は荷物が思いがけず重くなってしまった時は特に身障者用のパーキングに止められるのは助かる（身体）

◆12. その他

- ・外出時ヘルプマークを携帯することで安心感がもてる（知的）
- ・公の機関以外は差別される。（身体）
- ・社長が同じように妻の精神疾患の経験があり、会社ぐるみで配慮をしてもらえる。（精神）
- ・民間にはさほど感じない（知的）
- ・コミュニケーションがとれなかった時、筆談対応してもらえる様にはなってもらえました（身体）
- ・訪問看護で看護師に相談出来る（身体・精神）

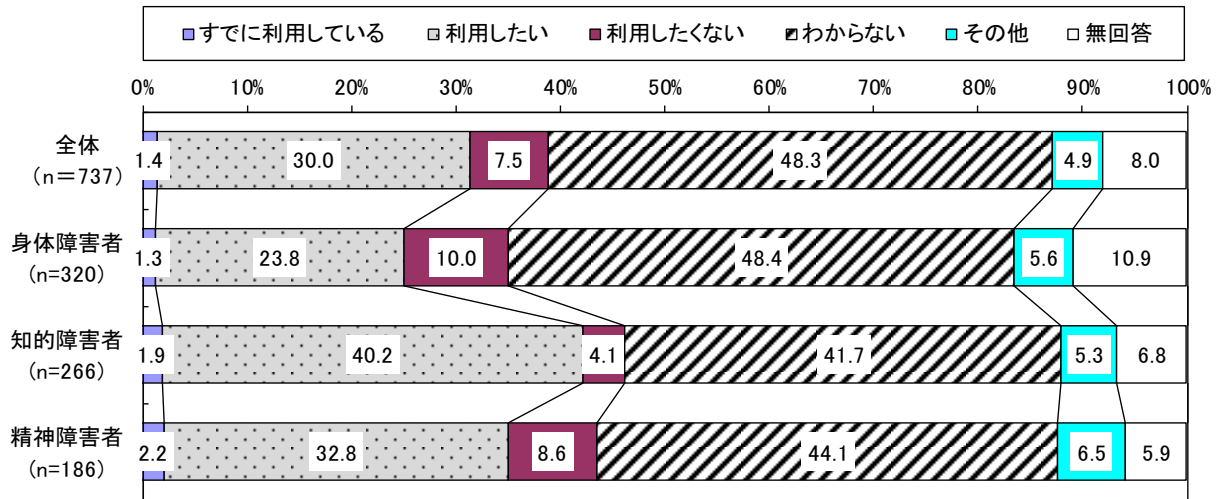
問 38 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。（〇は1つ）

- 全体では、成年後見制度について「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 34.1%、「名前も内容も知らない」が 30.5%となっており、合わせて 64.6%と全体の6割半ば近くを占めています。
- 障害種別に見ると、身体障害者と知的障害者では「名前も内容も知っている」が3割近くを占めています。精神障害者では17.7%と2割を切っています。精神障害者では「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が45.2%、「名前も内容も知らない」が32.3%と他の障害に比べ高くなっています。



問 39 あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、成年後見制度を利用しますか。（○は1つ）

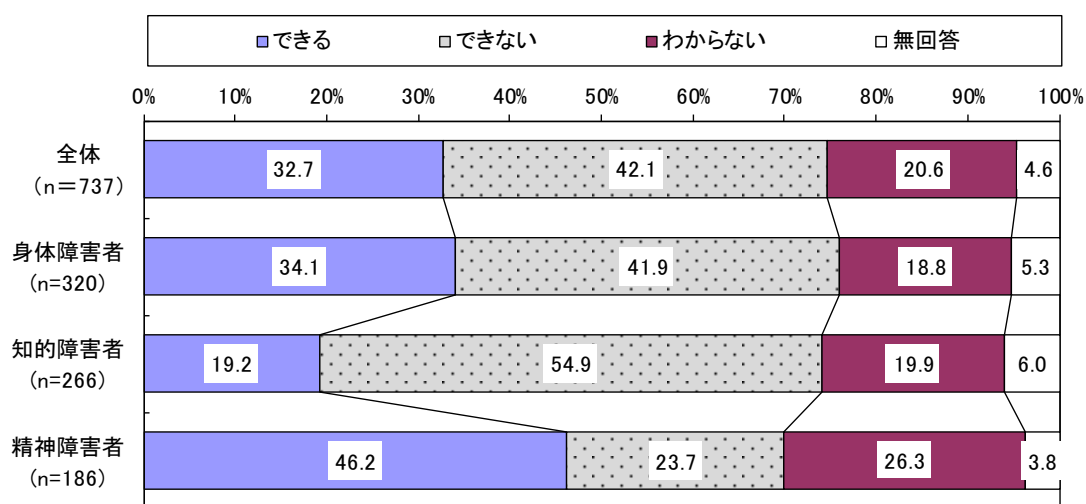
- 全体では「わからない」が48.3%と5割近くを占めて最も高くなっています。「すでに利用している」が1.4%、「利用したい」が30.0%、「利用したくない」が7.5%となっています。
- 障害種別に見ると、知的障害者では「利用したい」が40.2%と他の障害に比べ高くなっています。



8 災害時の避難等について

問 40 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。（○は1つ）

- 全体では「できる」が 32.7%、「できない」が 42.1%と、「できない」が「できる」を 9.4 ポイント上回っています。また「わからない」は 20.6%と 2 割を占めています。
- 障害種別に見ると、「できない」は知的障害者で 54.9%と 5 割半ばを占めて突出して高く、身体障害者で 41.9%、精神障害者で 23.7%となっています。

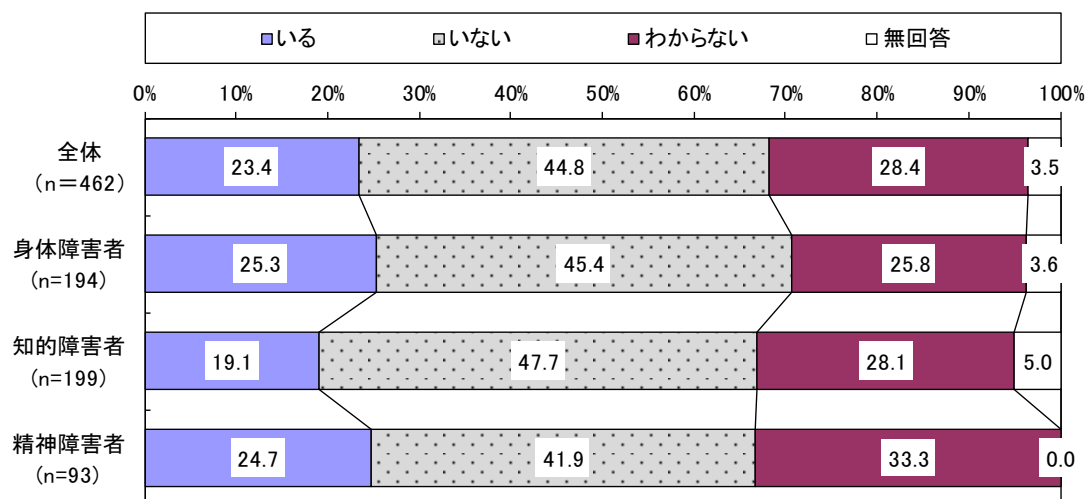


問40で「できない」または「わからない」と回答された方におききます。

問41 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、あなたの身近に助けてくれる人はいますか。（○は1つ）

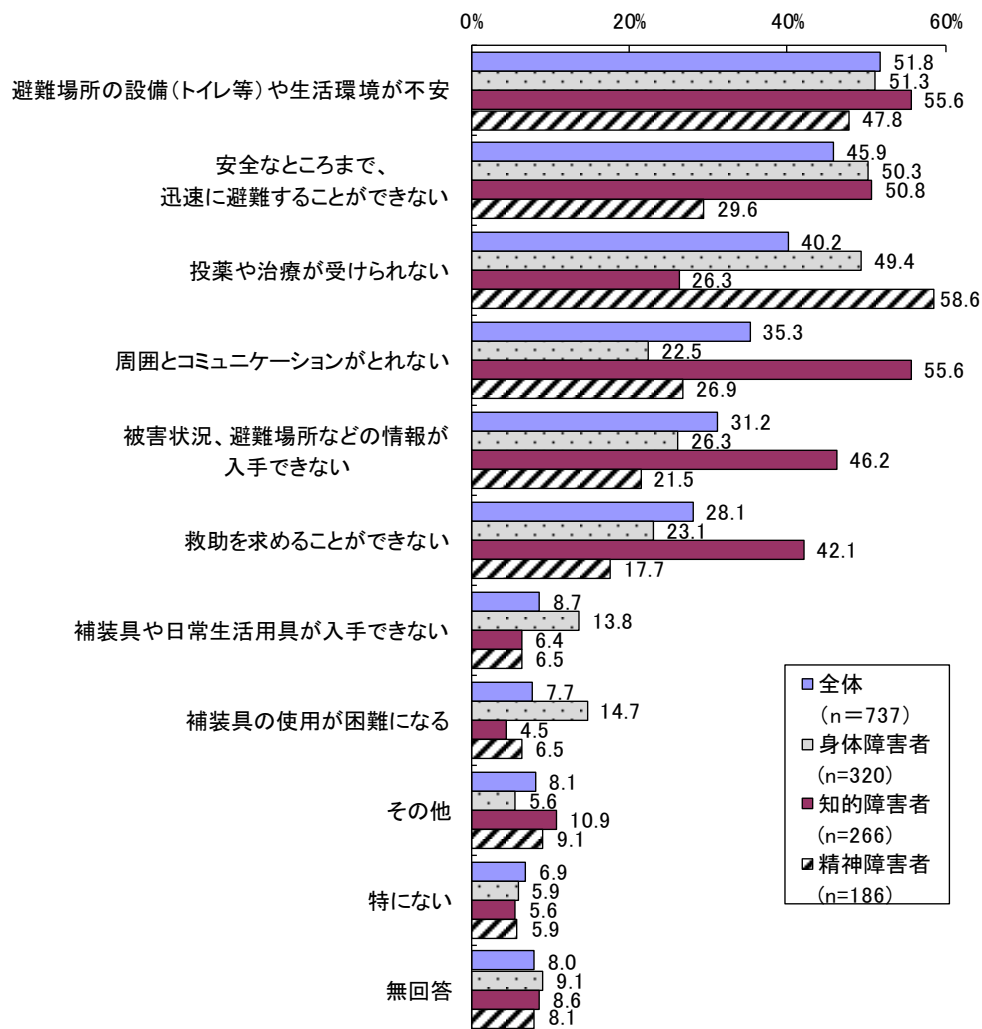
○全体では「いる」が23.4%、「いない」が44.8%、「わからない」が28.4%となっています。

○障害種別に見ると、「いる」は知的障害者で2割を切って、他の障害に比べやや低くなっています。「いない」はいずれの障害でも4割台となっています。



問 42 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 全体では、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が 51.8%と 5 割を超えて最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」が 45.9%、「投薬や治療が受けられない」が 40.2%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 35.3%と続いています。
- 障害種別に見ると、知的障害者では「周囲とコミュニケーションがとれない」「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」「救助を求めることができない」といった意思疎通や情報入手についての不安が他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「投薬や治療が受けられない」が 58.6%と他の障害に比べ突出して高く、知的障害者では 26.3%と低くなっています。

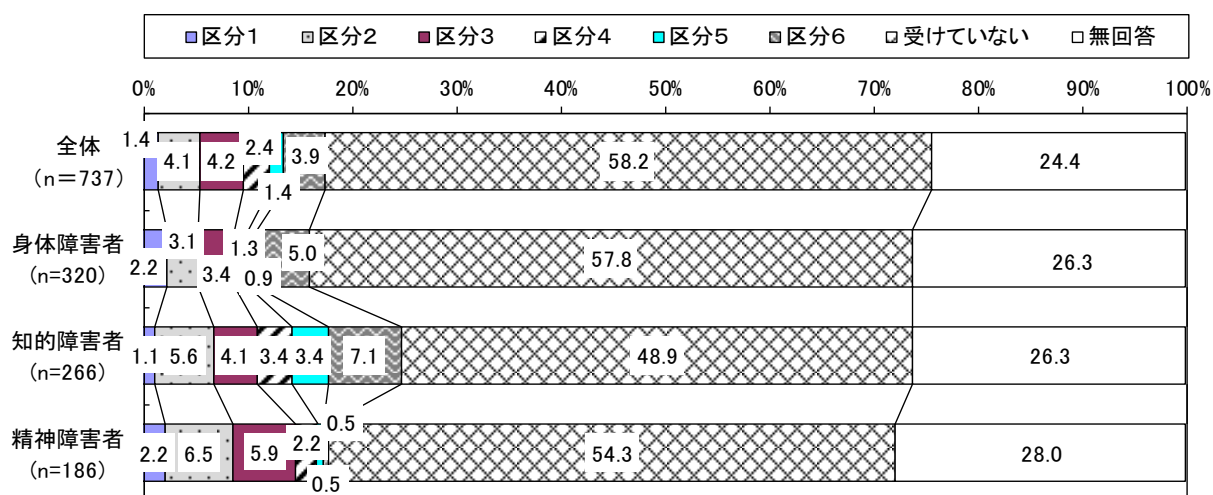


9 障害福祉サービス等の利用について

問 43 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。（○は1つ）

○全体では、「受けていない」が58.2%と6割近くで最も高くなっています。区分では、いずれの区分も1割を切っており、「区分3」が4.2%、「区分2」が4.1%、「区分6」が3.9%と、他の区分に比べやや高くなっています。

○障害種別に見ると、知的障害者では「区分4」と「区分5」が3.4%、「区分6」が7.1%と他の障害者に比べ高くなっています。精神障害者では「区分2」が6.5%、「区分3」が5.9%と他の障害者に比べ高くなっています。



問 44 各障害福祉サービスの利用状況

①居宅介護（ホームヘルプ）

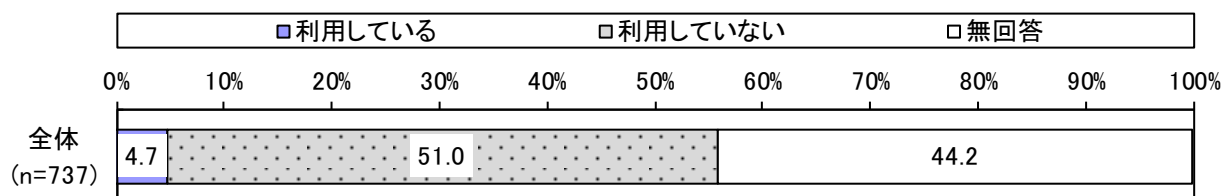
○現在の利用状況は、「利用している」が4.7%、「利用していない」が51.0%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が77.2%（35人中27人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が8.6%（35人中3人）となっています。

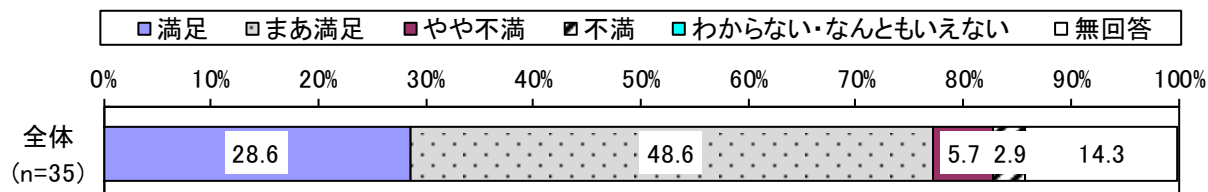
○現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.5%、「利用対象者に該当しない」が32.2%、「利用の必要がない」が49.2%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が4.9%、「利用量を増やしたい」が0.3%となっています。

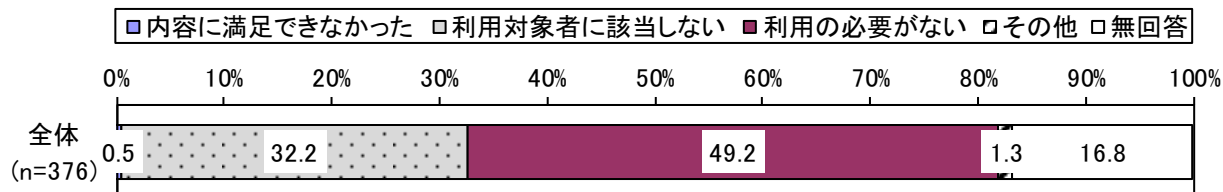
（1）現在の利用状況



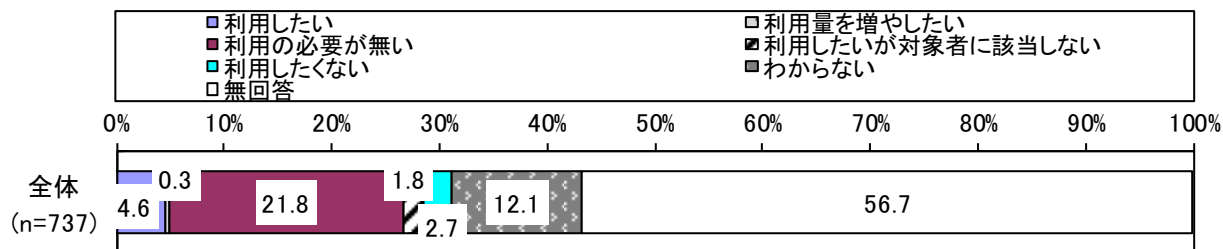
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



（4）今後利用したいか



②重度訪問介護

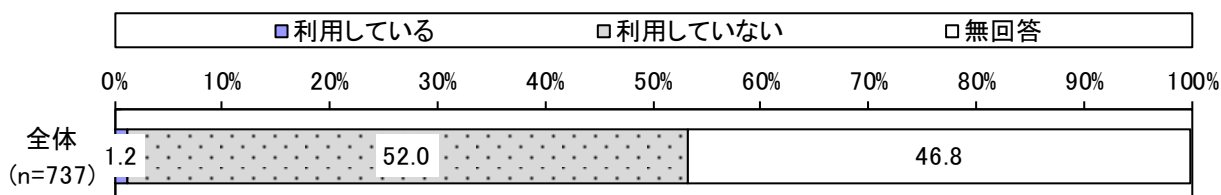
○現在の利用状況は、「利用している」が1.2%、「利用していない」が52.0%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が100%（9人中9人）となっています。

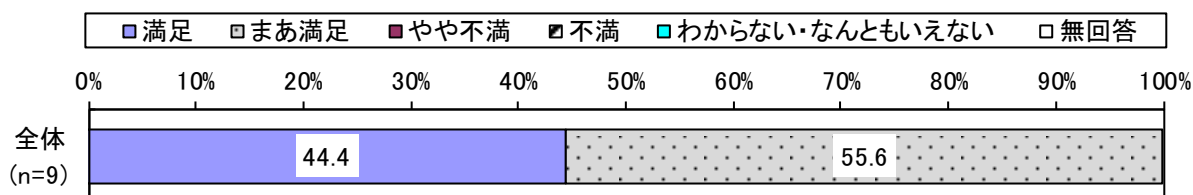
○現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が35.8%、「利用の必要がない」が47.5%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が2.6%、「利用量を増やしたい」が0.1%となっています。

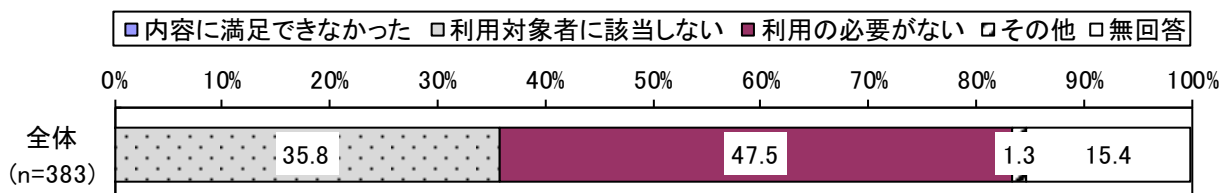
(1) 現在の利用状況



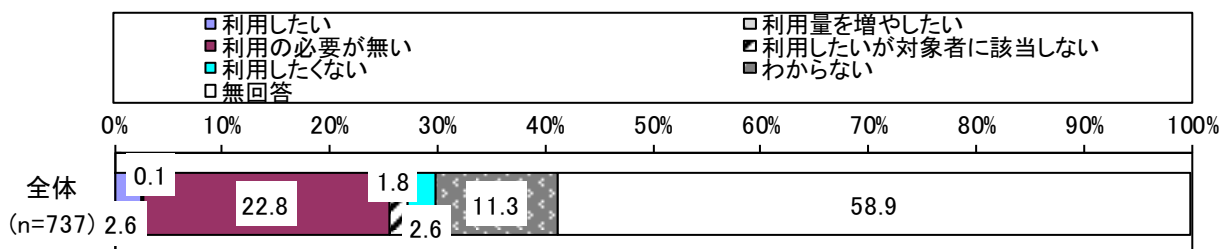
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



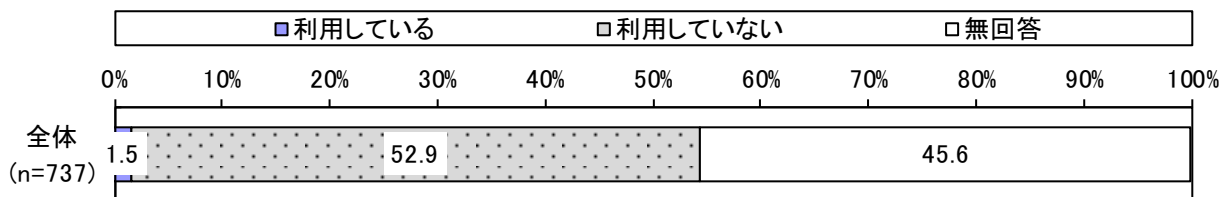
(4) 今後利用したいか



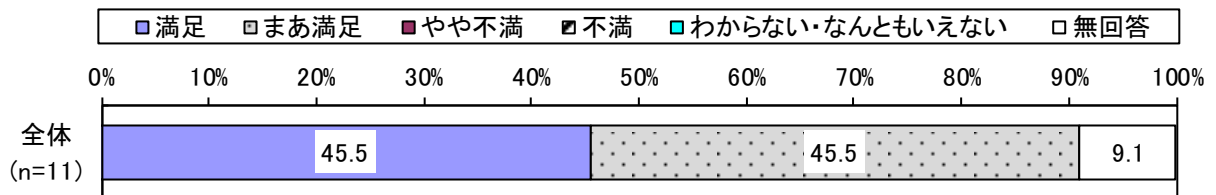
③同行援護

- 現在の利用状況は、「利用している」が1.5%、「利用していない」が52.9%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が91.0%（11人中10人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が16.7%（18人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が37.7%、「利用の必要がない」が45.1%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が0.9%、「利用量を増やしたい」が0.5%となっています。

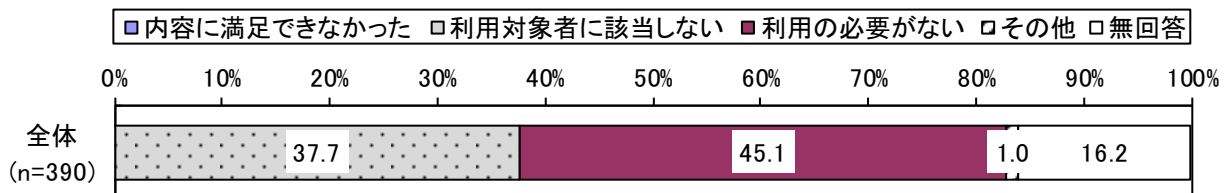
(1) 現在の利用状況



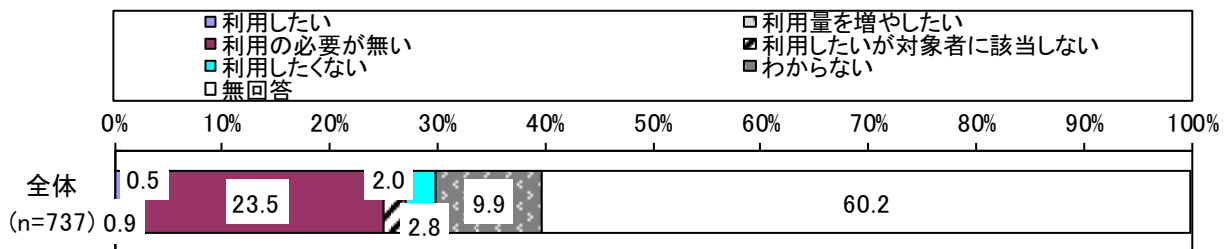
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



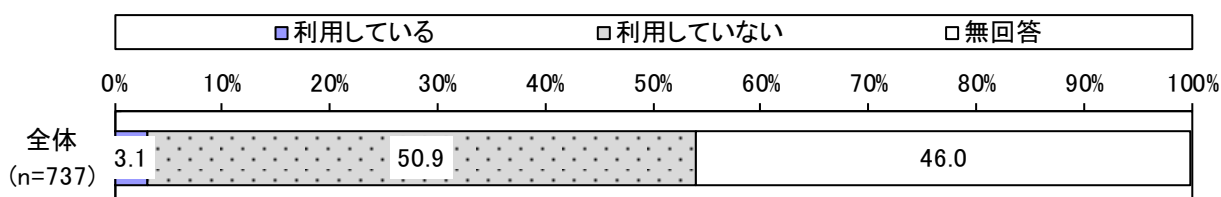
(4) 今後利用したいか



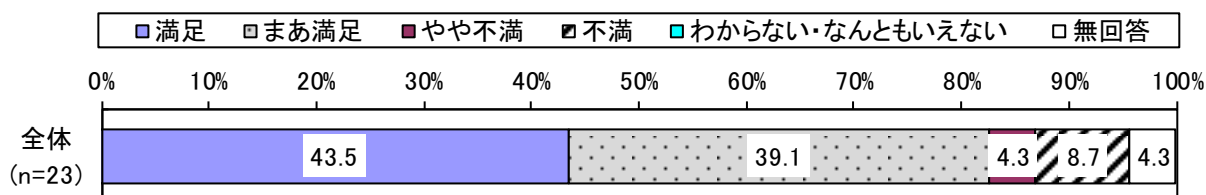
④行動援護

- 現在の利用状況は、「利用している」が3.1%、「利用していない」が50.9%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が82.6%（23人中19人）、、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が13.0%（23人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が29.9%、「利用の必要がない」が47.5%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が6.6%、「利用量を増やしたい」が0.5%となっています。

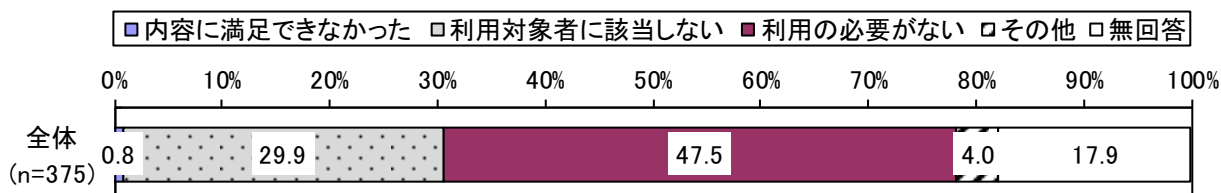
(1) 現在の利用状況



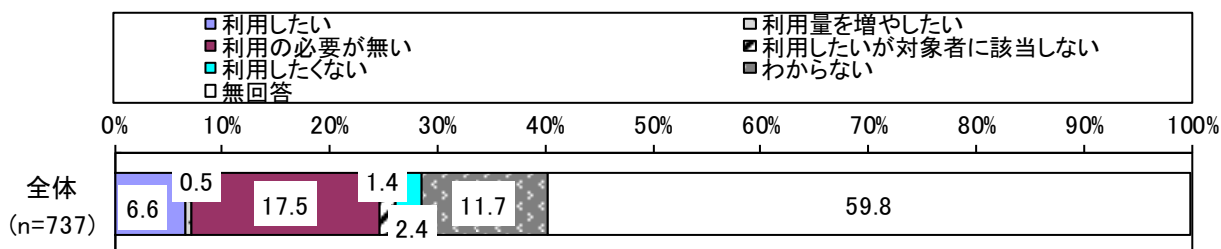
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



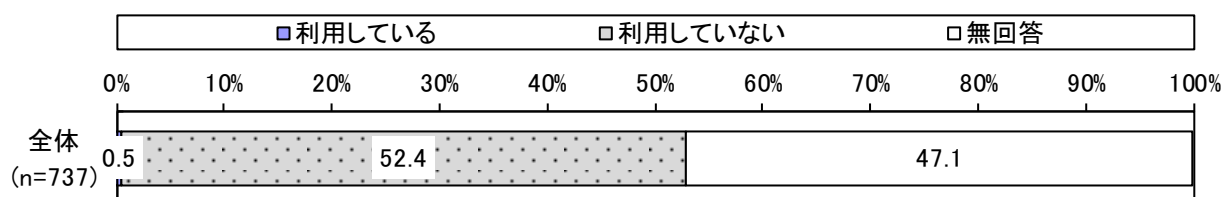
(4) 今後利用したいか



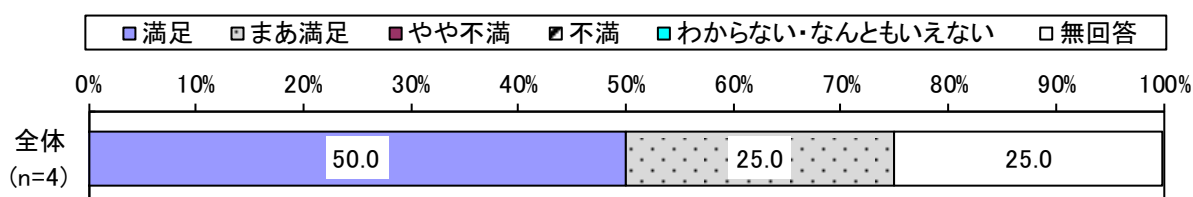
⑤重度障害者等包括支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が0.5%、「利用していない」が52.4%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が75.0%（4人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.5%、「利用対象者に該当しない」が33.7%、「利用の必要がない」が46.6%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が1.4%、「利用量を増やしたい」が0.1%となっています。

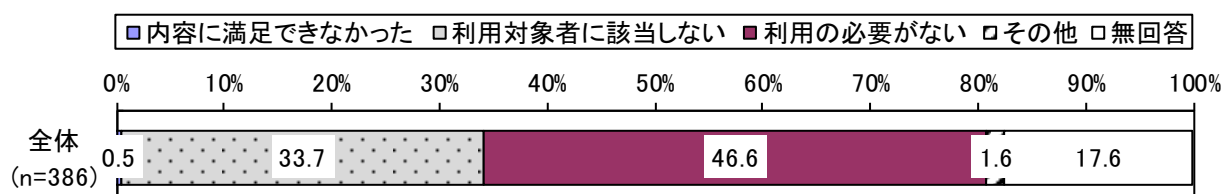
(1) 現在の利用状況



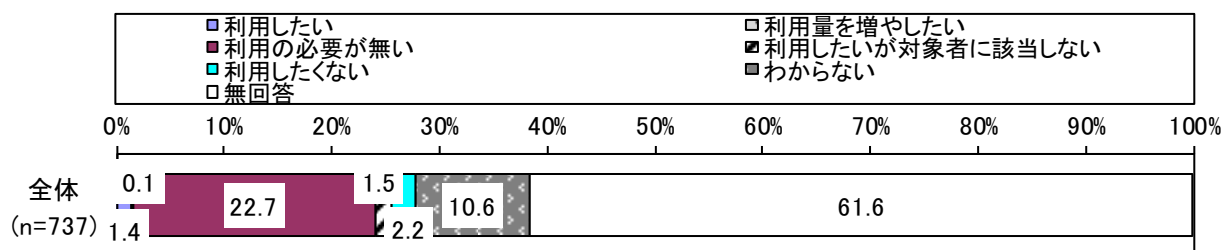
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



(4) 今後利用したいか



⑥生活介護

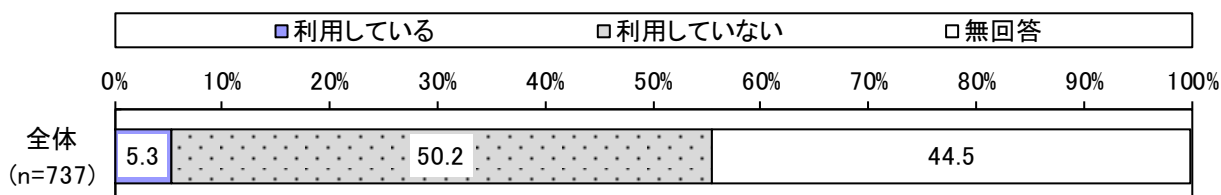
○現在の利用状況は、「利用している」が5.3%、「利用していない」が50.2%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が84.6%（39人中33人）となっています。

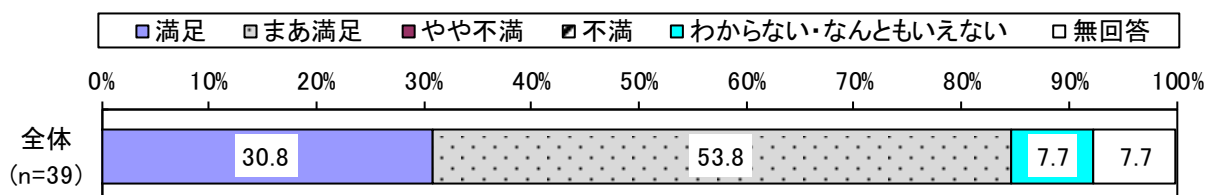
○現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.5%、「利用対象者に該当しない」が33.8%、「利用の必要がない」が45.7%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が4.7%、「利用量を増やしたい」が0.3%となっています。

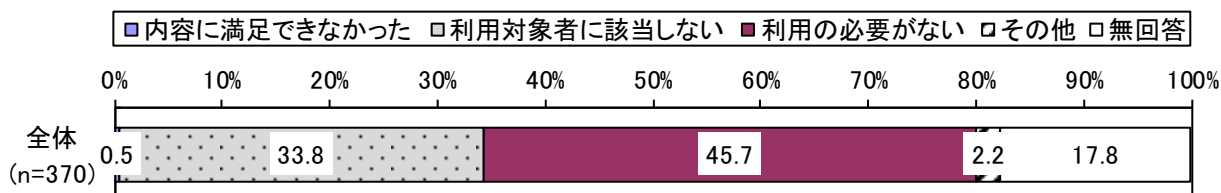
(1) 現在の利用状況



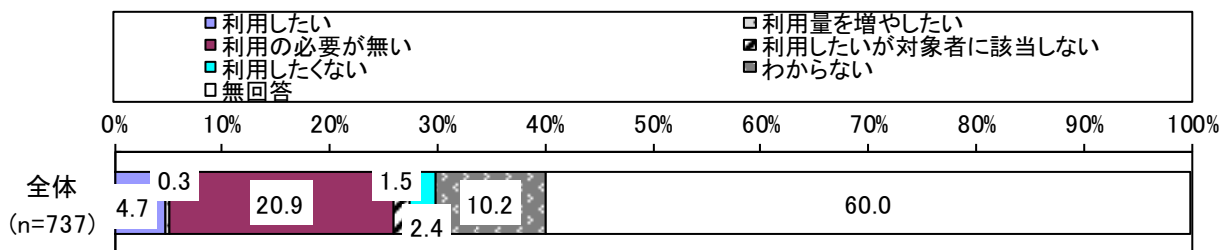
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



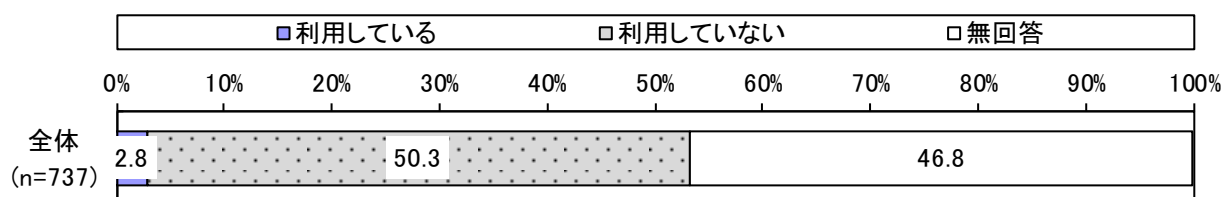
(4) 今後利用したいか



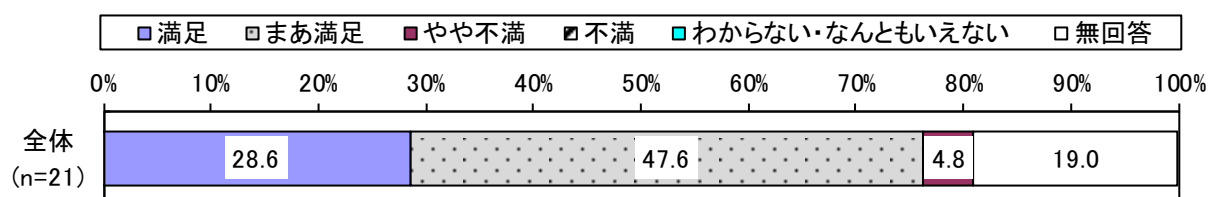
⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）

- 現在の利用状況は、「利用している」が2.8%、「利用していない」が50.3%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が76.2%（21人中16人）、「やや不満」が4.8%（21人中1人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が30.5%、「利用の必要がない」が46.1%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が6.9%、「利用量を増やしたい」が0.3%となっています。

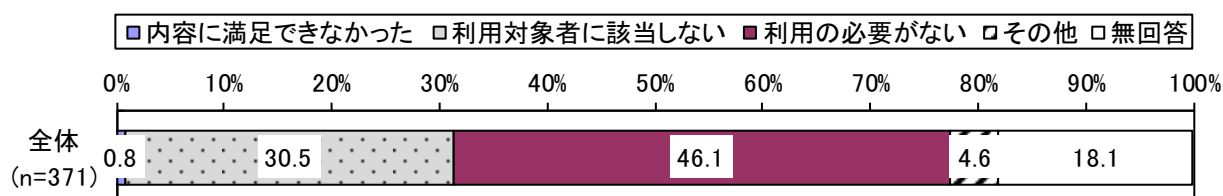
（1）現在の利用状況



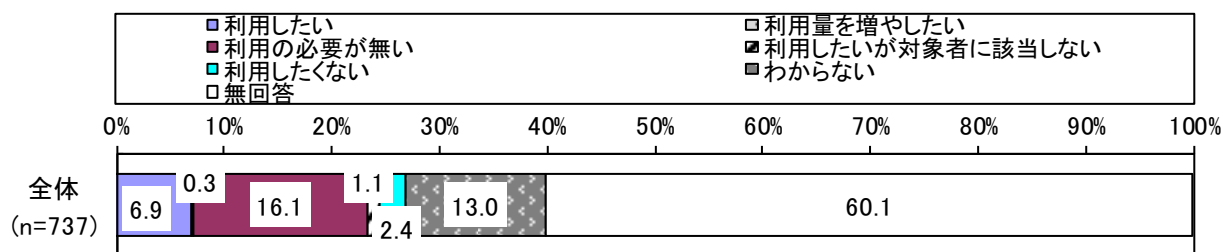
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



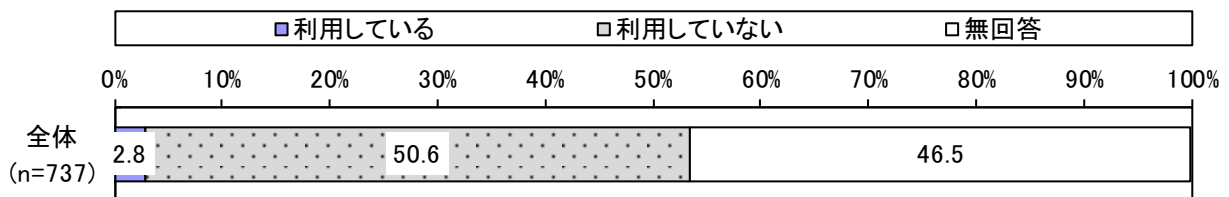
（4）今後利用したいか



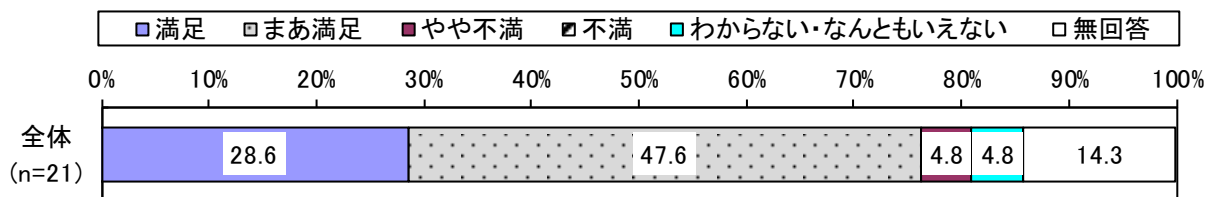
⑧就労移行支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が2.8%、「利用していない」が50.6%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が76.2%（21人中16人）、「やや不満」が4.8%（21人中1人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が1.1%、「利用対象者に該当しない」が34.3%、「利用の必要がない」が38.6%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が10.3%、「利用量を増やしたい」が0.3%となっています。

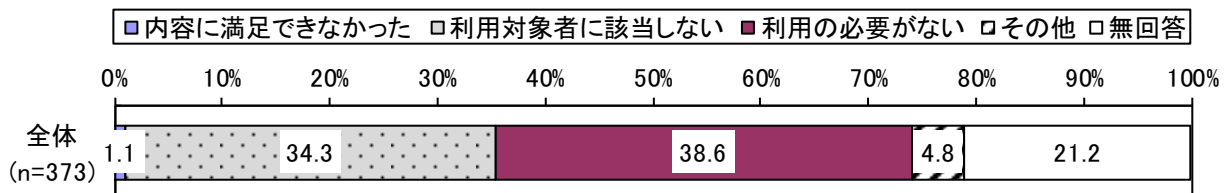
(1) 現在の利用状況



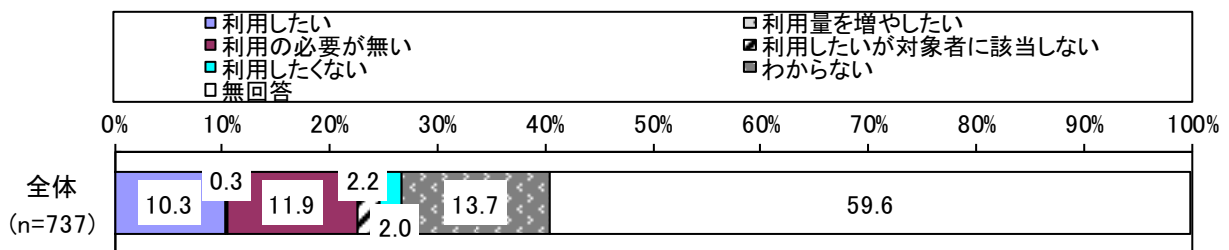
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



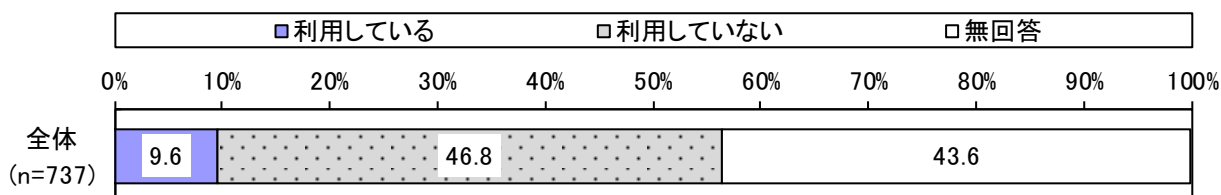
(4) 今後利用したいか



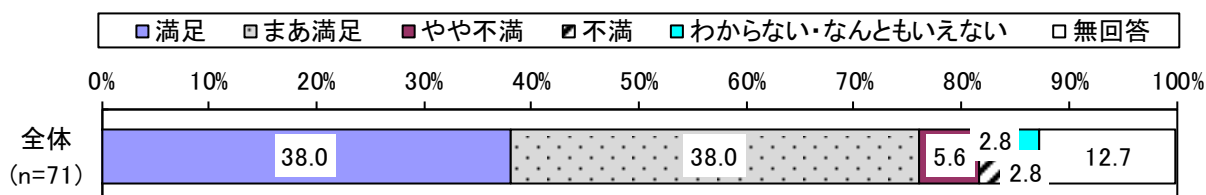
⑨就労継続支援（A型、B型）

- 現在の利用状況は、「利用している」が9.6%、「利用していない」が46.8%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が76.0%（71人中54人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が5.6%（71人中4人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.9%、「利用対象者に該当しない」が33.0%、「利用の必要がない」が40.6%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が13.4%、「利用量を増やしたい」が0.1%となっています。

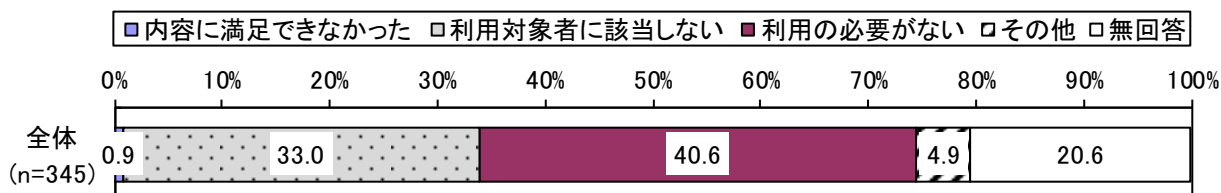
（1）現在の利用状況



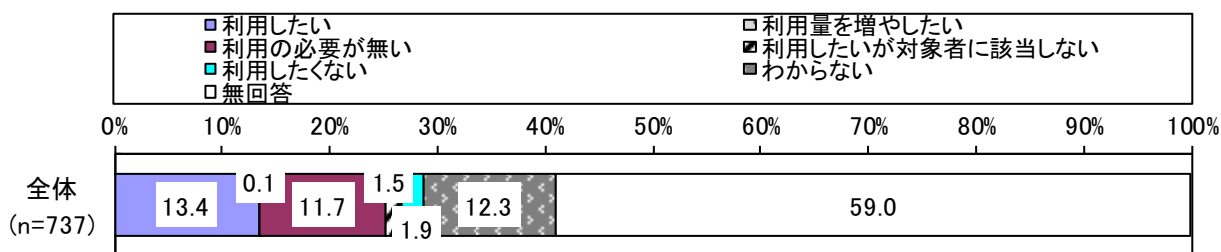
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



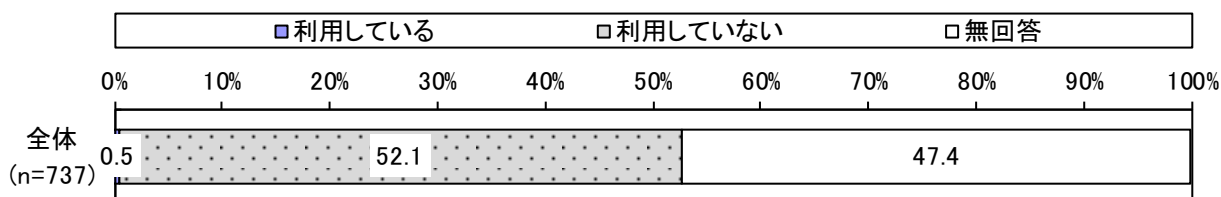
（4）今後利用したいか



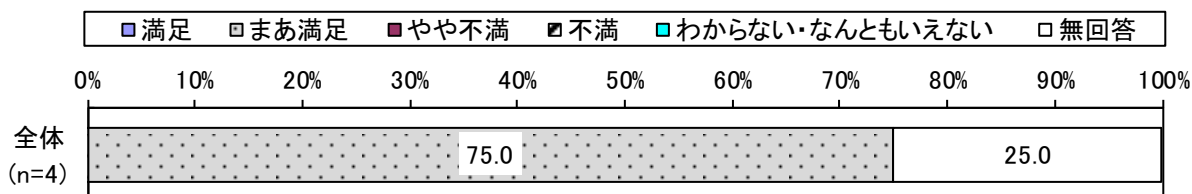
⑩療養介護

- 現在の利用状況は、「利用している」が0.5%、「利用していない」が52.1%となっています。
- サービスの満足度は「まあ満足」が75.0%（4人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.3%、「利用対象者に該当しない」が33.6%、「利用の必要がない」が45.3%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が1.2%、「利用量を増やしたい」が0.4%となっています。

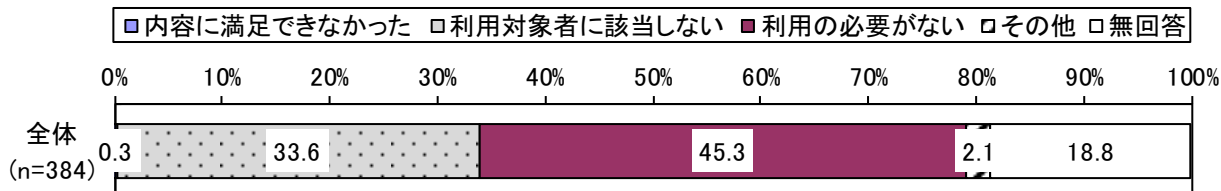
（1）現在の利用状況



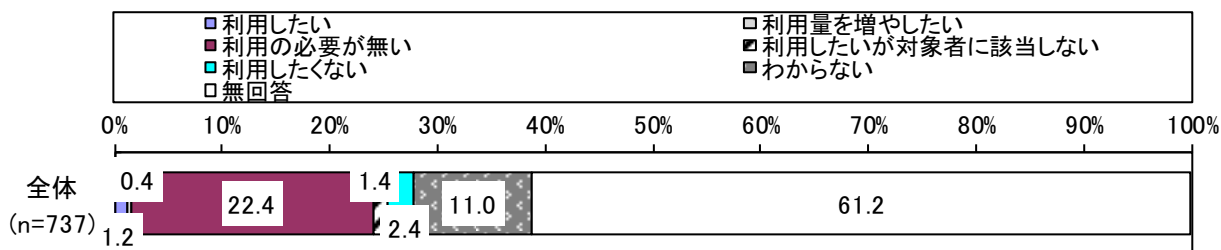
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



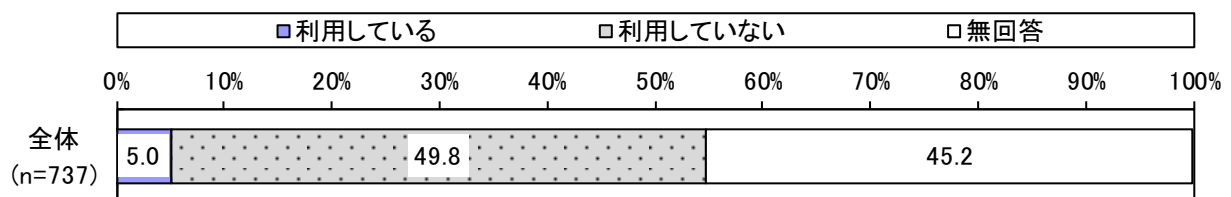
（4）今後利用したいか



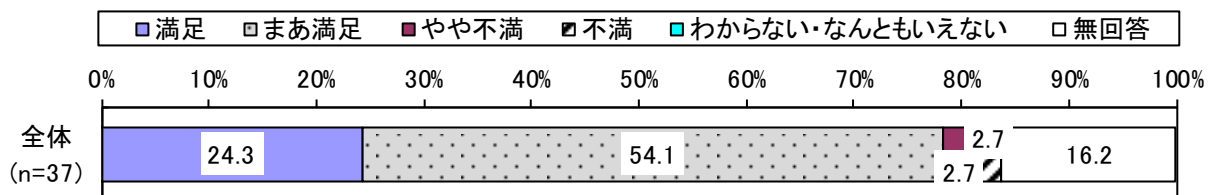
⑪短期入所（ショートステイ）

- 現在の利用状況は、「利用している」が5.0%、「利用していない」が49.8%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が78.4%（37人中29人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が5.4%（37人中2人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が27.0%、「利用の必要がない」が46.3%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が10.4%、「利用量を増やしたい」が0.5%となっています。

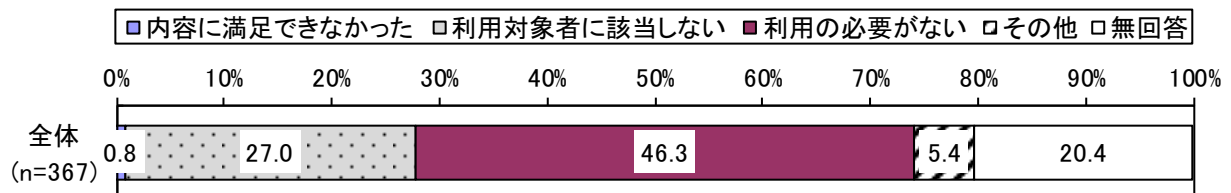
（1）現在の利用状況



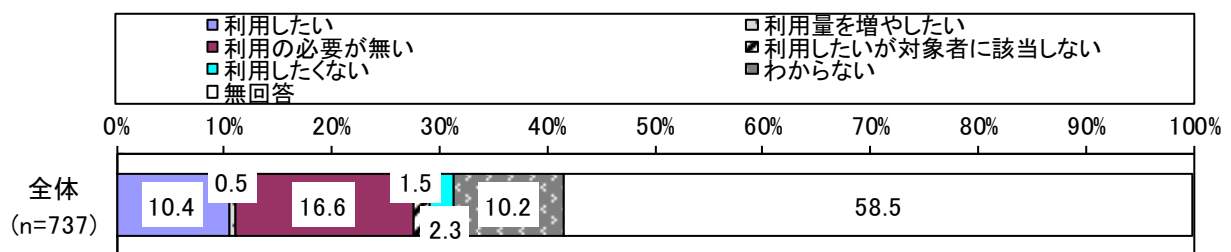
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



（4）今後利用したいか



⑫共同生活援助（グループホーム）

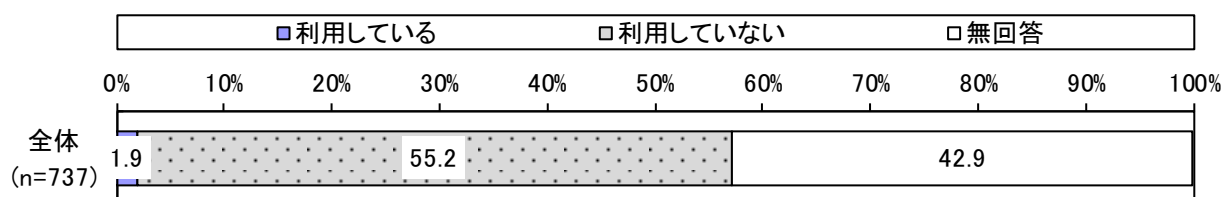
○現在の利用状況は、「利用している」が1.9%、「利用していない」が55.2%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が71.4%（14人中10人）となっています。

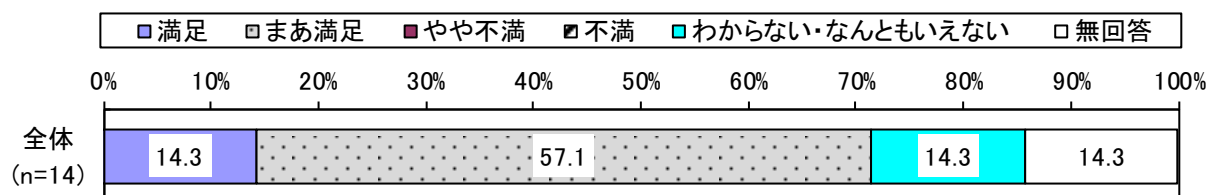
○現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.7%、「利用対象者に該当しない」が27.5%、「利用の必要がない」が48.6%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が9.2%、「利用量を増やしたい」が0.1%となっています。

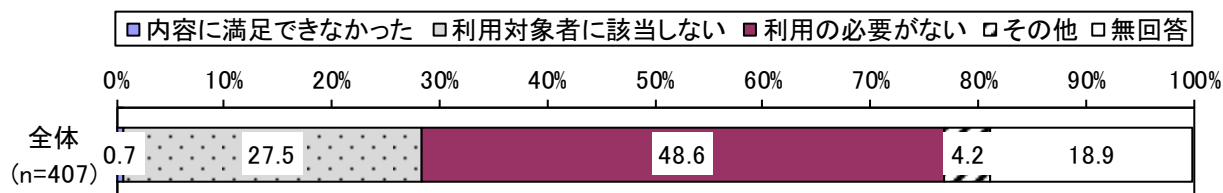
（1）現在の利用状況



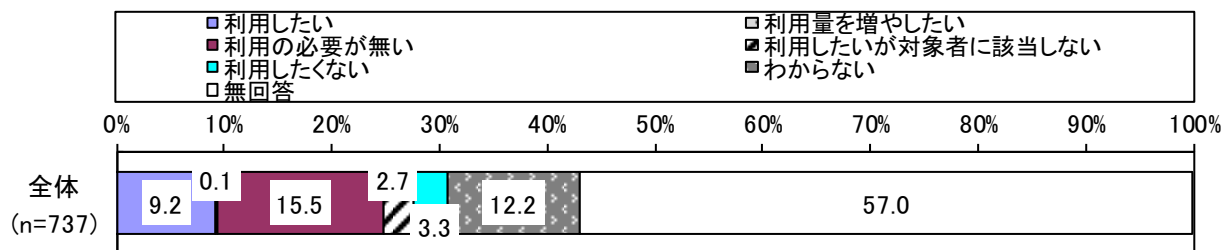
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



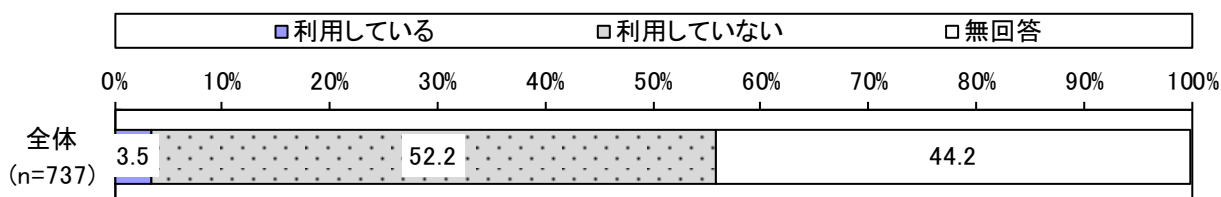
（4）今後利用したいか



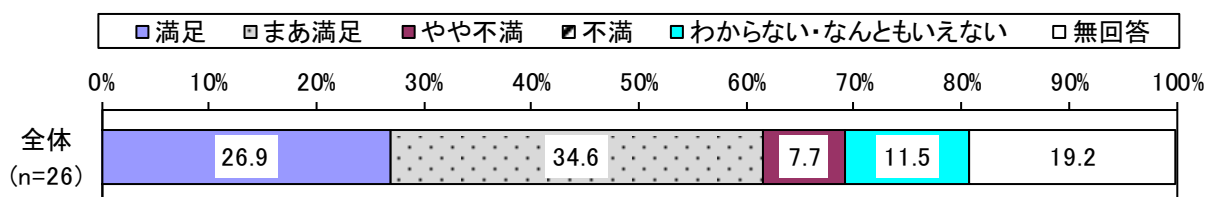
⑬施設入所支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が2.9%、「利用していない」が51.4%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が72.8%（22人中16人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が9.0%（22人中2人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が27.0%、「利用の必要がない」が51.2%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が5.0%となっています。

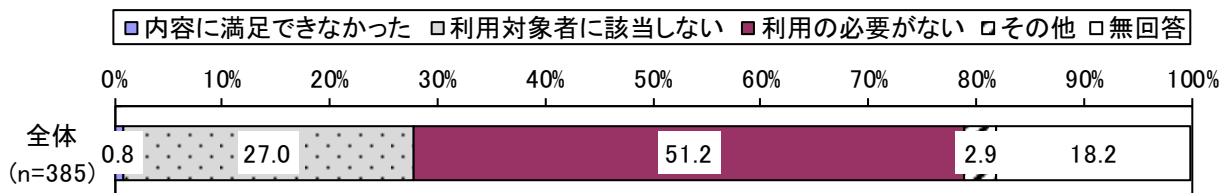
(1) 現在の利用状況



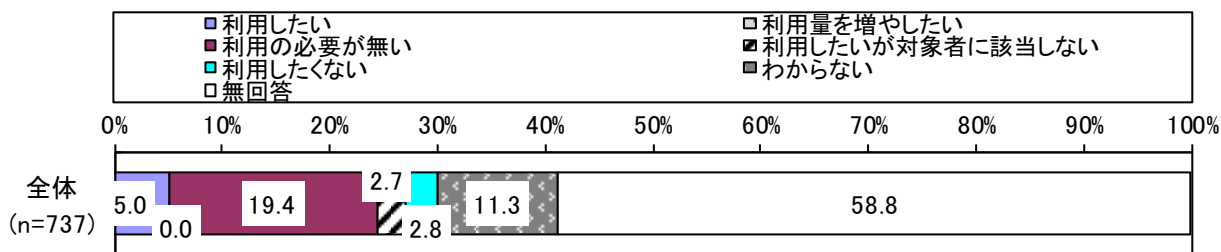
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



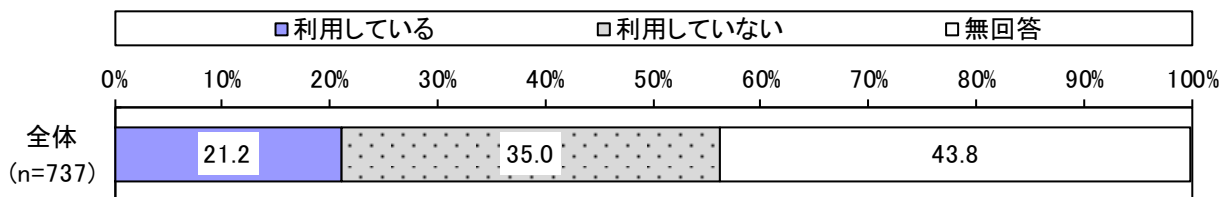
(4) 今後利用したいか



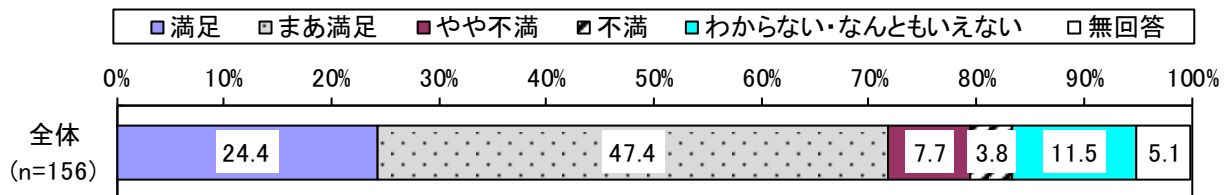
⑭相談支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が21.2%、「利用していない」が35.0%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が71.8%（156人中112人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が11.5%（156人中18人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が1.6%、「利用対象者に該当しない」が23.3%、「利用の必要がない」が43.4%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が19.3%、「利用量を増やしたい」が1.2%となっています。

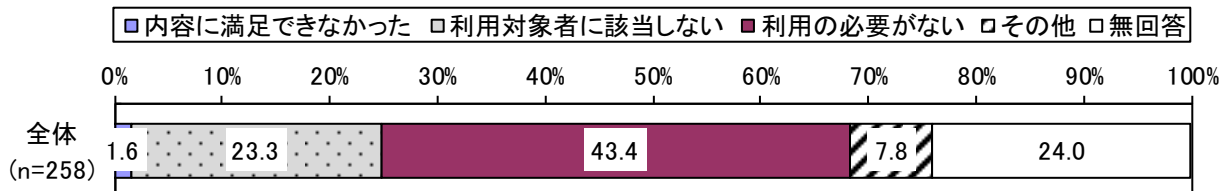
(1) 現在の利用状況



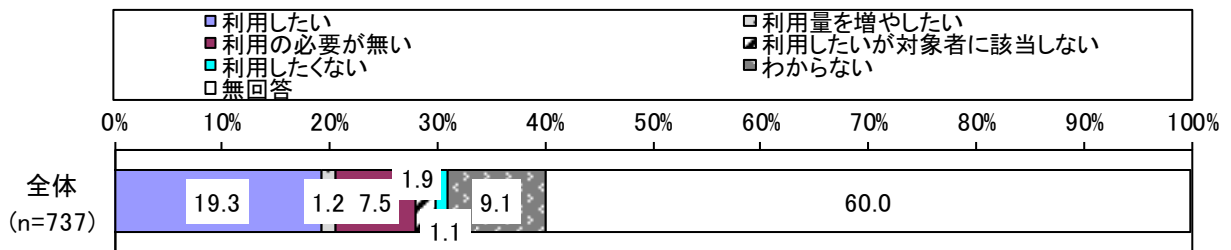
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



(4) 今後利用したいか



⑮児童発達支援

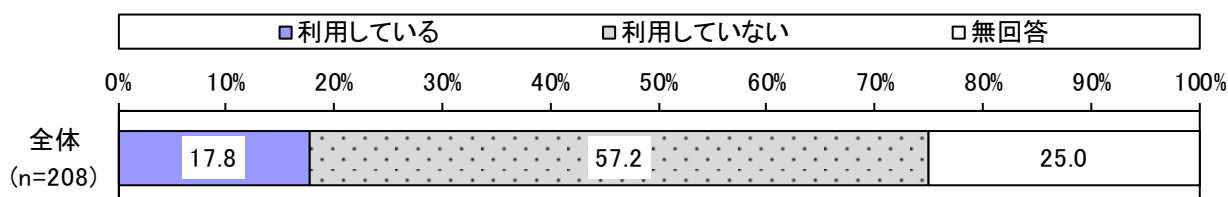
○17歳以下の現在の利用状況は、「利用している」が17.8%、「利用していない」が57.2%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が83.7%（37人中31人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が8.1%（37人中3人）となっています。

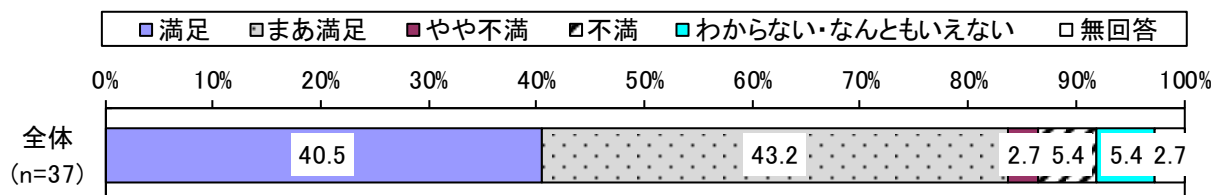
○現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が29.4%、「利用の必要がない」が36.1%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が18.8%、「利用量を増やしたい」が0.5%となっています。

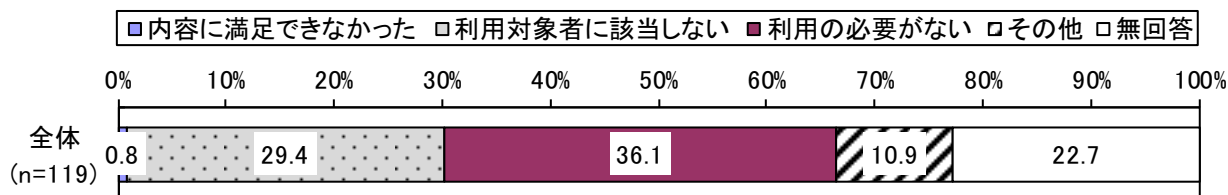
（1）現在の利用状況



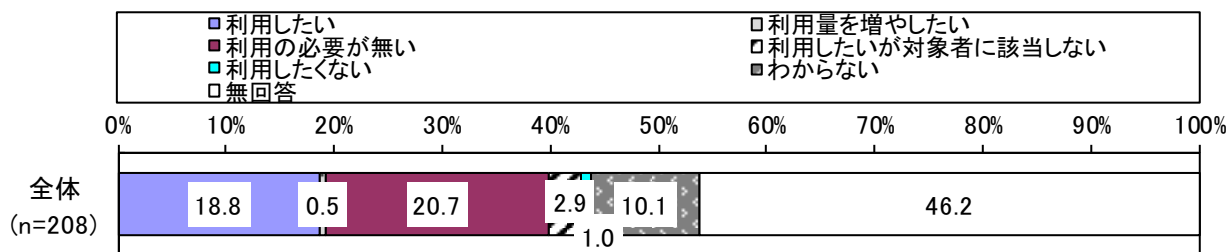
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



（4）今後利用したいか



⑩放課後等デイサービス

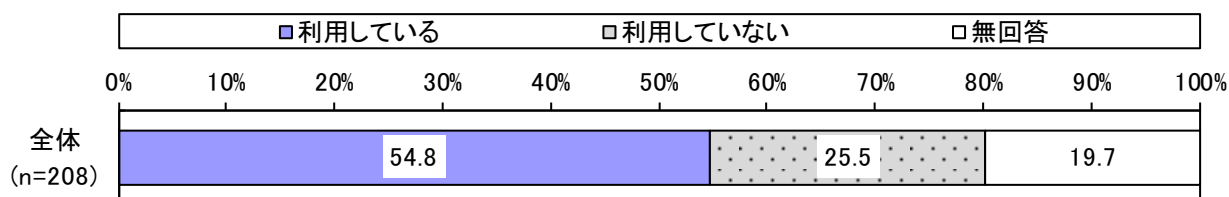
○17歳以下の現在の利用状況は、「利用している」が54.8%、「利用していない」が25.5%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が95.6%（114人中109人）、「やや不満」が0.9%（114人中1人）となっています。

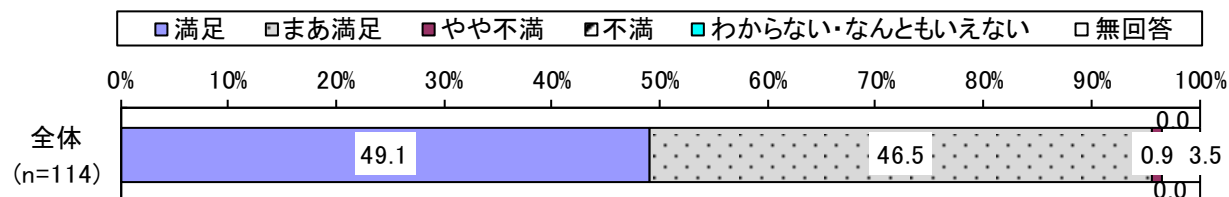
○現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が37.7%、「利用の必要がない」が34.0%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が39.4%、「利用量を増やしたい」が4.3%となっています。

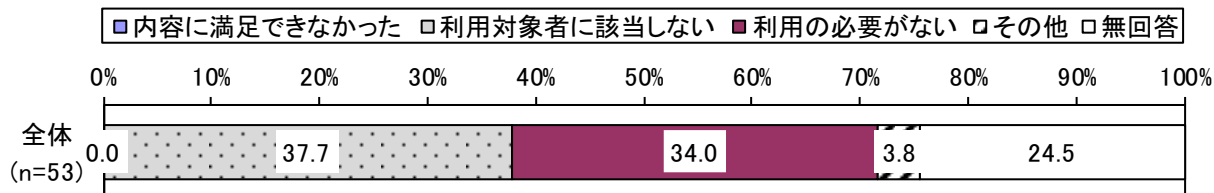
（1）現在の利用状況



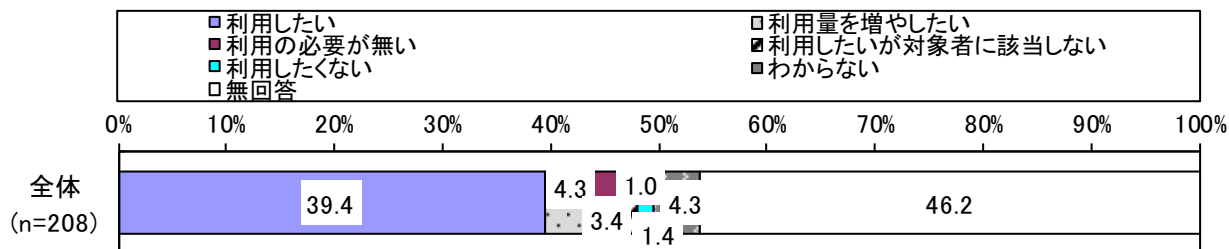
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



（4）今後利用したいか



⑰保育所等訪問支援

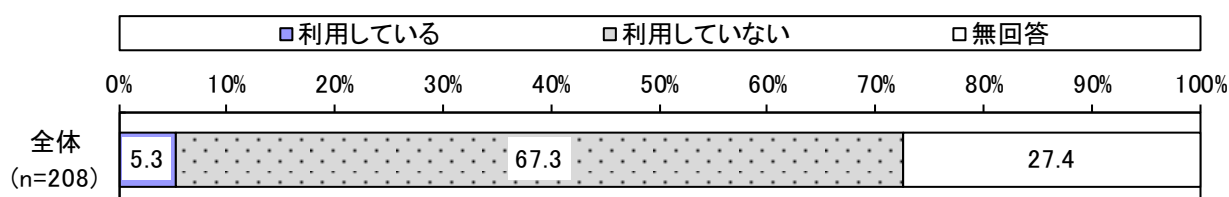
○17歳以下の現在の利用状況は、「利用している」が5.3%、「利用していない」が67.3%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が81.8%（11人中9人）となっています。

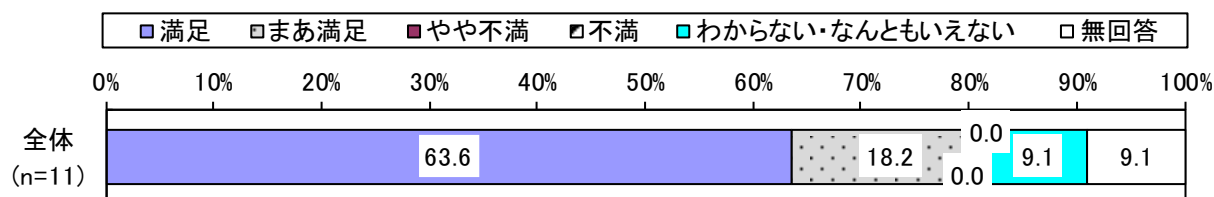
○現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が1.4%、「利用対象者に該当しない」が34.3%、「利用の必要がない」が37.1%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が8.7%、「利用量を増やしたい」が1.9%となっています。

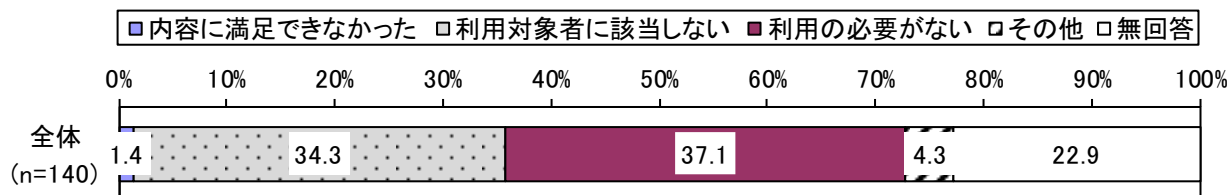
(1) 現在の利用状況



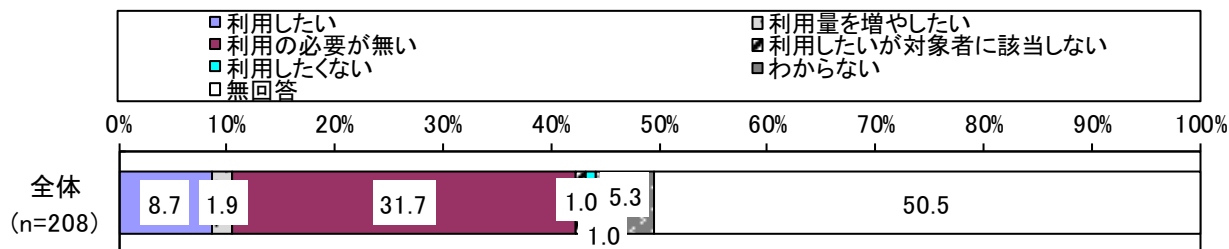
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



(4) 今後利用したいか



⑱医療型児童発達支援

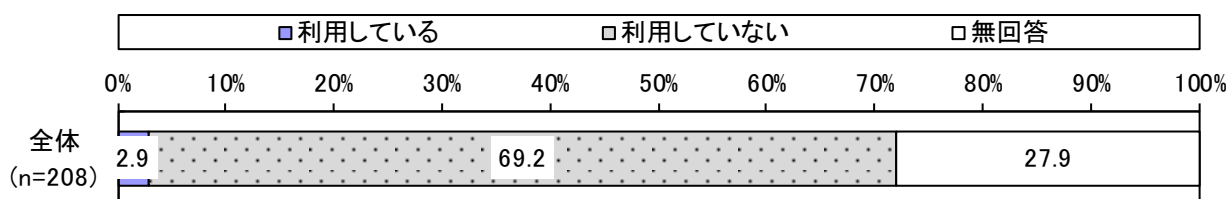
○17歳以下の現在の利用状況は、「利用している」が2.9%、「利用していない」が69.2%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が83.3%（6人中5人）、「やや不満」が16.7%（6人中1人）となっています。

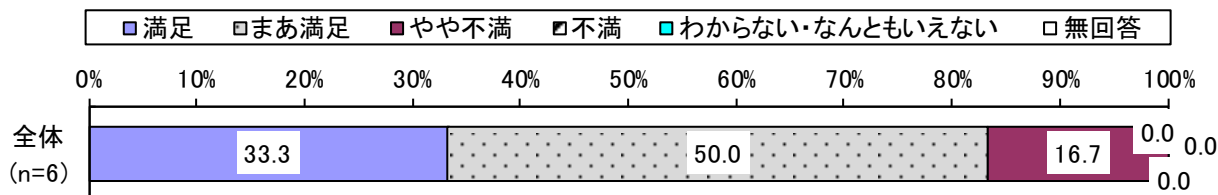
○現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が1.4%、「利用対象者に該当しない」が27.1%、「利用の必要がない」が43.1%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が10.6%、「利用量を増やしたい」が1.0%となっています。

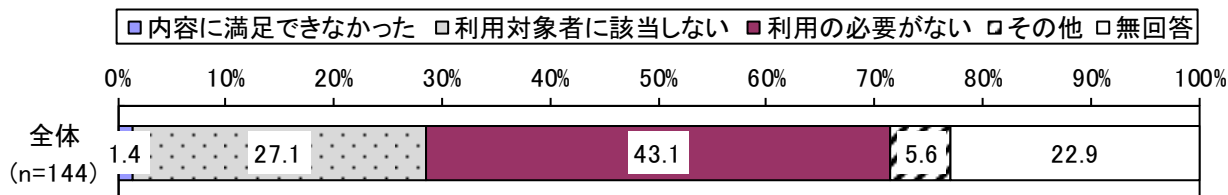
(1) 現在の利用状況



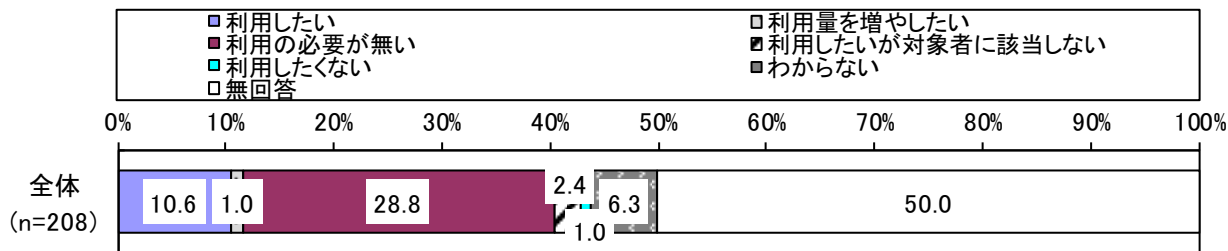
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



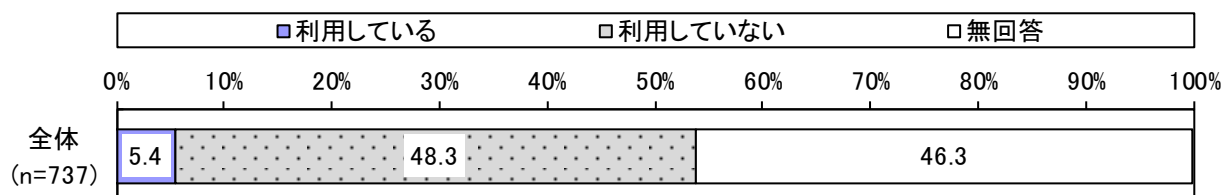
(4) 今後利用したいか



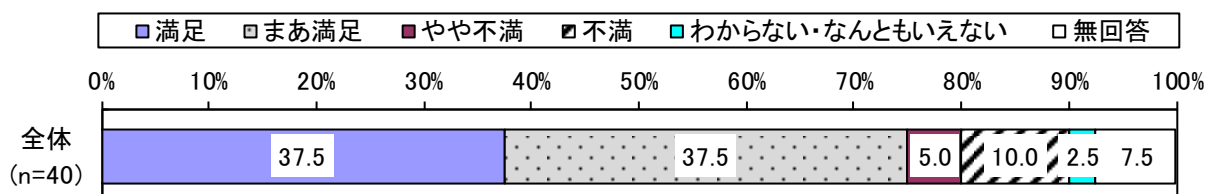
⑨移動支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が5.4%、「利用していない」が48.3%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が75.0%（40人中30人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が15.0%（40人中6人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が26.7%、「利用の必要がない」が48.6%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が8.1%、「利用量を増やしたい」が0.5%となっています。

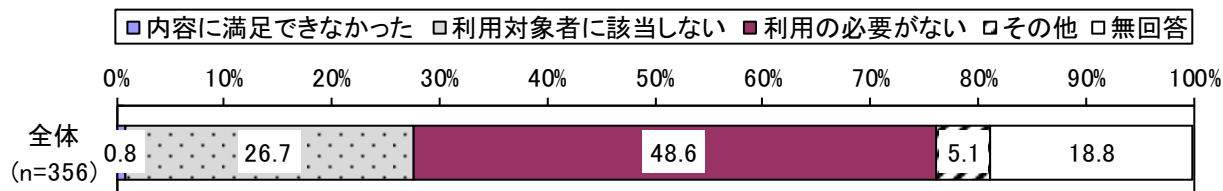
(1) 現在の利用状況



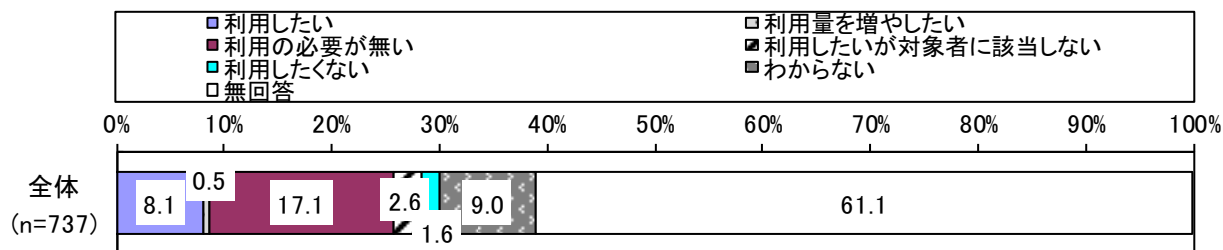
(2) サービスの満足度



(3) 現在利用していない理由



(4) 今後利用したいか



⑳地域活動支援センター

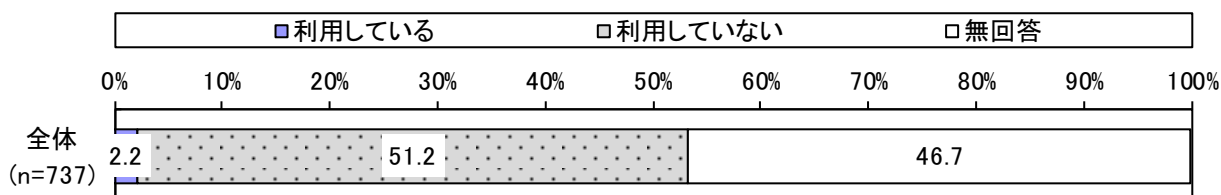
○現在の利用状況は、「利用している」が2.2%、「利用していない」が51.2%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が93.8%（16人中15人）となっています。

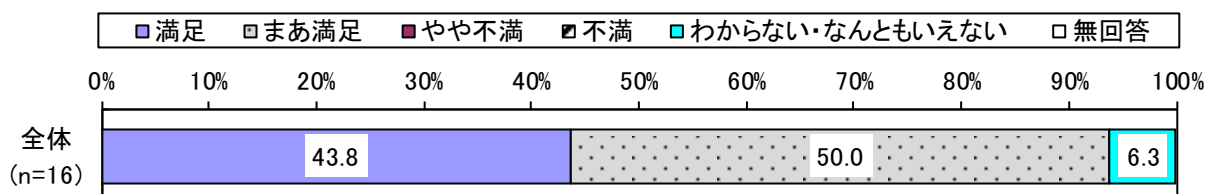
○現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が1.6%、「利用対象者に該当しない」が21.0%、「利用の必要がない」が45.6%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が8.4%、「利用量を増やしたい」が0.3%となっています。

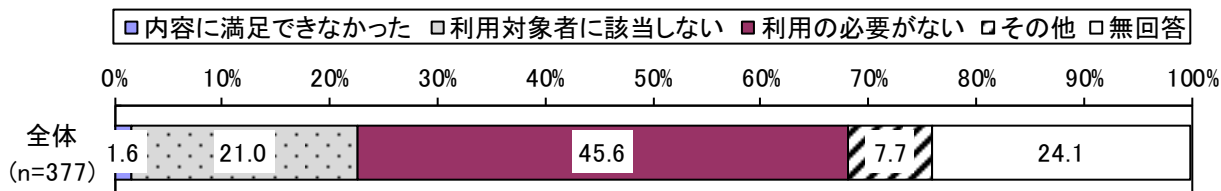
（1）現在の利用状況



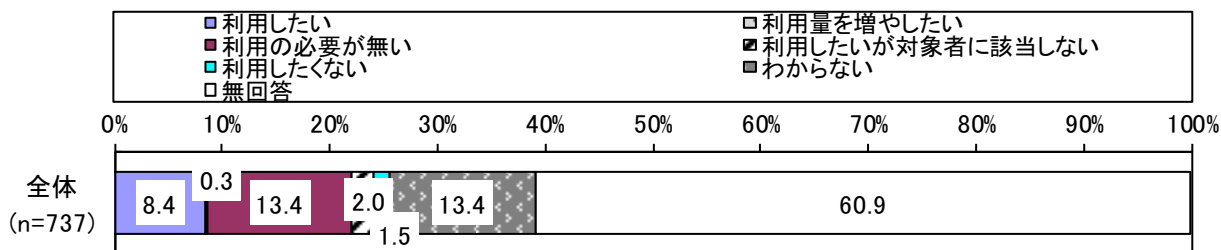
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



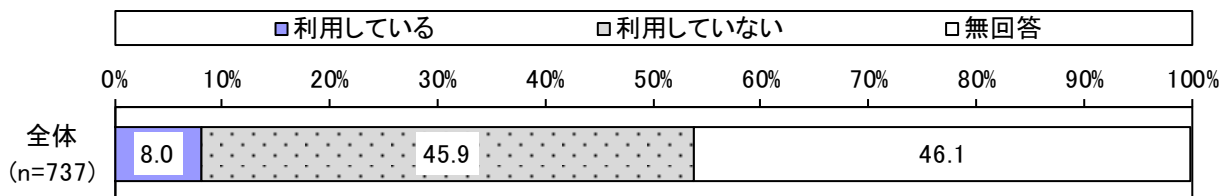
（4）今後利用したいか



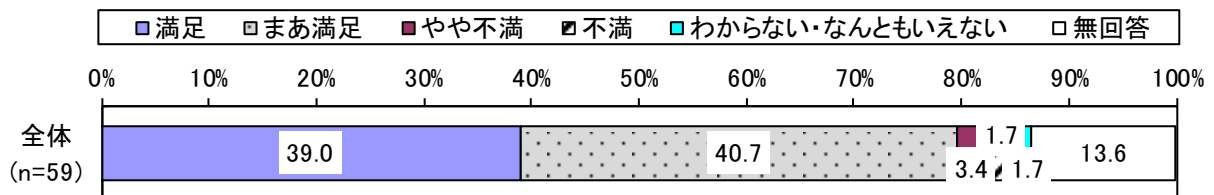
②日中一時支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が8.0%、「利用していない」が45.9%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が79.7%（59人中47人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が5.1%（59人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が2.1%、「利用対象者に該当しない」が24.0%、「利用の必要がない」が48.8%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が11.0%、「利用量を増やしたい」が1.2%となっています。

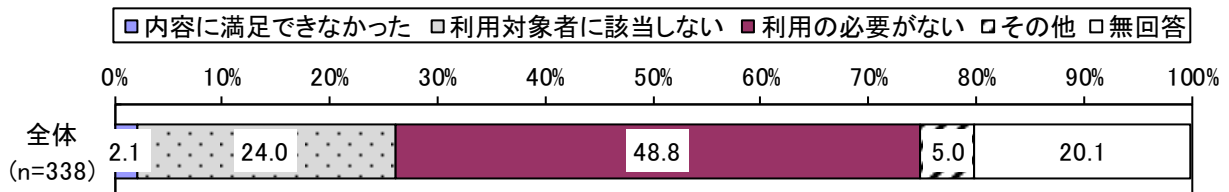
（１）現在の利用状況



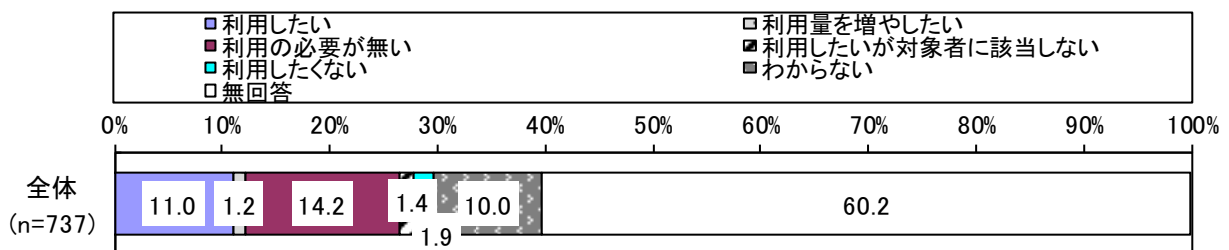
（２）サービスの満足度



（３）現在利用していない理由



（４）今後利用したいか



⑫意思疎通支援

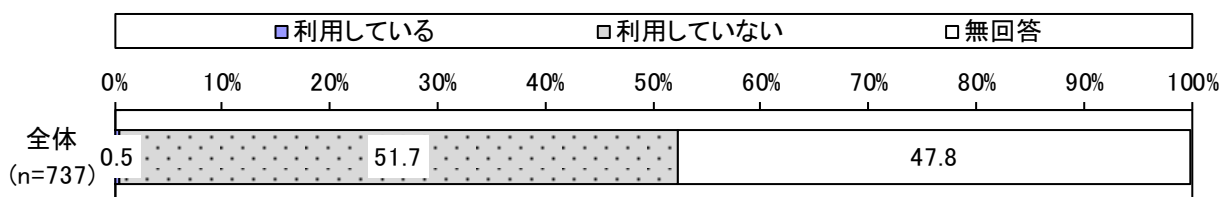
○現在の利用状況は、「利用している」が0.5%、「利用していない」が51.7%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が100%（4人中4人）となっています。

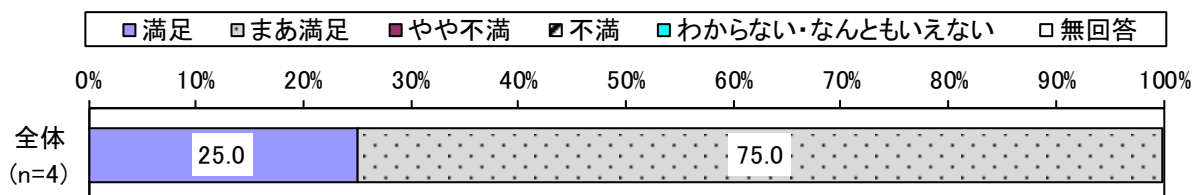
○現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.3%、「利用対象者に該当しない」が32.5%、「利用の必要がない」が44.6%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が2.3%、「利用量を増やしたい」が0.4%となっています。

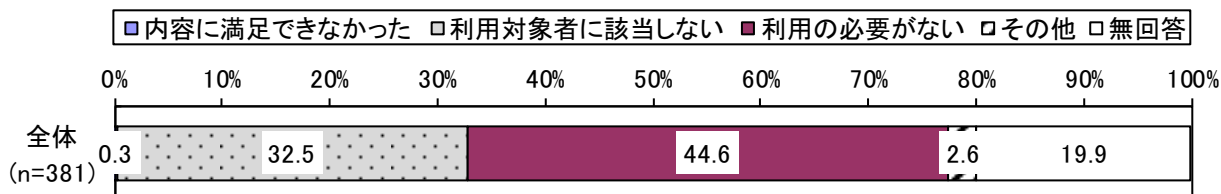
（1）現在の利用状況



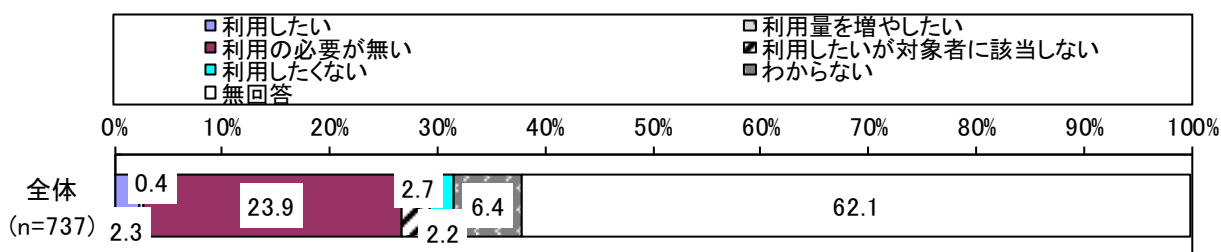
（2）サービスの満足度



（3）現在利用していない理由



（4）今後利用したいか



⑬ 居宅訪問型児童発達支援

○今後の利用意向は、「利用したい」が1.9%、「利用量を増やしたい」が0.5%、「利用の必要がない」が14.9%、「利用したいが対象者に該当しない」が1.9%、「利用したくない」が0.5%、「わからない」が3.4%となっています。

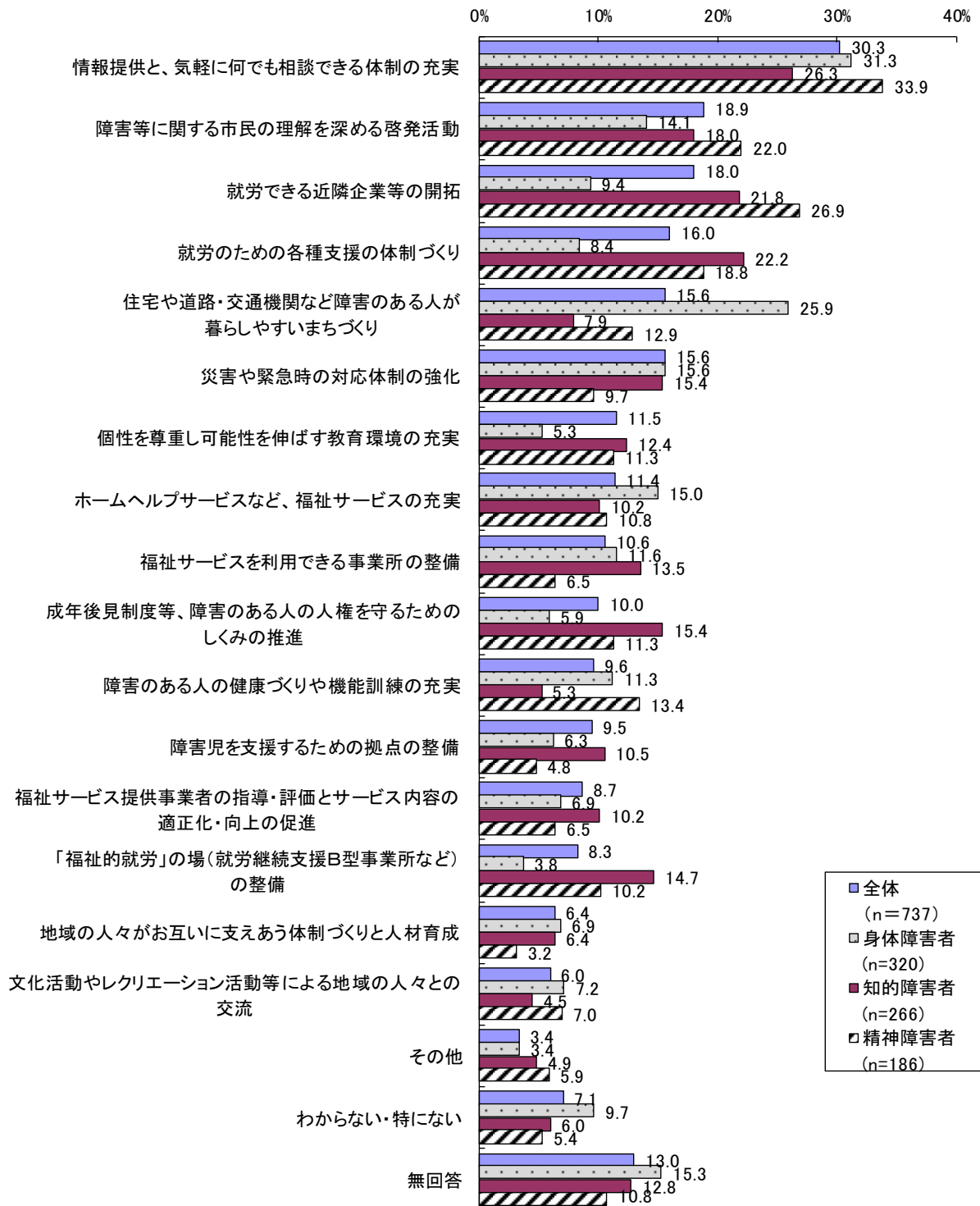
(4) 今後利用したいか



10 市の施策について

問 45 入間市で暮らしていくうえで、市にこれから特にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

- 全体では、「情報提供と、気軽に何でも相談できる体制の充実」が 30.3%と 3割で最も高く、次いで「障害等に関する市民の理解を深める啓発活動」が 18.9%、「就労できる近隣企業等の開拓」が 18.0%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「住宅や道路・交通機関など障害のある人が暮らしやすいまちづくり」や「ホームヘルプサービスなど、福祉サービスの充実」の割合が他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「就労のための各種支援の体制づくり」「成年後見制度等、障害のある人の人権を守るためのしくみの推進」「障害児を支援するための拠点の整備」「福祉サービス提供事業者の指導・評価とサービス内容の適正化・向上の促進」「福祉的就労」の場（就労継続支援B型事業所など）の整備」の割合が他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では「障害等に関する市民の理解を深める啓発活動」「就労できる近隣企業等の開拓」「就労できる近隣企業等の開拓」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。



11 自由回答

○自由回答は以下の通りになります。

◆身体障害者（知的・精神含む）

- ・電動車イスで行動出来るまで回復してきましたが、仏子ニュータウンから仏子駅までの道が狭く通れない。市内の病院を利用していたが、介助者がいないと通院が限られてしまっている。要介護、要支援、障害者関係なくB型作業所のような所があると生きがいになると思う。
- ・いつも福祉ご担当の方々には大変お世話になっておりありがとうございます。大変なお仕事で気持ちの面でもご自身が支えてほしいと思うほど辛い事もあるのではないのでしょうか。障害のある方の話をよく聞いてあげる、気持ちを寄り添っていただけるだけで私たちは救われます。これからもよろしく願いいたします。
- ・質問の内容がよくわからなくおかしな回答になっているかも。
- ・様々なサービスがあるのはわかりますが、手続きとか急に必要になった時とかすぐに利用出来ない等、使いづらい印象を持っています。必要な時に早急に使えるといいと思います。
- ・小学校、保育所は現在のものを残して下さい。
- ・高齢者にももっと温かい行政をお願いします。
- ・問44は内容をもっと区別すべきで理解出来ない。
- ・私は現在のところ自活可能ですが、ストマ装着で生活するにはパウチ以外にもガーゼやリムーバー、潤滑油等多額な費用がかかります。給付額のアップがあると助かります。友人の中には女子の就労、社会参加の機会が少なくなって困っている方が多いです。ぜひその充実をお願いします。
- ・今回のアンケート調査は、障害者とは言え私は産業災害による左親指欠損なのであまり該当はしないです。
- ・成年後見制度は、いざやろうとすると様々な事をクリアしないといけないので、中々簡単には実行出来ない。やるべき時にもう遅かったりして条件が備わっていてもまわりの協力をだいたいするので、現実的ではない法律だと思う。もっと簡単にスムーズに制度が活用出来るよう改善してほしい。
- ・書面ではなく訪問して聞き取り調査をすることによって、生の実態がわかるのではないか、数字的に難しければ段階を追って。
- ・歩道の状態が悪く車イスの移動が困難
- ・身体障害者手帳を持っている人で成人と学生、児童を含む区分けした質問内容にしてもらいたかった
- ・生活保護を受けている人間が年金者より生活が豊かなのがおかしい。不正受給者を厳しくして下さい。生活保護の認定も厳しくして不正者は取り消して下さい。
- ・入間市コミュニティバスの路線についてお願いします。東金子の上小谷田地区から博物館に行く場合、自家用車以外では行くことが出来ない。西武バスで行っても裏門につくため階段を上っていかなくてはならない。入間駅より博物館行きのコースがありますが、工業団地コースのバスを正門につくようにならないのでしょうか。考えて下さい。私は今博物館でボランティアに毎日参加しています。

- ・このアンケートは何のためにやっているのですか？やるからにはそれなりの結果を知らせてほしいです。
- ・自動車燃料費助成で、ガソリンの場合、10 当たりの支援係数が 55 円となっているが、いつ頃制定されたのかは分からないが、500 が限度であれば、昨今のガソリン単価を考えると、係数 55 円の見直しを行っても良いのではないかと思います。
- ・災害時の避難等について、現在では実際になかったので油断されていると思います。具体的に情報を市報等あらゆる方法で市民に伝えて、防災認識を知らせていただきたい。ありきたりの防災訓練では人は集まって来ないと思います。例えば大地震が来たらどうするのか、水害や大火災等どうするか等（従来の初期消火等はわかっているので人は集まらない。）
- ・自分が障害者になって考えたことですが、健康な方々とよくコミュニケーションをとる機会をもっと作って頂き、障がい者が気軽に参加できるチャンスを作っていただきたい。なお大切なことは障がい者が勉強して自分の立場を理解しなければいけないと思います。税金がきびしいので…。
- ・台風、大雨の時等に見廻りに来てくれていますけど、心強い限りです。回りに 1 人暮らしのお年寄りもいます。見廻りをこまめにお願いします。
- ・音の出る信号機を増やしてほしい。
- ・バスが土日、祭日、休みとなるのが辛いです。（平日でも狭山→飯能間は二便です）西武バスだから仕方ないですね。
- ・問 4 4 の回答の仕方が難しい。94 才のペースメーカー装着者に就業や児童の事を聞かれても困ります。返送用封筒が小さすぎる。A4 用を 2 枚折したものがいいのでは。
- ・私の生活環境に対して、医療費免除に感謝しています・
- ・いつもお世話になっております。これからもよろしくお願いします。
- ・H30 視覚障害 2 級手帳をいただきました。（現在 70 才）ありがたいです。他の医療内科、歯科などなど医療費の負担が大きいため、他の医療内科歯科等の医療費の支援を受けられる手掛かりはありませんか？不躰な意見でごめんなさい。
- ・今後の状況によって障害福祉サービスを必要に応じて利用させていただきたいと思っています。
- ・このようなアンケート調査の回答方法として、パソコンなどが使えると助かります。13 ページからの質問と回答欄が分かりづらく、回答を記入しにくい。とても時間がかかり面倒だった。なので正確に回答できていない場合はお許しください。
- ・入間市は福祉の面で充実していると思います。
- ・住みよい環境、障がい者が安心して暮らせるように。
- ・地域差の修正や見直しや更新。内容の充実とスピードに差をつけても良いから、良い所はすぐに取り入れる柔軟さをお願いします。よろしくお願いします。頑張ってください。
- ・難病指定を受けている障害者にはもっと手厚い支援サービスがあってもいいと思います。
- ・バス電車にのり降りする為にシルバーカーをころがしているのそばにいる人が手助けして有難いです。
- ・手話を覚えたいので、手話が載っている本を増やして欲しいです。
- ・重度障害者でないため、就労も希望しているが、高齢者、障害者の仕事がまったくない。3K のルーチン仕事以外、希望者が多くてハードルが高い。（女性は若干あるが、男性はまったくない）
- ・病状の進行で今の仕事が出来なくなったときに新しい仕事の紹介をしてもらえると助かります。

- ・道がせまかったり、ガタガタだったり階段あったりで、外出がおっくうにならずに悩まない日がいつかきたらいいなあと思いました。リハビリや訓練できる場所がほしいです。
- ・以前狭山市に住んでいましたが、入間市は歩道がせまく歩きにくいです。何とかありませんか？
- ・どこでもコミュニケーションが出来る世の中になってほしい。
- ・障害児（者）に対しての手当てやサービスの情報提供は一切なく、全て自身や介助者が調べて申請を行っていますが、自治体より情報提供を行っていただきたいです。
- ・入間市障害者福祉プランの策定に向けた行政サイドにとって貴重なアンケートであるが、障害者および介助者にとって理解しがたい専門用語や難解な文章の問いかけ、そして質問量の多さ、高等教育を受けた健常者でも閉口するものでした。改善を求めます。今後に期待します。
- ・地域での生活を勧めている割に、介護人さんが少ない。介護人さんのローテーションができれば入所する必要はなかった。本人も地域で生活することを願っていました。介護人さんを増やし、訓練し、待遇を良くして頂けるよう希望します。
- ・歩道をきれいにしてほしい。
- ・在日にではなく、日本人の為の手厚いサポートをお願いします。
- ・障害児（者）の家族（特に母親）の就労が保証されていない。健常の子供たちと同じ権利が保障された社会であってほしい。同じように過ごそうとすると〇〇ができない、△△ができない、人が足りないと排除 or 親が付き添うをあたり前のこととする日本の社会通念はおかしいし、その前例に社会（行政）が甘えている状態だと思う。また障害があるから〇〇できない、〇〇しなくてよいと、学びや経験の機会も与えられない。経験や学びが不足するので本人もいつまでたってもできない。この負のスパイラルを断ち切るには、みんなに公平に公正に平等に同じ物差しで機会（チャンス）を与えて欲しい。そうすべきである。
- ・人生100年時代、皆思っていることは、あの世へ行く前日まで自力で自由に楽しく生活したい事です。しかしこればかりはわかりません。不安で一杯です。どうにもならなくなったら市役所へ行って助けを求めることとなります。よろしく。
- ・同行援護、移動援護を利用していますが、移動手段に生活サポート、タクシー、ヘルパー等の利用に関してわからないこと、不満に思うことがあります。
- ・問44は質問自体が分かりづらかった。私は車椅子なので、博物館（アリット）へシャトルバスで行けなくなった。路線バスではアプローチが難しい。利用者が少ないのはわかるが…。日曜の移動ができなくなったり、私の大きな楽しみを奪われた。
- ・締め切り過ぎてしまい申し訳ありませんでした。
- ・全て中身がしっかりとしたサービス、支援をしてほしい。
- ・アレルギーがあるため中々預け先がなく、生活サポートで1対1で見てもらう事が多いですが、サポート券がすぐに終わってしまいます。サポート券を増やすまたは預け先が増えるといいです。田中市長様へ、元気キッズが民間委託になりショックです。通っている時は委託に賛成でした。しかしキッズを出てみるとそのままでもいいと言ってもらえる場所はありません。発達を伸ばす、ここばかりフォーカスしてしまうのはとても残念な気がします。特に重度の障害の子どもほどそう思います。元気キッズは心のよりどころでした。アンケートは答えましたのでお伝え下さい。後日確認させてください。
- ・事業所はあるが人手不足で利用したくても利用出来ないことが多い。サービスもどう利用したら

いいのかわからないことが多い。利用しないのではなく、利用したくても利用出来ないことが多いので何とかならないでしょうか。

- ・ヘルパーさんなどの事業所ですが、責任者が不在のままで対処していて怖いです。慣れているところを変更したくはないのですが、ヘルパーも手が足りないのと、はじめての人ばかりです。行政の指導はないのでしょうか。
- ・入間市内に子供で医療的ケアの子が行けるデイがなくて困ります。デイや日中一時など多くあっても、ケアの子は行けません。もっと充実を。平等を。
- ・いつもありがとうございます。感謝しています。
- ・質問の内容がわかりにくい。もう少しわかりやすい内容をお願いします。
- ・障害児も安心して利用できる公園、児童館を作ってください。交流できる場、イベントももっと増えると良いですね。
- ・入間市は医療的ケア児、者のサービスを受ける場が少なすぎる。この市の住民において利用できる物、場ができた場合、知る権利あると思います。介護に追われ、自ら調べる事出来ません。利用するしないは関係なく知らせて欲しい。「聞かないと教えてもらえないということでは困ります。聞く事が出来る余裕ないのだから」
- ・家族への支援も必要かと思えます。なかなか同じ境遇の人がいないので、思い悩んでいる人が数多くいると思います。このようなアンケートをとっていただきありがとうございます。声が実際に届くのでとてもありがたいです。学校教育で「幼保（→入所できませんでした）小連携」という言葉があります。そこに入れな子供はとても疎外感を感じます。言葉に配慮して頂けるとありがたいです。大学病院等、大きい病院を開設してほしいです。（療育も含む）現状では他市に行くしかありません。
- ・本人が発病した時に地域包括支援センターの方が素早く対応してくれました。感謝しております。
- ・年をとるたびに先々が色々な意味で不安です。死んだらどうなるのだろうか、生きていたいけど考えるほど苦しくてたまりません。これがいい思い出と思ったり言える出来事は何もなかったです。
- ・一般人は障害者に対する理解度がまだ低い。今障害者のこととしては、パラリンピックメダルをとる人のことをニュースにしている、障害者側の立場に立って見る目がない。または見る目を育てようとする動きが見られないのではないかと思います。国、行政等がリーダーとなって国民教育に今以上に力を入れて下さい。
- ・アンケートを返信する封筒が小さすぎます。
- ・現在私は障害年金を受けています。もう少し増額してほしいです。作業所の工賃を上げて欲しい。
- ・電車の運賃も半額になったら（交通費）うれしいです。（バスだけではなくて）
- ・就労継続支援A型をもっと増やして頂けるとありがたいです。
- ・封筒が少し小さいです。
- ・療育手帳の年金を上げて下さい。Bの2は生活が苦しい人が多いです。
- ・親と一緒に時は良いが、一人になった時、いろいろな施設に入れてもらうようになると思います。
- ・現状で満足しています。
- ・現在は親が面倒を見ていますが、将来年老いて世話ができなくなった時が不安です。

◆知的障害者（精神含む）

- ・大樹の里のような泊まることの出来る施設を増やしていただきたい
- ・本人が自分の言葉で話すことが出来ません。グループホームと施設の間くらいの住むところがほしいです。本人の下に妹がいますが、アスペルガーと発達障がいのため親亡き後2人が心配です。
- ・障害は様々で個々に対応するのは難しいかもしれませんが、可能性を見いだしてたくさんのチャンスと選択肢を与えてあげることが出来たらいいと思います。この声が届くのであれば幸いです。
- ・障がい児も家族も生きにくい世の中に変わりありません。哀れんだりしないでもっと知って理解してほしいと望んでいます。
- ・障害者の入所施設に入所しているため親亡き後が心配です。
- ・情報提供は本当はない。入間市に繋がってもその先がない。自分から動いて探さないと本当に何も情報がない。すすすすへ行って安心したらそのまま終了。次が何もなかった。このまま何も教えてもらえなかった。自分で動いて茶おちゃお、病院と繋がれた。本当に危なかったと思う。放課後デイサービスも調べて探した。不安が多い中行動力のある親でなければ動けないと思う。就労も親が探すと聞いています。一人で動くには情報のない中探すのは本当に大変な事で、せめて詳しい人が一緒に探してくれたり、どこかに情報がまとまっているとそこから探しやすいので助かります。コーディネーターのようなものがあれば。学校も放課後デイサービスもオープンではないので、子どもがどういう様子なのか、どういう対応をしているのか不明。親とイコールで繋げてくれる場もほしい。それが相談員だとしたら全然だめ。大変かもしれないが1人にしっかりついてほしい。本当に不安が多い。
- ・災害時の福祉避難所の場所の提示を明確にしてほしい。地域の避難所に行ってから指示を受けるのでは遅すぎる。障害児が住んでいるところをわかっているなら前もって決めて知らせてもらいたい。たらい回しにされるのだけはごめんだ。
- ・両親が亡くなったら心配です
- ・それぞれの学校により支援学級に格差があり、地域によって子どもの成長に違いが生まれてしまうことに不安、不満です。
- ・中学校の支援級を増やしてほしい。通学範囲の見直し。
- ・アンケート結果の発表とそれに対しての施策、指針等をアンケートに答えた人たちがアンケート記憶があるうちにお知らせしていただきたいと思います。1年後では何の意味もなしません。
- ・全体的に足りない。全てにおいて。
- ・うちの子どもは、上の子の学校内での行動に疑問を持った先生の助言により教育研究所にて検査の結果、下の子が支援学級が必要となりました。もっと早くわかっていたらと何度思ったことでしょうか。自分の子どもは・・・と皆さん思っているらしいです。少しでも子どもの行動が不安になった時、相談出来る場所が必要です。ウイスクは不安になる原因ではなく不安を取りさるための機関であってほしいです。
- ・作業所のお給料をもう少し上げていただきたいです。年金も今のままでは足りないです。
- ・作業所でのお給料が安すぎる。グループホームが少なすぎて入るのに大変。自立出来ない。
- ・いつもありがとうございます。今後もどうぞよろしくお願い致します。
- ・親子ともに年齢を重ねてきて、現在緊急時にどこへ預けられるかととても心配しています。グループホーム、入所施設は空きを待っているような状況だと聞いています。

- ・設問の仕方がわかりづらい。本人より保護者の方が疲れているので、保護者目線、立場のアンケートも考えてはいかがと思います。
- ・ありがとうございました
- ・近隣企業ではなく、行政関係の施設に発達障害者の働く機会を与える努力をしてほしい。市役所自ら共生の理念を体現すべきでありながら、その責任を全く全うしていない。逆にそういう人々から距離を置こうとしている。私の娘は情緒面で難しいこともあるが、記憶力が非常に高く、また整理整頓が得意。図書館で本の整理、管理などその子に合う形で働き方や作業を与えていただくような柔軟な発想で、本当に共生とは何かを行政自ら示してほしいです。
- ・息子は文字を書くのが苦手なタブレットの方が使いやすい。文字も大きくなるので。黒板の文字も写真にとったらノートに保存できる。市や学校がタブレットを使用した方が、これからの子ども達はいいと考えています。文字を書くのが苦手でも文字が読める子どもも多いと思います。
- ・障害者・児の方が入間市で余暇活動が出来るようにしてほしい。一つのことを長い間興味を持って楽しめることが出来たらいいと思います。子ども達が同じ仲間と活動出来るので楽しめると話していると聞きました。入間市の障害の方々も笑顔で楽しめる場所を作っていただきたいと思います。お願いします。
- ・まだ未就学児なのでわからないこともたくさんあります。これからの成長の中で利用する制度も増えると思いますので、充実したサービスが受けられるようになることを願います。
- ・全員に万能は難しいと思います。まずは市内にどのような方々が住んでいるのかをしっかりと把握していただきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。
- ・出来れば避難所に障がい者用スペースを設置して頂きたいです。救済物資の配布も番号札のような形でお願いしたいです。
- ・いつもご支援ありがとうございます。これからもよろしく申し上げます。
- ・茶の花の作業所以外にも職場を増やして欲しいです。
- ・小学校の支援学級児童8人に教師1人という割合ですが、個性の強い子供達が多い支援級では、1人では絶対に対応できません！教師もしくは支援員の迅速な増員をお願い致します。教育センターに足を運んで相談しても、何も解決してもらえませんでした。
- ・問45は○は全部でしょう。
- ・障害者に関わる全ての職員の専門性を上げて欲しい。
- ・移動支援の事業所が少なく利用できなくなってます。せっかくチケットを持っても使えない状態です。子どもの支援は手厚いのに、平日就労している子にとって休日支援がありがたいのに、使えないで困ってます。
- ・本人には理解できない質問が多いので、本人だけでなく支援者の意見も取り入れる機会があると良いと思いました。サービスの利用状況にある”今後”がどのくらいまで先の今後なのかがよくわからなかったです。
- ・生まれてこのかた22年、日本の障害者支援の目覚ましい発展は2000年代～2010年代にかけて大きく成長し、昔にくらべて世間からの理解も得られる様になり、障害者の人たちが過ごしやすい世の中になりつつあると個人的に感じています。2020年代も障害者にやさしい国になってくれる事をいち障害者として切に願います。
- ・入間市は以前に比べて福祉に力を入れているとは思いますが、まだまだ先の事を考えると不安で

いっぱいです。障がいのある大人から子供、そしてその家族が入間市に居ればずっと笑顔で暮らせる町づくりを願っています。力になれる事があれば積極的に参加していきたいです。

- ・施設入所を増やしてほしい
- ・障害のある子を育てるのは、終わることのない育児を続けることです。でもいろいろと補助を受けることのありがたさを感じています。ありがとうございました。
- ・いつもありがとうございます。感謝しています。様々な面で支援して頂いてありがとうございます。これからももっともっとグループホーム、施設等を増やしてほしいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。
- ・自分や家族が調べないと知らない事がたくさんあるので情報をもっと表に出してほしい。
- ・まだ小学生なので、進学、就労など不安な事があります。
- ・親の亡きあと安心して生活ができるよう願っています。
- ・生活介護の事業所、施設が少なく選択肢がない。作業時間の始業時間が遅く終業時間が早い為働く時間が限られ大変（送迎時間等）。作業後の日中一時の事業所が少ない。
- ・障害者と健常者の交流の機会を増やして欲しい。健常者の人に障害者を理解しえもらえれば、障害者差別は少なくなると思います。
- ・今、移動支援や行動援護がどこの事業所でもいっぱい、希望を出してもなかなか入れない。なので、支給時間を使うのが難しいのですが、使いたいというニーズはあるけれど、受け皿がないということをご承知いただきたいです。（使っていないからと支給を減らすのは困ってしまいます）
- ・学校を卒業した子供（?!）運動、スポーツがもっと出来るようなところを作ってもらいたい（太るので…）。市内にも発達外来があると良いです。
- ・封筒が小さくて入れづらいです。特別支援学級に入っているのですが、療育手帳でCの等級です。中学の後高校に行こうと思っていますが、高校の後の就労についての話などあまり情報がなく不安です。
- ・障害者福祉と老人福祉 介護の方法や対応は異なりますが、生活介護やデイサービスなど同じ空間を利用できる所もあり、上手に施設を共有できるといいと思います。また相談支援もきちんとしたケアマネージャーの存在が必要で、定期的な相談体制もあった方が助かります。
- ・お世話になっております。今回のアンケート調査 2011～で3～4回記入していますが、定期的にあるのですか、毎回同じ内容の様ですが…
- ・行政の対応にもとても満足しています。学校の先生方の対応にもとても満足しています。
- ・県立の支援学校に通っているのですが、地域の子供、大人と交流する機会が少ないです。休日、本人やきょうだいを連れて参加できる文化活動やレクがあつたらいいなと思います。ソーシャルワーカーのような人、一人に相談すればサービス内容も分かり、支援機関とつなげてくれるような人がいたらいいと思います。将来の事を考えて、練習の為ショートステイを利用させたいが、児童のショートステイを受け入れてくれる所がほぼない。支援者、施設の問題もあるので利用したいと思えるような施設を作してほしいです。
- ・土日祭日利用できるデイサービス、日中一時支援が少ない。ショートステイのできる場所がない。子供の障がい児の支援は重い、軽いというだけで判断してほしい（支援の金額が違う）。障がいのある子供達の事を理解してほしい。入間市の夏休みに障害児対象のレクリエーション（サマーランド）、すごくうれしいです。今後も続けて欲しいです。

- ・障害児、者が通院できる、相談できる、早期療育などできる病院や療育相談センターが身近にできたらとても助かるし、親の負担が軽くなると思います。ぜひ入間市だけでなく、近隣の市と一緒に将来出来たらうれしいです。よろしく願いいたします。
- ・障害者もそうでない人も住みやすい市にするためにバリアフリー化を図ること。障害を含んだ障害教育の充実を図る（学級の小規模化、教員を増やす）。農福連携を進める。障がい者の親の高齢化に伴う負担をいかに少なくし、障がい者が安心して生活できるように考えていただきたい。
- ・サービスや支援を受けられるようになるまでが遠い。こちらで情報を探し、支援を受けられる条件をクリアしていく。こういう支援があるというのを受けたいと、申請されるまで待たずに教えて勧めていただければと思います。
- ・B型支援で通所していましたが、本人の不調で行けなくなりました。いずれまた行けるようになりたいのですが、当分の間、自宅で過ごすようになります。他の支援先があると良いのですが。
- ・最重度知的障害者の方はこういったアンケートに回答することが難しい。
- ・小学校の支援学級が学校（校長、教師）によって質の差があるのを何とかしてほしい、支援学校は車がないと行きづらいので、バスで行けると良いと思います。自閉症でもできる習い事の情報がほしいです。
- ・障害者の余暇を過ごす場所を整備してほしい（支援）。
- ・子供がまだ小さいので漠然としていますが、将来の就労、災害時、親亡き後、不安なことが沢山あります。我々も尽力しますが地域の方々との交流を普段から根付かせる体制が必要だと感じます。
- ・質問の後半は難しかった。
- ・特別学級への年数回の抜き打ち訪問、指導体制の指導、支援を強化してもらいたいと思います。
- ・まだまだ障がいに対する理解が欠けていると思います。もっと理解していただけたら障がいの方を偏見の目で見たりすることも少なくなってくるので、とにかく障がいの方が住みやすい環境を目指して頑張ってください。
- ・就職しても収入が少なく、これからの事が心配。就職以外でも支援を行ってほしい。
- ・圧倒的に就労継続支援（A型、B型）の数が少なすぎる。デイサービスみたいなものが増えると嬉しい。それぞれの障害を理解し、資格を持っている方に支援員になってほしい。
- ・“学生”でいられる世代はまだ情報源もあるのですが、就労先がないと「大人のひきこもり」に直結…。身内としてはつらいです。
- ・特別支援学級の先生の障害児に対する対応が（一部の方だと思いますが）とても理解がなく苦しんでいます。臨時採用の先生はやめてほしいです。本当に困っています。特別支援学校の先生のように対応してほしいとい心より願います。親子で辛いです。
- ・災害時に安心して避難できる場所があるといいなと思います。
- ・独り暮らしの練習をしておかなければいけないと思っています。1週間位（安く）泊まれる部屋が借りられたらいいのと思います。毎日料理をする事に自身もてないです。困り事が起こった時その問題にけりをつけてきちんと睡眠をとって翌朝平気になって会社へ行く事に自身もてないです。
- ・小、中学校の先生への研修や人員の確保をお願いしたいです。先生の対応がひどい時があり、不登校の原因になります。LGBTQの授業もとり入れてほしい。（道徳などで）

◆精神障害者

- ・ホームヘルパーのスキルに個人差があり、質の高い人の支援を受けたい。ヘルパーの作った料理がまずい。ある程度話相手になれる人材などを要求します。うちに慣れたヘルパーの事業所に撤退されてしまうとまた一からなので、責任持って支援を行ってほしいです。
- ・トランスジェンダーでも仕事ができること、特に女性の仕事がしたい。
- ・小学生で精神障害者手帳を所持するようになって20年近く経ちます。新聞などは相当注意深く目を通し、しかしインターネット等の利用は一切行っておりません。一応年金だけで生活していただけるだけの収入があります。
- ・当事者、支援者、医療関係者が参加し情報交換出来る自助会があったらいいと思う。
- ・色々で見直す良い機会になりました。ありがとうございます。
- ・回答対象者が限定されている質問の場合、回答対象者を特定する文言の箇所を目立つ表記にしてください。
- ・東京都より遅い。都営交通パスは出してほしい。精神障害にもらえないのは腹立たしい。東京都交通局精神障害交通パス無料券を2年入間でも出すべき。東京都在学、在勤も入れてほしい。都民ファースト一番。人間の誇りのかけらもない、経済も衰退、弱体する。東京・大阪・京都を見習え。
- ・アパートを借りる際に精神の方お断りという偏見を持つのをやめてほしい。どんな病を持っていても一人暮らしせざるをえない人もいるのだから堂々とアパートを借りられる世間になってほしい。
- ・空き巣の犯罪予防のために福祉サービスにおいて留守番をしてくれるサービスが必要である。入間市の食品が安全であるように、泥棒の被害がなくなるように解決してほしい。
- ・いつも世話になっております。今後ともよろしく願います。将来、マイナンバーカードに自分の医療情報をリンクさせるのは絶対にやめてください。内科で精神障害の方は精神科に行ってください、と言われていたのを見たことがあります。精神障害が他医療機関にばれてしまうのが非常に怖いです。
- ・連絡を迅速に対応してほしい。障害者手帳の更新の期間を長くして欲しい。人によって対応の仕方が冷たい。病気に対する理解を深めてほしい。
- ・国や企業や市役所などが障害者の就労の窓口を広げて下さいましたが、精神障害者にどう配慮を求めて企業側がどう配慮をしていけばいいのかとても難しい問題ですが、私は皆さん健常者の方が5時間働けるところを2時間半働くことで精一杯なのです。疲れ方の理解のされ方が重要になってくると思います。このような声を聞いて下さりありがとうございます。
- ・P13~16は対象者のみ答えるよう簡易化してほしい。返信用封筒の閉める部分にテープかのを付けてほしい。
- ・親亡き後を知りたい。このようなアンケートをありがとうございます。入間市に越してきて3年がたちます。越してきた当時子どもは車イスを利用していました。マルヒロでハンバーガーを食べると帰ろうと車イスを押していると、モスバーガーの店員さんがさっと扉を開いて下さり、入間市に越してきてよかったと思いました。その気持ちが今も続いています。感謝しています。
- ・市役所からの郵便物にできれば障害者支援課と書かないでいただきたいです。
- ・小学校において先生方の知識不足及び経験がなさすぎる。障害に対しての内容や配慮方法を学ぶ

必要がある。

- ・精神障害者も新幹線を安くしてほしい
- ・アンケートをお送り下さりありがとうございました。
- ・子どもを育てる苦労は皆同じなのに、サービス利用料や補助金等、親の所得制限をつけるのはおかしいと思います。どれもこれも収入がこえて対象外と言われる。頑張っているだけなのに差がすごくて腹立たしいです。
- ・りぼんの相談員が4人というのは少ないと思います。増員してもっと細やかな対応をしてほしいです。
- ・アンケートをすることは有り難いうれしく思います。これからも入間市がもっと良い市になることを期待しています。
- ・精神疾患の人が地域で働ける職場が増えていくような社会になればいいなと思います。
- ・夫のせいで障がい者となったが、夫や夫の親族等からの差別や暴言に耐えられない。人が信用できなくて怖い。
- ・他の市では学習支援事業が進んでいます。学校の勉強についていけない子たちの為に学習支援していただける場を作ってほしいです。
- ・退院直後にとても面倒なアンケートでした。
- ・全てにおいてわかりにくい文章ばかり。読解力がない人にはこのアンケートに答えると病状が悪化する、現に私はパニックに陥っている。
- ・障がい支援課の方にはいつも心のこもった支援や対応をしていただいております、心より感謝申し上げます。
- ・私は精神障がい（2級）です。他の障害者のように見た目はよく分からないので、他人には理解してもらえません。少し悲しいです。このアンケートの結果も知りたいです。入間市に住んでいる障害者、障害児（保護者）の意見もお聞きしたいです。最後にありがとうございました。
- ・大きな地震が来た時や、国の財政が破綻した時に、この国の福祉がどうになってしまうのか不安だ。行政機関は本気でこういった危機に備えるつもりがあるのだろうか？
- ・差別のない笑顔あふれるような市であって欲しいです。
- ・発達障がい（学習障がい）は意思でもあまり理解がない方がいる位、まだまだわからないことばかりだと思います。ストレスへの弱さなどは、伝えるのは難しいです。いうならば「ずっと風邪をひいていて、び熱がある状態で毎日生活している」状態に近いのかもしれませんが。なので、就労など色々やることがあって大変なときに支援があったりすることはとてもありがたいです。今後、Webで支援の申し込みができ、あり、「成年後見制度」等についてわかりやすく知りたいという希望もあります。『追記』すみません、アンケートのフォーマットはおそらく発達にはややわかりにくいです。文字がつまんでいると、文字がくっついて見えてしまうのです…。アイコン化、イラスト化だと挫折しにくいです。
- ・返信用封筒が小さいので、返信がめんどくさい。
- ・統合失調症という病気にかかっています。就職したいです。
- ・本冊子のアンケート内容が多い為、身体障害者用と精神障害者用にアンケート用紙を分けたほうがよい。アンケート冊子が厚いと最初から回答／返却の意欲が薄れる。返送率を上げる取組みが必要。

- ・制度やサービスに関する情報収集や利用開始を行いやすくする何らかの整備を進めていただけると助かります。成年後見制度は今まで知りませんでしたし、それがどのようなものか具体的なことは少し調べただけでは全くわからなかったです。
- ・現在、発達障害（ASD、ADHD）を持っており、就労移行支援事業所（株式会社ウェルビー）に週5日で通所しています。障害者就労の給与水準はとても低く、蓄えはおろか経済的に自立することもできません。月20万（額面）以上の給与が得られる環境を整えるよう国政に働きかけてください。
- ・自閉症スペクトラムがあるのが分かったのは、セカンドオピニオンをとって検査でわかった。2012年27才の時。小さい時からずっといじめにあってきた。幼稚園や学校の先生もまだ知識のない時代だった。とても厳しい言葉や叱られた事、こだわりが強いので今も忘れられない。当時は「いじめられる側にも問題がある」と言われていた時代。変な目で見られることも良くあった。大人の自閉症スペクトラムの人への支援にもっともっと支援をお願いしたいと、力を入れていただきたいと思う。
- ・問44の表の回答はわかりづらかった

◆不明

- ・就学後、放課後を過ごす場所が少ない。ワーキングマザーは何カ所も併用先を探し週5日確保することが困難である。運が良く確保できても、子どもには毎日環境が変わることは大きな負担となり問題である。長期休暇中も預けられる環境が足りない。障がい児を育てながらも母親が働ける環境整備を早急に対応していただきたい。
- ・難しい。
- ・市に言ってもどうしようもないと思うが、学習に困難がある子に対しての教育の場の確保や教師、支援員の充実、受験できる高校の充実、サポートを求めます。支援学校の対象ではない子なので。
- ・サービス使用料や障害児特別支援金など世帯収入が多くて対象外と言われて対象の方たちよりはるかに高額を払っています。支援金で犬を買った、旅行に行ったと言われると、なんとも言えない。子育ての辛さは障害児持ちの家族それぞれであり、収入で対象外にするのはおかしいと思う。休み返上で働くのが馬鹿みたいです。長期休暇など子どもを多めに預けたいけど、使用料が高くなるので、控えています。上限4200円の家庭は週5預けて親は休んでいる、ずるい。
- ・少し言葉が遅いだけで障害児、障害児と言われて辛いです。少なくとも3歳で診断が確定していないような子どもが障害者福祉課ではなく、子ども支援課で対応してほしいです。障害者福祉課に行くのはハードルが高すぎです。
- ・田中市長を心より支援しています！これまでのやり方を継続し福祉入間市の具体的サービスをコツコツ構築してください。「市長の進める政策は全てOKです。」健康で頑張してほしい。よろしくお願ひいたします。
- ・入間市は発達児に関する支援に前向きで、子育て世代に優しいと感じます。就学先の小学校（藤沢北）も学校全体でケア・フォローしてくださり、質の高さや人間性の素晴らしさに感服しています。行政、教育機関、地域の連携で今後益々の福祉拡充・整備をお願いしたいと思います。

- ・入間市は公立幼稚園がないので、障がい児の幼・保入園について各園にもっと受け入れるよう指導、義務付けしてほしい。今のように各園に任せていると、受け入れている園（ひかり、めぐみ）に入園希望者が集まってしまい、入園が順番待ちになっている。発達障害が世間に認知されてきたのはいいものの、少し普通と違っていると発達障害なのではないかと、入園を拒否する園がある。この園は医師や心理士が大丈夫と言っても入園を拒否しています。しかも園長、理事長は親が傷つくことを平気で言います。そういう幼稚園への指導もよろしくお願いします。
- ・難しいアンケートですね。
- ・ボーダー発達障害の通院について（手帳なし）心理IQ（WISKなど）などの検査が実費、メンタルケアの診察費が100%実費だったので、子供の発達障害に対して医療費が戻ってくると助かる。プール、サッカーなど本人はやってみたいが、周りとうまくいくか分からないし気を使うので、同じ障害を持つ子供達が出来るスポーツ施設の充実（障がい者クラス）、そういうクラスをもっと増やして欲しい。または受け入れできる所を作ってほしい。
- ・日本は発展国の1つですが、障がい者に対する理解が低いと思っています。企業は障がい者を雇用していますが、掃除の仕事が多いように思います。その子の能力に合った仕事をしていないのが現実だと思っています。これから我が子を社会へ送り出さなければいけない親としては不安で一杯です。今後障がい者も一人の人間として受け入れられ、社会にも企業にも受け入れられることを願います。
- ・障害者に関わる全ての職員の専門性を上げて欲しい。
- ・市役所の人は一生涯けんめいで感謝しています。これからもよろしくおねがいします。ありがとうございました。
- ・どんな支援があるのか、それ対象として当てはまるのか、など分かりづらい。またインターネットなどで検索してもなかなか必要な情報にたどりつけないので、わかりやすいホームページ等があるといいと感じます。
- ・現在軽度の広汎性発達障害とADHDを持っていて、市内の小学校の情緒の支援学級に通っています。担任の先生は大変良く見てくださっています。でも上層部の先生は、子どもに初めてあった時に、自閉傾向によくある行動を勝手に当てはめていました。もう少し個別性を見る目のある先生を配置してほしいと希望します。あと支援学級では小学校6年間の中で、理科と社会は一切学びません。学んでみて才能が開花することもあるのではないのでしょうか。これについてはインテグレーションの考えに逆らっており、差別と感じています。
- ・昨年、所沢の発達障害啓発週間の講演会がありました。医学博士小児科専門医の平岩乾男先生のお話が聞けました。とても有名な先生のお話が聞けて、貴重なお話でした。子どもの将来を考え、今何をすべきか、これからの目標を考えさせられる内容でした。入間市でもぜひ小児科専門医の講演会をご検討ください。ペアレントトレーニングも行っていただけると希望が持てます（年に3~4回）。私の子供は自閉症で多動でかんしゃくも多く、つきっきりで本を読む時間もなく、日々を過ごしております。なので講演会（できれば午前）をして頂きたいです。午後の部が多いので、午前の部を増やして欲しいです。

◆資料

調査票

福祉に関するアンケート調査へのご協力をお願い

日頃より入間市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
入間市では現在、令和3年度を初年度とする「第6期入間市障害者福祉プラン」の策定に向けた取り組みを進めています。その中で、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。

調査の対象者は、令和元年11月12日現在、市内にお住まいの障害者手帳や自立支援医療受給者証をお持ちの方、障害福祉サービス等を利用されている方です。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。調査票は「個人情報保護条例」にしたがい、適切な管理をいたします。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定や施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和2年1月

入間市長 田中 龍夫

<ご記入にあたって>

- 宛名のご本人が直接回答いただくことが難しい場合には、家族や介護者・支援者の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- 質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 質問内容の説明や回答のお手伝いを希望される方は、障害者支援課までご連絡ください。
- 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒を使って（切手を貼る必要はありません）、

1月31日（金）までにご返送ください。

このアンケート調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

入間市役所 福祉部 障害者支援課 障害福祉担当

電話：04-2964-1111（内線：1331・1332）

ファックス
FAX：04-2964-3665

【問4で「1」～「3」と回答された方におききます】

問5 あなたの介助を主に行っている家族の方の年齢、性別をお答えください。

①年齢（令和2年1月1日現在）

②性別（〇は1つ）

満

歳

1. 男性

2. 女性

あなたの障害の状況について

問6 あなたの身体障害者手帳の等級をお答えください。（〇は1つ）

1. 1級

3. 3級

5. 5級

7. 持っていない

2. 2級

4. 4級

6. 6級

問7 身体障害者手帳をお持ちの場合、障害の種類をお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 視覚障害

5. 肢体不自由（下肢）

2. 聴覚障害

6. 肢体不自由（体幹）

3. 音声・言語・そしゃく機能障害

7. 内部障害（1～6以外）

4. 肢体不自由（上肢）

問8 あなたの療育手帳の等級をお答えください。（〇は1つ）

1. A

2. A

3. B

4. C

5. 持っていない

問9 あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級をお答えください。（〇は1つ）

1. 1級

2. 2級

3. 3級

4. 持っていない

問10 あなたは「自立支援医療制度（精神通院）」を利用していますか。（〇は1つ）

1. 利用している

2. 利用していない

3. どんな制度かわからない

問11 あなたは、次のような認定や診断を受けていますか。または、受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 難病（指定難病）・・・悪性関節リウマチやギラン・バレー症候群などの、治療法が確立していない疾病その他特殊な疾病を言う。
2. 発達障害……………自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などを言う。
3. 精神疾患……………うつ病、認知症、高次脳機能障害 など
4. 受けていない

問12 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 気管切開部の処置 | 7. 中心静脈栄養（IVH） |
| 2. 人工呼吸器（レスピレーター） | 8. 透析 |
| 3. 吸入 | 9. カテーテル留置 |
| 4. 吸引 | 10. ストマ（人工肛門・人工膀胱） |
| 5. 胃ろう・腸ろう | 11. 服薬管理 |
| 6. 鼻腔経管栄養 | 12. その他 |

すく
住まいや暮らしについて

問13 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 一戸建の住宅で暮らしている | } ⇒ 問16 へ |
| 2. マンションやアパートなどの集合住宅で暮らしている | |
| 3. グループホームで暮らしている | |
| 4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている | } ⇒ 問14・15 へ |
| 5. 病院に入院している | |
| 6. その他（ |) ⇒ 問16 へ |

【問13で「4」または「5」と回答された方におきます】

問14 あなたは将来、施設や病院を退所・退院して、地域で生活したいと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 今のまま生活したい | 4. 地域で一人暮らしをしたい |
| 2. 家族と一緒に生活したい | 5. その他（ |
| 3. グループホームなどを利用したい |) |

【問13で「4」または「5」と回答された方におききます】

問15 施設や病院を退所・退院して、地域で生活するためには、特にどのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 在宅で医療ケアなどが適切に受けられること | 5. 経済的な負担の軽減 |
| 2. 障害に適した住居の確保 | 6. 相談対応等の充実 |
| 3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること | 7. 地域住民等の理解 |
| 4. 生活訓練等の充実 | 8. コミュニケーションについての支援 |
| | 9. その他 () |

日中活動や就労について

問16 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 毎日外出する | 4. まったく外出しない |
| 2. 1週間に数回外出する | ⇒ 外出しない理由: |
| 3. たまに外出する | |

(問17～問19へ)

(問20へ)

【問16で「1」～「3」と回答された方におききます】

問17 あなたが外出する際の主な同伴者はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 親・祖父母・兄弟姉妹 | 4. ホームヘルパーや施設の職員 |
| 2. 配偶者(夫または妻) | 5. その他の人(ボランティア等) |
| 3. 子ども | 6. 一人で外出する |

【問16で「1」～「3」と回答された方におききます】

問18 あなたは、どのような目的で外出しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 通園・通学 | 6. 友人・知人に会う |
| 2. 通勤・通所 | 7. 趣味・スポーツ |
| 3. 訓練・リハビリ | 8. 散歩 |
| 4. 通院 | 9. その他 () |
| 5. 買い物 | |

【問16で「1」～「3」と回答された方におききます】

問19 外出する時に特に困ることは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない | 7. コミュニケーションが困難 |
| 2. 列車やバスの乗り降りが困難 | 8. 介助者・支援者が確保できない |
| 3. 道路や駅に階段や段差が多い | 9. 外出にお金がかかる |
| 4. 切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい | 10. 周囲の目が気になる |
| 5. 外出先の建物の設備が不便
(通路、トイレ、エレベーターなど) | 11. 発作など突然の身体の変化が心配 |
| 6. 交通機関の割引がない | 12. 困った時にどうすればいいのか心配 |
| | 13. その他() |

問20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 会社勤め、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている | 8. 入所している施設や病院等で過ごしている |
| 2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている | 9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている |
| 3. 専業主婦(主夫)をしている | 10. 特別支援学校に通っている |
| 4. 福祉施設、作業所等に通っている
(「就労継続支援A型」も含む) | 11. 一般の高校、小中学校に通っている |
| 5. 病院などのデイケアに通っている | 12. 幼稚園、保育所、障害児通所施設(児童発達支援など)に通っている |
| 6. 障害者のデイサービスに通っている | 13. その他() |
| 7. 自宅で過ごしている | |

問21 あなたは、障害者の就労支援として、特にどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 通勤手段の確保 | 7. 介助者の確保 |
| 2. 勤務場所のバリアフリー化等の配慮 | 8. 企業ニーズに合った就労訓練 |
| 3. 勤務時間や勤務日数等の配慮 | 9. 就職活動への助言・指導 |
| 4. 在宅勤務の拡充 | 10. 仕事についての職場外での相談 |
| 5. 職場の理解や支援 | 対応、支援 |
| 6. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携 | 11. その他() |
| | 12. わからない |

【問22～問23は、問21で「3」と回答され、現在就労している方やこれから就労を考えている方におききます】

問22 あなたは、就労に当たり一週間に何日の勤務を希望しますか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 1日 | 2. 2日 | 3. 3日 | 4. 4日 | 5. 5日 |
|-------|-------|-------|-------|-------|

問23 あなたが、就労に当たり希望する雇用形態はどれですか。(あてはまるもの3つまでに〇)

- | | |
|---------|------------------------|
| 1. 正社員 | 4. パート・アルバイト (4時間ほど勤務) |
| 2. 契約社員 | 5. パート・アルバイト (6時間ほど勤務) |
| 3. 派遣社員 | 6. その他 () |

しょうがい 障害のあるお子さんについて

【問24～26は、しょうがい さいみまん こ ほごしゃ かた
【問24～26は、障害のある18歳未満のお子さんの保護者の方におききます】

問24 お子さんのしょうがい き なん
お子さんの障害に気づいたきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 医療機関での受診・健診
いりようきかん じゅしん けんしん | 5. 学校の助言
がっこう じょげん |
| 2. 健康福祉センターで実施している健診
けんこうふくし じっし けんしん | 6. 家族による気づき
かぞく ぎ |
| 3. 小学校で受診する就学児健康診断
しょうがっこう じゅしん しゅうがくじけんこうしんだん | 7. その他 () |
| 4. 保育所・幼稚園の助言
ほいくしょ ようちえん じょげん | |

問25 お子さんがほいくしょ ようちえん がっこう かよ
お子さんが保育所、幼稚園、学校に通ううえで、特に求めることは何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 送迎など、通所・通園・通学時のサポート
そうげい つうじょ つうえん つうがくじ | |
| 2. 学習支援や介助など、保育所・幼稚園・学校生活でのサポート
がくしゅうしえん かいじょ ほいくしょ ようちえん がっこうせいいかつ | |
| 3. 自立訓練や職業訓練など専門的な指導
じりつくねん しよくぎょうくねん せんもんてき しどう | |
| 4. 投薬や喀痰吸引など専門的なケア
とうやく かくたんきゅういん せんもんてき | |
| 5. 障害福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携
しょうがいふくし じぎょうしよ がいぶ しえんきかん れんけい | |
| 6. 教師や他の児童生徒の障害に対する理解や配慮
きょうし た じどうせいと しょうがい たい りかい はいりよ | |
| 7. 障害に合わせた環境の整備
しょうがい あ かんきょう せいび | |
| 8. 校外学習、宿泊をとまなう行事における介助者の確保
こうがいがくしゅう しゅくはく ぎやうじ かいじょしや かくほ | |
| 9. 障害児支援の核となる相談支援専門員の配置
しょうがい じしえん かく そうだんしえんせんもんいん はいち | |
| 10. 障害児施策検討委員会の設置
しょうがい じせさくけんとういんかい せっち | |
| 11. 元気キッズ・茶おちゃおなど未就学児対象の発達支援事業の充実
げんき ちゃ みしゅうがくじたいしやう はったつしえんじぎやう じゅうじつ | |
| 12. その他 () | |

問26 し おこな みしゅうがくじ たい つぎ じぎやう がいとう
市が行っている未就学児に対する次の事業について、該当するものに○をつ
けてください。(○は1つ)

○健康福祉センター：児童発達支援事業 「元気キッズ」

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 利用している(していた)
りよう | 3. 利用していない(理由：
りよう |
| 2. 今後利用してみたい
こんごりよう | 4. 知らない
し |

○学校教育課 教育センター：幼児の通級指導教室 「茶おちゃお」

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 利用している(していた)
りよう | 3. 利用していない(理由：
りよう |
| 2. 今後利用してみたい
こんごりよう | 4. 知らない
し |

【問27～28は、^{しょうがい}障害のある^{みしゅうがく}未就学のお子さんの^{ほごしや}保護者の方におききます】

問27 お子さんが^{げんざいりよう}現在利用している^{しせつとう}施設等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. ^{ようちえん}幼稚園
2. ^{にんかほいくじよ えん}認可保育所(園)
3. ^{にんてい えん}認定こども園
4. ^{しょうきぼ ほいくしせつ しちょうそん にんか う ていいん}小規模な保育施設(市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの)
5. ^{にんかがい ほいくしせつ}認可外の保育施設
6. ^{じどうはつたつしえん にちじょう せいかつ きほんてきどうさ しどうとう おこな つうしょしせつ}児童発達支援(日常生活の基本的動作の指導等を行う通所施設)
7. その他()
8. ^{とく}特になし

問28 ^{げんざいりよう}現在利用している・^{りよう}利用していないにかかわらず、^{ていきてき}定期的に^{へいじつりよう}平日利用したいと^{かんが}考える^{しせつとう}施設等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. ^{ようちえん}幼稚園
2. ^{にんかほいくじよ えん}認可保育所(園)
3. ^{にんてい えん}認定こども園
4. ^{しょうきぼ ほいくしせつ しちょうそん にんか う ていいん}小規模な保育施設(市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの)
5. ^{にんかがい ほいくしせつ}認可外の保育施設
6. ^{じどうはつたつしえん にちじょう せいかつ きほんてきどうさ しどうとう おこな つうしょしせつ}児童発達支援(日常生活の基本的動作の指導等を行う通所施設)
7. その他()
8. ^{とく}特になし

【問29～30は、^{しょうがい}障害のある^{しょうがくせい}小学生のお子さんの^{ほごしや}保護者の方におききます】

問29 お子さんは、^{ほうかご}放課後どのような^{ばしょ}場所で^す過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. ^{じたく} 自宅 | 3. ^{がくどうほいくしつ} 学童保育室 | 5. ^{にっちゅういちじしえん} 日中一時支援 |
| 2. ^{そふぼたく ちじんたく} 祖父母宅や知人宅 | 4. ^{ほうか ごとう} 放課後等デイサービス | 6. その他() |

問30 お子さんには、^{ほうかご}放課後どのような^{ばしょ}場所で^す過ごさせたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. ^{じたく} 自宅 | 3. ^{がくどうほいくしつ} 学童保育室 | 5. ^{にっちゅういちじしえん} 日中一時支援 |
| 2. ^{そふぼたく ちじんたく} 祖父母宅や知人宅 | 4. ^{ほうか ごとう} 放課後等デイサービス | 6. その他() |

そうだんあいて
相談相手などについて

問31 あなたは、障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビ
やラジオのニュース | 8. 病院等医療機関のケースワーカー
や介護保険のケアマネジャー |
| 2. 行政機関の広報誌 | 9. 民生委員・児童委員 |
| 3. インターネット | 10. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生等 |
| 4. 家族や親せき、友人・知人 | 11. 相談支援事業所 |
| 5. サービス事業所の人や施設職員 | 12. 市役所・健康福祉センター |
| 6. 障害者団体や家族会(団体の
機関誌など) | 13. 地域包括支援センター |
| 7. かかりつけの医師や看護師 | 14. その他() |
| | 15. 情報はほとんど知らない |
| | 16. 情報を知る必要を感じない |

問32 あなたは、普段、悩みごとや困りごとをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 家族や親せき | 10. 教育委員会教育センター |
| 2. 友人・知人(近所の人を含む) | 11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生等 |
| 3. 職場の上司や同僚 | 12. 相談支援事業所 |
| 4. 施設の支援員など | 13. 市役所・健康福祉センター |
| 5. ホームヘルパーなど事業所の人 | 14. 社会福祉協議会 |
| 6. 障害者団体や家族会 | 15. 地域包括支援センター |
| 7. かかりつけの医師や看護師 | 16. 児童相談所 |
| 8. 病院等医療機関のケースワーカー
や介護保険のケアマネジャー | 17. その他() |
| 9. 民生委員・児童委員 | 18. 相談先がない |
| | 19. 相談する習慣がないまたは
必要を感じない |
- } → **問33**へ

問33 問32で回答した相談先で、悩みや不安は解消していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 解消している | 3. あまり解消していない |
| 2. おおむね解消している | 4. 解消していない |

→ **問35**へ

→ **問34**へ

さいがいじ ひなんとう
災害時の避難等について

【問40】 あなたは、^{かじ} 火事や^{じしんとう} 地震等の^{さいがいじ} 災害時に^{ひとり} 一人で^{ひなん} 避難できますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

→ (問42 へ)

→ (問41 へ)

【問40で「2」または「3」と回答された方におききます】

【問41】 ^{かぞく} 家族が^{ふざい} 不在の場合や^{ぼあい} 一人暮らしの場合、^{ぼあい} あなたの^{みじか} 身近に^{たす} 助けてくれる^{ひと} 人はいますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

【問42】 ^{かじ} 火事や^{じしんとう} 地震等の^{さいがいじ} 災害時に^{こま} 困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. ^{とうやく} 投薬や ^{ちりょう} 治療が ^う 受けられない |
| 2. ^ほ 補装具の ^{しょう} 使用が ^{こんなん} 困難になる |
| 3. ^ほ 補装具や ^{にちじょうせい} 日常生活用具が ^{にゅうしゆ} 入手できない |
| 4. ^{きゆうじよ} 救助を ^{もと} 求めることができない |
| 5. ^{あんぜん} 安全なところまで、 ^{じんそく} 迅速に ^{ひなん} 避難することができない |
| 6. ^{ひがいじょうきよう} 被害状況、 ^{ひなんばしょ} 避難場所などの ^{じょうほう} 情報が ^{にゅうしゆ} 入手できない |
| 7. ^{しゅうい} 周囲と ^{コミュニケーション} コミュニケーションがとれない |
| 8. ^{ひなんばしょ} 避難場所の ^{せつび} 設備(トイレ等)や ^{など} 生活 ^{せいかつかんきよう} 環境が ^{ふあん} 不安 |
| 9. その他 () |
| 10. ^{とく} 特にない |

しょうがいふくし どう りよう
障害福祉サービス等の利用について

【問43】 あなたは、^{しょうがいしえんくぶん} 障害支援区分の^{にんてい} 認定を^う 受けていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. ^{くぶん} 区分1 | 3. ^{くぶん} 区分3 | 5. ^{くぶん} 区分5 | 7. ^う 受けていない |
| 2. ^{くぶん} 区分2 | 4. ^{くぶん} 区分4 | 6. ^{くぶん} 区分6 | |

<p>こうどうえんご ④行動援護</p> <p>ちてきしょうがい せいしんしょうがい こうどう こんなん つね 知的障害や精神障害により行動が困難で常に かいご ひつよう かた こうどう ひつよう かいじょ 介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や がいしゅつじ いどう ほじょ おこな 外出時の移動の補助などを行います。</p>				
<p>じゅうどしょうがいしゃどうほうかつしえん ⑤重度障害者等包括支援</p> <p>つね かいご ひつよう かた かいご ひつよう ていど いちじる 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著し たか かた きょたくかいご ほうかつてき く高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に ていきょう 提供します。</p>				
<p>せいかつかいご ⑥生活介護</p> <p>つね かいご ひつよう かた しせつ にゅうよく はい しょくじ 常に介護が必要な方に、施設で入浴・排せつ・食事 とう かいご そうさくてきかつどう きかい ていきょう 等の介護や創作的活動などの機会を提供します。</p>				
<p>じりつくんれん きのうくんれん せいかつくんれん ⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）</p> <p>じりつ にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ いってい 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定 きかん しんだいきのう せいかつのうりよく こうじょう ひつよう の期間、身体機能や生活能力の向上のために必要 くんれん おこな な訓練を行います。</p>				
<p>しゅうろういこうしえん ⑧就労移行支援</p> <p>つうじょう じぎょうしょ はたら かた いってい きかん 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、 しゅうろう ひつよう ちしきおよ のうりよく こうじょう 就労に必要な知識及び能力の向上のための くんれん おこな 訓練を行います。</p>				
<p>しゅうろうけいぞくしえん がた がた ⑨就労継続支援（A型、B型）</p> <p>つうじょう じぎょうしょ はたら こんなん かた しゅうろう 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労・ せいさんかつどう た かつどう きかい ていきょう ちしき 生産活動その他の活動の機会の提供、知識や のうりよく こうじょう くんれん おこな 能力の向上のための訓練を行います。</p>				
<p>りょうようかいご ⑩療養介護</p> <p>いりょう ひつよう かた つね かいご ひつよう かた おも 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主 ひるま びょういんとう きのうくんれん りょうようじょう に昼間に病院等において機能訓練、療養上の かんり かんご ていきょう 管理、看護などを提供します。</p>				
<p>たんきにゅうしょ ⑪短期入所（ショートステイ）</p> <p>かいご かた びょうき ばあい しょうがいしゃ じ 介護する方が病気の場などに、障害者（児） しせつ たんきかんにゅうしょ にゅうよく はい しょくじ が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事 とう かいご う 等の介護などを受けます。</p>				

◎サービスの利用について（*問44 の続き）

(1) 現在の利用状況（下の表の⑫～⑮の(1)の欄に、あてはまる数字をご記入ください）

1. 利用している 2. 利用していない

(2) サービスの満足度（※(1)で「1」と回答した方がお答えください）

1. 満足 2. まあまあ満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない・なんともいえない

(3) 現在利用していない理由（※(1)で「2」と回答した方がお答えください）

1. 内容に満足できなかった 3. 利用の必要が無い
2. 利用対象者に該当しない 4. その他（⑫～⑮の口欄の中にお書きください）

(4) 今後利用したいか

1. 利用したい 3. 利用の必要が無い 5. 利用したくない
2. 利用量を増やしたい 4. 利用したいが対象者に該当しない 6. わからない

サービスの種類	(1) 現在の 利用 状況	(2) サー ビスの 満足 度	(3) 現在 利用し て いな い 理 由	(4) 今後 利用 し たい か
○記入例 ※上の口欄の中から回答を選んで 右の欄に記入	2		2	4
⑫ 共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談 や日常生活上の援助を行います。				
⑬ 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障害者（児） に、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行 います。				
⑭ 相談支援 福祉に関する問題や介護者・支援者からの相談に 応じて、必要な情報の提供や助言などを行 います。				
⑮ 児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識 技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援 を行います。				

<p>⑩放課後等デイサービス <small>がっこう じゅぎょうしゅうりょうご がっこう きゅうこうび せいかつ</small> 学校の授業終了後や学校の休校日に、生活 <small>のりよくこうじょう ひつよう くんれん しゃかい</small> 能力向上のために必要な訓練や、社会との <small>こうりゅう そくしん しえん おこな</small> 交流の促進などの支援を行います。</p>				
<p>⑪保育所等訪問支援 <small>ほいくしょう ほうもん しゅうだんせいかつ てきおう</small> 保育所等を訪問し、集団生活への適応のため <small>せんもんてき しえん おこな</small> の専門的な支援などを行います。</p>				
<p>⑫医療型児童発達支援 <small>にちじょうせいかつ きほんてき どうさ しどう ちしき</small> 日常生活における基本的な動作の指導、知識 <small>ぎのう ふ よ しゅうだんせいかつ てきおうくんれんとう しえん</small> 技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援 <small>ちりょう おこな</small> と治療を行います。</p>				
<p>⑬移動支援 <small>おくがい いどう こんなん しょうがいしゃ じ ちいき</small> 屋外での移動が困難な障害者(児)に、地域で <small>じりつせいかつ しゃかいざんか うなが がいしゅつ さい</small> の自立生活と社会参加を促すため、外出の際 <small>しえん おこな</small> の支援を行います。</p>				
<p>⑭地域活動支援センター <small>そうさくかつどう せいざんかつどう きかい ていきょう しゃかい</small> 創作活動や生産活動の機会を提供し、社会と <small>こうりゅうそくしん しえん おこな</small> の交流促進などの支援を行います。</p>				
<p>⑮日中一時支援 <small>にっちゅう せいかつ ば かくほ かぞく いちじてき</small> 日中における生活の場の確保、家族の一時的な <small>きゅうそく もくてき みまも どう しえん おこな</small> 休息を目的として、見守り等の支援を行いま す。</p>				
<p>⑯意思疎通支援 <small>ちょうかく げんごきのう しょうがい いしそつう はか</small> 聴覚、言語機能の障害により意思疎通を図る <small>ししょう しょうがいしゃ じ しゅわつうやくしゃ</small> ことに支障がある障害者(児)に、手話通訳者 <small>ようやくひつきしゃ はけん</small> や要約筆記者を派遣します。</p>				
<p>⑰居宅訪問型児童発達支援(平成30年より開始) <small>きょたくほうもんがたじどうはつたつしえん へいせい ねん かいし</small> 重度の障害等の状態にあり、外出すること <small>じゅうど しょうがいなど じょうだい がいしゅつ</small> が著しく困難な障害児の居宅を訪問して <small>いちじる こんなん しょうがいじ きょたく ほうもん</small> 発達支援を行います。 <small>はつたつしえん おこな</small></p>				

市の施策について

問45 いるましくで暮らしていくうえで、市しにこれから特とくにどのような施策しさくに力ちからを入れたいいてほしいと思おもいますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 障しょう害がい等などに関する市民しみんの理解りかいを深ふかめる啓発けいはつ活動かつどう
2. 文化ぶんか活動かつどうやレクリエーション活動かつどう等などによる地域ちいきの人々ひととの交流こうりゅう
3. 情報じょうほう提供ていきと、気軽きがるに何なんでも相談そうだんできる体制たいせいの充実じゅうじつ
4. 障しょう害がいのある人ひとの健康けんこうづくりや機能きののう訓練くんれんの充実じゅうじつ
5. ホームヘルプサービスなど、福祉ふくしサービスの充実じゅうじつ
6. 福祉ふくしサービスを利用りようできる事業所じぎょうしょの整備せいび
7. 「福祉ふく的してき就しゅう労ろう」の場ば(就しゅう労ろう継けい続ぞく支し援えんB型びがた事業所じぎょうしょなど)の整備せいび
8. 就しゅう労ろうできる近隣きんりん企業きぎょう等とうの開拓かいたく
9. 就しゅう労ろうのための各種かくしゆ支援しえんの体制たいせいづくり
10. 個性こせいを尊そん重ちゆうし可能かのう性を伸のばす教育きょういく環かん境きやうの充実じゅうじつ
11. 地域ちいきの人々ひとがお互たがいに支ささえあう体制たいせいづくりと人材じんざい育成いくせい
12. 住宅じゅうたくや道路どうろ・交通こうつう機き関かんなど障しょう害がいのある人ひとが暮くらしやすいまちづくり
13. 災さい害がいや緊きん急きゅう時じの対たい応おう体制たいせいの強きやう化か
14. 福祉ふくしサービス提てい供きやう事じ業ぎやう者しゃの指し導どう・評ひやう価かとサービないス内てき容せいかの適こう正じやう化そくしん・向こう上じやうの促そく進しん
15. 成年せいねん後こう見けん制せい度ど等など、障しょう害がいのある人ひとの人権じんけんを守まもるためのしすいくみしんの推すい進しん
16. 障しょう害がい児じを支し援えんするたきめの拠きよ点てんの整せい備び
17. その他()
18. わからない・特とくにない

しつもん いじやう さいご いけんとう じゆう きにゆう
質問は以上です。最後に、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

障害福祉に関する
アンケート調査報告書

令和2年3月

発行 入間市 福祉部 障害者支援課
〒358-8511 埼玉入間市豊岡一丁目16番1号
電話 04-2964-1111（代表） F A X 04-2964-3665